

令和3年
立川市子ども家庭部保育課

立川市の保育のあり方検討（事業所）アンケート 結果

1. 調査目的

立川市内で保育事業を運営されている保育施設や幼稚園の事業所ならびに運営法人を対象に、園の状況や運営上の課題、今後の見通し等について調査し、立川市の保育のあり方検討委員会での参考資料にすることを目的とする

2. 調査対象

立川市内の保育事業所・幼稚園

3. 調査実施期間と調査方法

令和3年8月24日から9月8日までの期間で、調査票を郵送及び電子メールにて配布し、
用紙に直接記入し持参、郵送、または、電子データによる回答を求めた。

4. アンケート回収状況

（単位：部、％）

配布数	回答数	回収率
77	67	87.01%

※対象事業所事業種別内訳	
私立認可保育所	30
市立認可保育所	6
小規模保育事業	5
家庭的保育事業	6
認証保育所	5
企業主導型保育事業	14
幼稚園	8
幼稚園型認定こども園	3
合計	77

5. 調査内容

○質問1～5	運営法人名、施設・園名、事業種別、所在地、開設年月日	-
○質問6、7	人員体制について	P1～4
○質問8	保育・幼児教育の質の向上のための取り組みについて	P5～10
○質問11	その他の保育サービスについて（保育事業所等）	P11～22
○質問11	その他の保育サービスについて（幼稚園）	P23～24
○質問13	その他の保育サービス等について（外部講師等を招いて実施するもの）	P25～29
○質問15、17	人材確保方策等について	P30

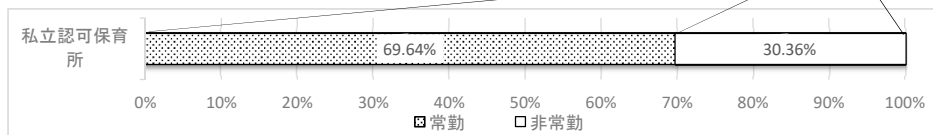
※各調査結果の回答比率については小数点第2位を四捨五入しているため、
合計が100%にならない場合があります。

○【人員体制について】

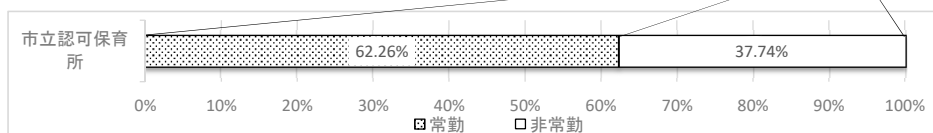
質問 6 貴施設の人員について（令和3年4月1日現在）（常勤・非常勤別）

単位：人

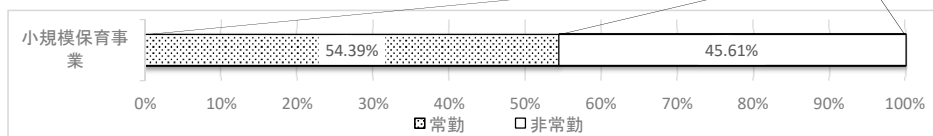
常勤・非常勤別	3保育士		4幼稚園教諭		8子ども子育て支援員		9保育補助（資格なし）		3、4、8、9以外		小計		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
私立認可保育所	514	182	3	1	5	4	4	68	215	68	741	323	1064



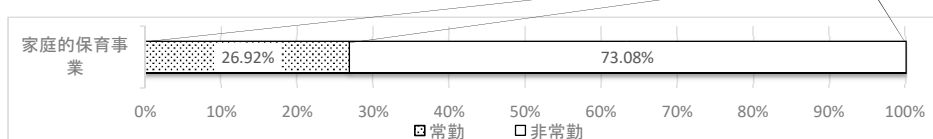
常勤・非常勤別	3保育士		4幼稚園教諭		8子ども子育て支援員		9保育補助（資格なし）		3、4、8、9以外		小計		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
市立認可保育所	107	75	0	0	0	0	0	22	53	0	160	97	257



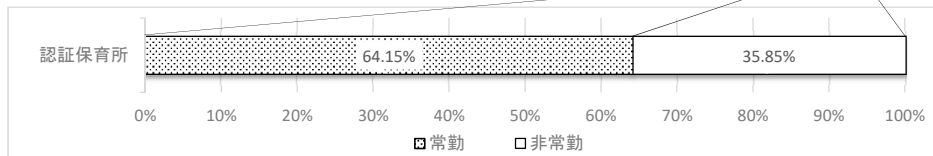
常勤・非常勤別	3保育士		4幼稚園教諭		8子ども子育て支援員		9保育補助（資格なし）		3、4、8、9以外		小計		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
小規模保育事業	15	15	0	0	0	0	0	0	16	11	31	26	57



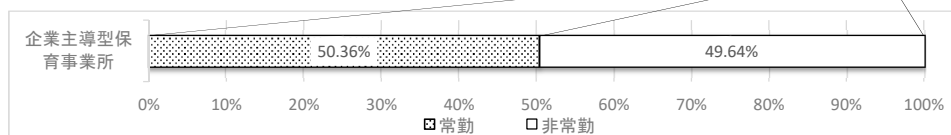
常勤・非常勤別	3保育士		4幼稚園教諭		8子ども子育て支援員		9保育補助（資格なし）		3、4、8、9以外		小計		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
家庭的保育事業	2	7	0	0	0	5	0	2	5	5	7	19	26



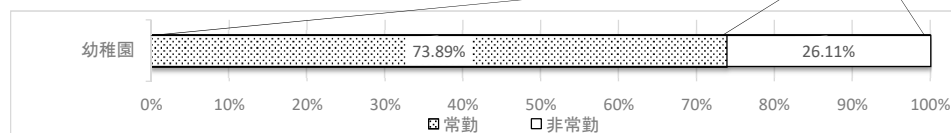
常勤・非常勤別	3保育士		4幼稚園教諭		8子ども子育て支援員		9保育補助（資格なし）		3、4、8、9以外		小計		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
認証保育所	40	24	1	0	1	2	4	7	22	5	68	38	106



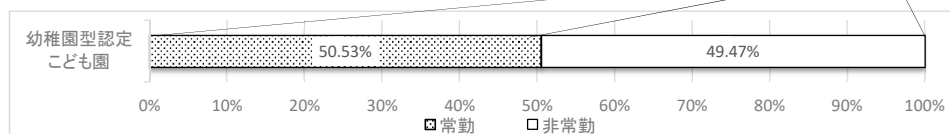
常勤・非常勤別	3 保育士		4 幼稚園教諭		8 子ども子育て支援員		9 保育補助（資格なし）		3、4、8、9 以外		小計		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
企業主導型保育事業所	42	33	0	0	1	11	0	3	26	21	69	68	137



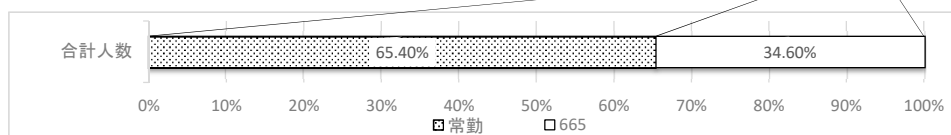
常勤・非常勤別	3 保育士		4 幼稚園教諭		8 子ども子育て支援員		9 保育補助（資格なし）		3、4、8、9 以外		小計		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
幼稚園	0	0	79	13	0	0	1	3	53	31	133	47	180



常勤・非常勤別	3 保育士		4 幼稚園教諭		8 子ども子育て支援員		9 保育補助（資格なし）		3、4、8、9 以外		小計		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
幼稚園型認定こども園	3	9	26	22	0	4	0	4	19	8	48	47	95



常勤・非常勤別	3 保育士		4 幼稚園教諭		8 子ども子育て支援員		9 保育補助（資格なし）		3、4、8、9 以外		小計		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
合計人数	723	345	109	36	7	26	9	109	409	149	1257	665	1922



施設の人員について（令和3年4月1日現在）

常勤職員の割合が事業種別によって差がみられる。特に保育事業所等（私立認可保育所、市立認可保育所、小規模保育事業、家庭的保育事業、認証保育所、企業主導型保育事業所）では、常勤職員の割合について、家庭的保育事業が26.92%に対して、私立認可保育所は69.64%となっており、大きな差が見られる。市立認可保育所の非常勤保育士の割合については、短時間で雇用している者が多いため、比較的高くなっている。

※常勤職員 → 1日6時間以上、かつ、月20日以上勤務している職員
 非常勤職員 → 常勤以外の職員

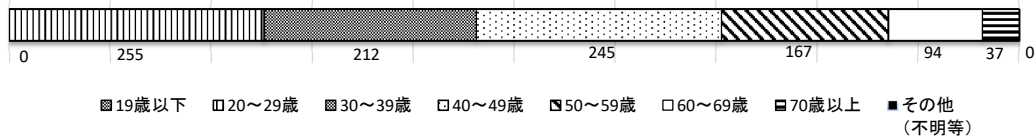
○【人員体制について】

質問7 貴施設の配置人員の年齢構成について（令和3年4月1日現在）

単位：人

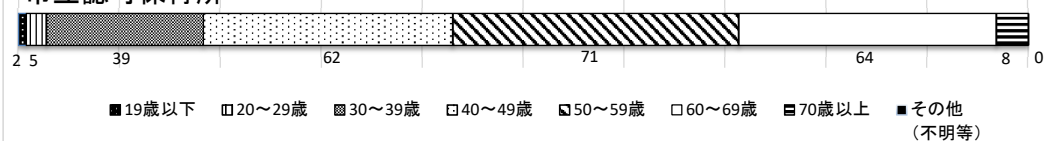
年齢構成	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	その他 (不明等)	合計
私立認可保育所	0	255	212	245	167	94	37	0	1010

私立認可保育所



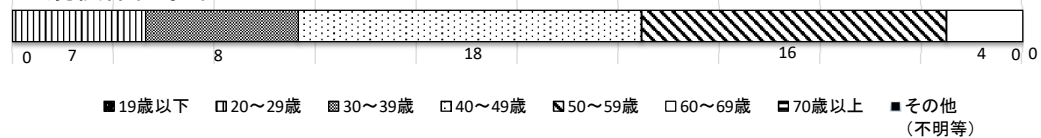
年齢構成	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	その他 (不明等)	合計
市立認可保育所	2	5	39	62	71	64	8	0	251

市立認可保育所



年齢構成	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	その他 (不明等)	合計
小規模保育事業	0	7	8	18	16	4	0	0	53

小規模保育事業



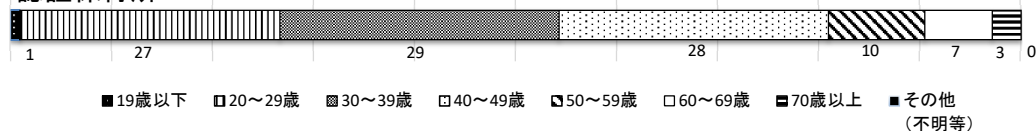
年齢構成	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	その他 (不明等)	合計
家庭的保育事業	1	2	5	5	10	2	0	0	25

家庭的保育事業

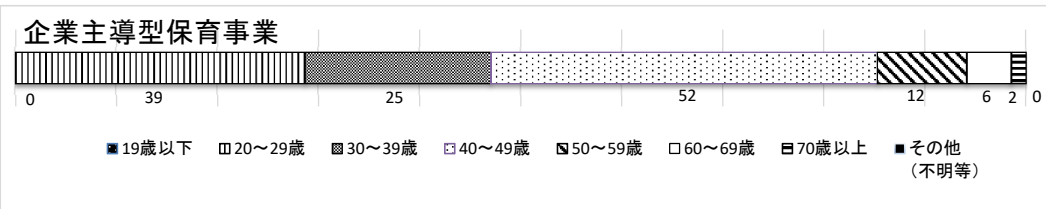


年齢構成	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	その他 (不明等)	合計
認証保育所	1	27	29	28	10	7	3	0	105

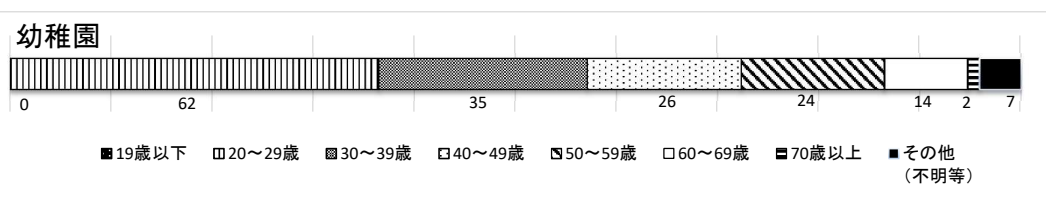
認証保育所



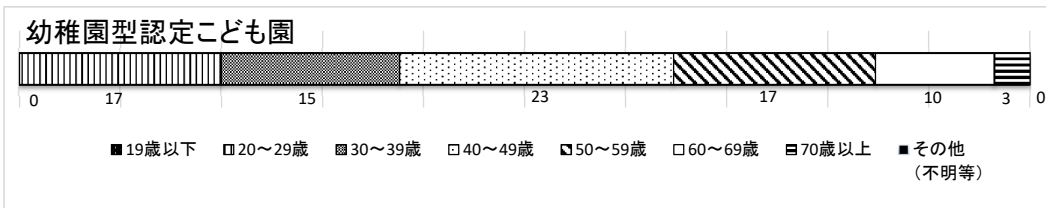
年齢構成	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	その他 (不明等)	合計
企業主導型保育事業所	0	39	25	52	12	6	2	0	136



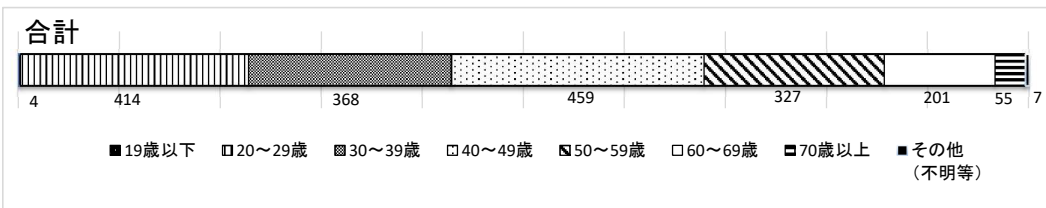
年齢構成	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	その他 (不明等)	合計
幼稚園	0	62	35	26	24	14	2	7	170



年齢構成	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	その他 (不明等)	合計
幼稚園型認定こども園	0	17	15	23	17	10	3	0	85



年齢構成	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	その他 (不明等)	合計
合 計	4	414	368	459	327	201	55	7	1835



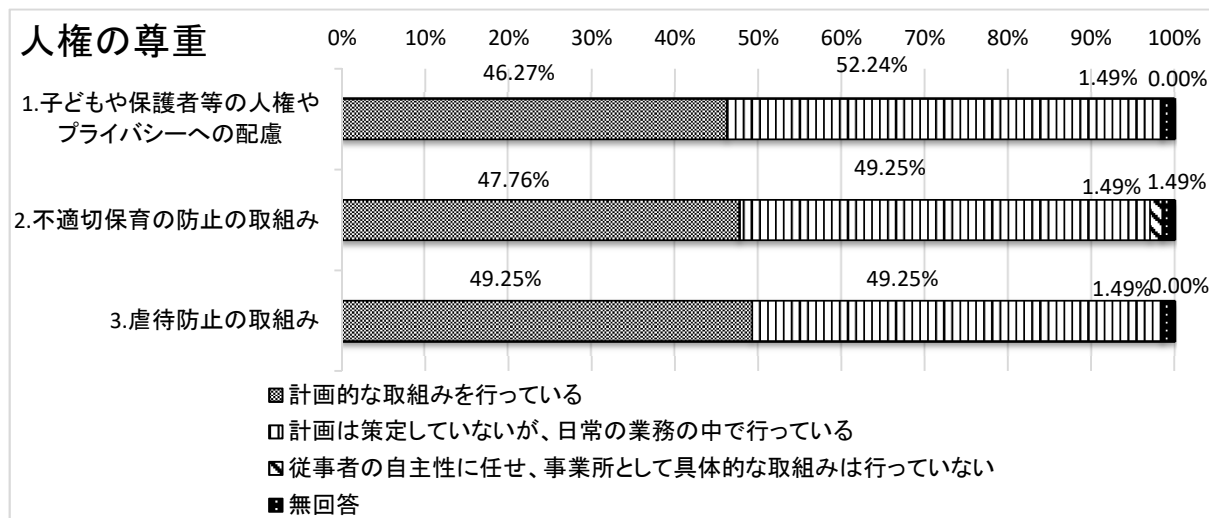
貴施設の配置人員の年齢構成について（令和３年４月１日現在）

全体としては突出した割合の年齢層は少ない。市立認可保育所の５０歳代以降では朝夕の短時間の従事者が多くなっているため割合が高くなっている。家庭的保育事業では長年同じ者が運営していることから５０～５９歳の割合が高いと考えられ、幼稚園は２０～２９歳の割合が高くなっている。

※質問７ 年齢構成について未回答の事業所があるため、質問６と７の合計人数は一致しない。

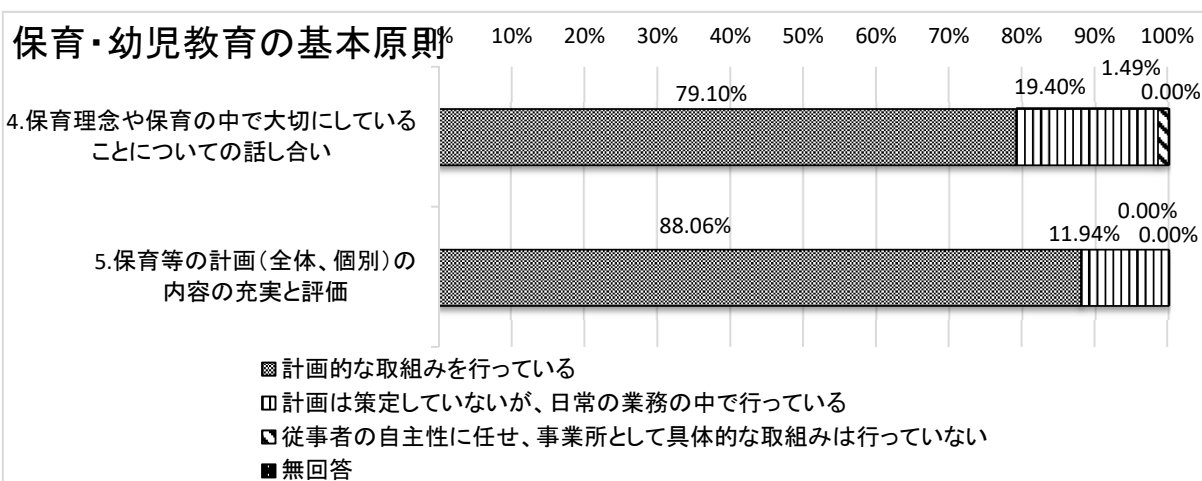
○【保育・幼児教育の質の向上のための取組みについて】

質問8 保育・幼児教育の質の向上のために取り組んでいることについて

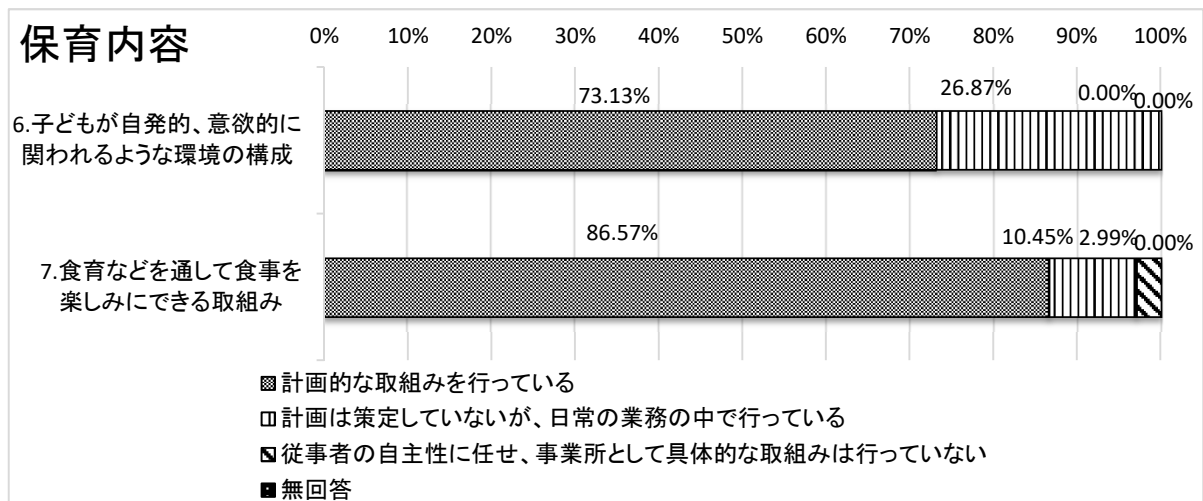


単位：施設 n = 67

選択項目		計画的な取組みを行っている		計画は策定していないが、日常の業務の中で行っている		従事者の自主性に任せ、事業所として具体的な取組みは行っていない		無回答	
人権の尊重									
1	子どもや保護者等の人権やプライバシーへの配慮	31	46.27%	35	52.24%	0	0.00%	1	1.49%
2	不適切保育の防止の取組み	32	47.76%	33	49.25%	1	1.49%	1	1.49%
3	虐待防止の取組み	33	49.25%	33	49.25%	0	0.00%	1	1.49%



選択項目		計画的な取組みを行っている		計画は策定していないが、日常の業務の中で行っている		従事者の自主性に任せ、事業所として具体的な取組みは行っていない		無回答	
保育・幼児教育の基本原則									
4	保育理念や保育の中で大切にしていることについての話し合い	53	79.10%	13	19.40%	1	1.49%	0	0.00%
5	保育等の計画（全体、個別）の内容の充実と評価	59	88.06%	8	11.94%	0	0.00%	0	0.00%



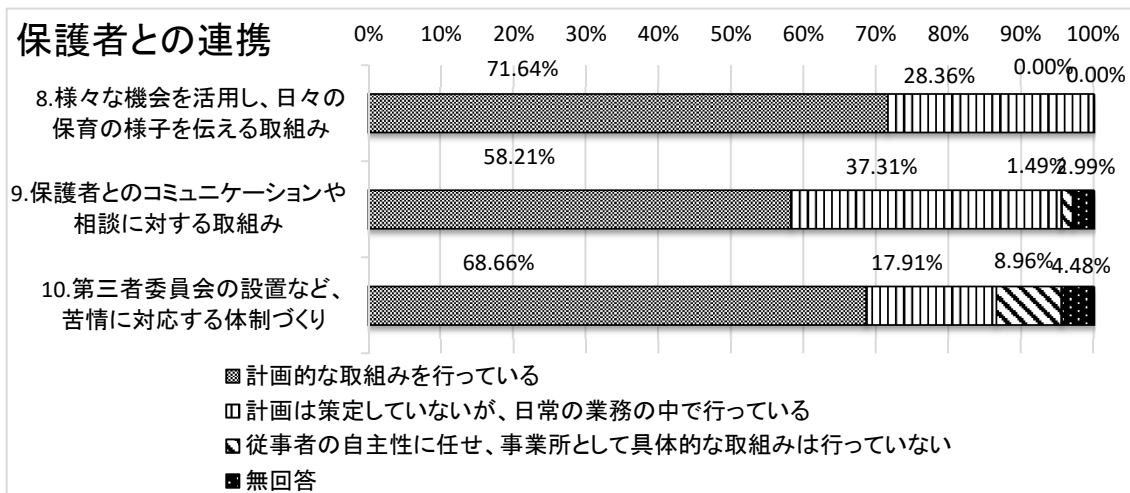
選択項目		計画的な取組みを行っている		計画は策定していないが、日常の業務の中で行っている		従事者の自主性に任せ、事業所として具体的な取組みは行っていない		無回答	
保育内容									
6	子どもが自発的、意欲的に関われるような環境の構成	49	73.13%	18	26.87%	0	0.00%	0	0.00%
7	食育などを通して食事を楽しみにできる取組み	58	86.57%	7	10.45%	2	2.99%	0	0.00%

保育・幼児教育の質の向上のために取り組んでいることについて

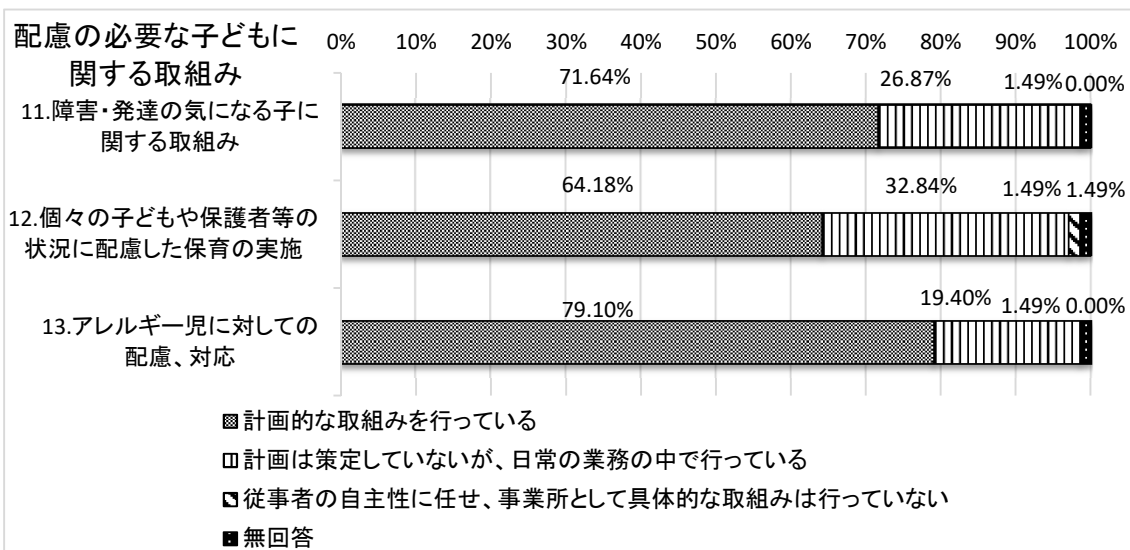
ほとんどの事業所で「計画的な取組みを行っている」「計画は策定していないが、日常の業務の中で行っている」との回答が多くなっており、施設として積極的に取り組んでいると考えられる。

○【保育・幼児教育の質の向上のための取組みについて】

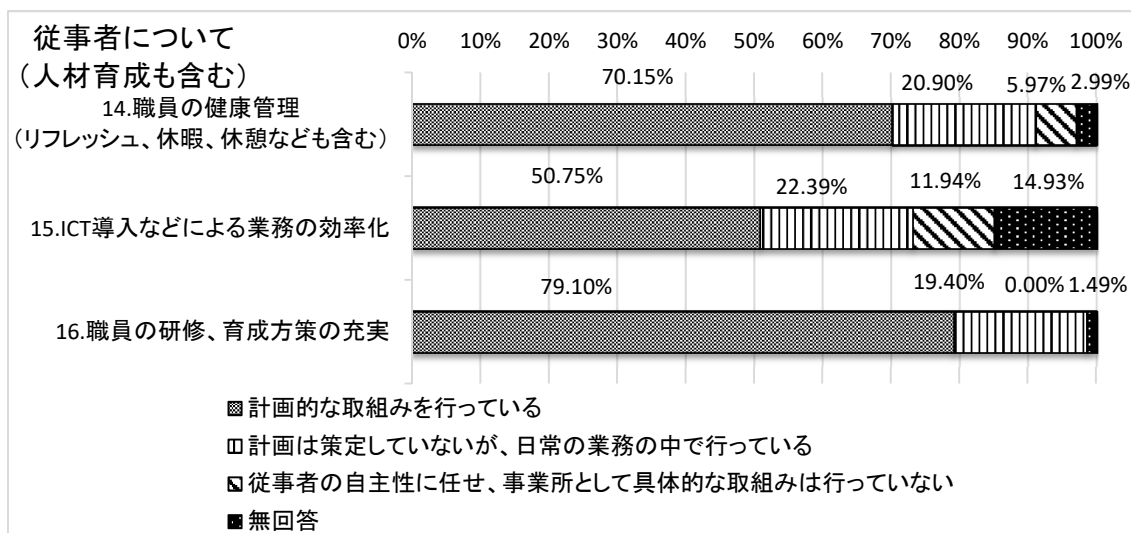
質問 8 保育・幼児教育の質の向上のために取り組んでいることについて



選択項目		計画的な取組みを行っている		計画は策定していないが、日常の業務の中で行っている		従事者の自主性に任せ、事業所として具体的な取組みは行っていない		無回答	
保護者との連携									
8	様々な機会を活用し、日々の保育の様子を伝える取組み	48	71.64%	19	28.36%	0	0.00%	0	0.00%
9	保護者とのコミュニケーションや相談に対する取組み	39	58.21%	25	37.31%	1	1.49%	2	2.99%
10	第三者委員会の設置など、苦情に対応する体制づくり	46	68.66%	12	17.91%	6	8.96%	3	4.48%



選択項目		計画的な取組みを行っている		計画は策定していないが、日常の業務の中で行っている		従事者の自主性に任せ、事業所として具体的な取組みは行っていない		無回答	
配慮の必要な子どもに関する取組み									
11	障害・発達の気になる子に関する取組み	48	71.64%	18	26.87%	0	0.00%	1	1.49%
12	個々の子どもや保護者等の状況に配慮した保育の実施	43	64.18%	22	32.84%	1	1.49%	1	1.49%
13	アレルギー児に対しての配慮、対応	53	79.10%	13	19.40%	0	0.00%	1	1.49%



選択項目		計画的な取組みを行っている		計画は策定していないが、日常の業務の中で行っている		従事者の自主性に任せ、事業所として具体的な取組みは行っていない		無回答	
従事者について（人材育成も含む）									
14	職員の健康管理（リフレッシュ、休暇、休憩なども含む）	47	70.15%	14	20.90%	4	5.97%	2	2.99%
15	ICT導入などによる業務の効率化	34	50.75%	15	22.39%	8	11.94%	10	14.93%
16	職員の研修、育成方策の充実	53	79.10%	13	19.40%	0	0.00%	1	1.49%

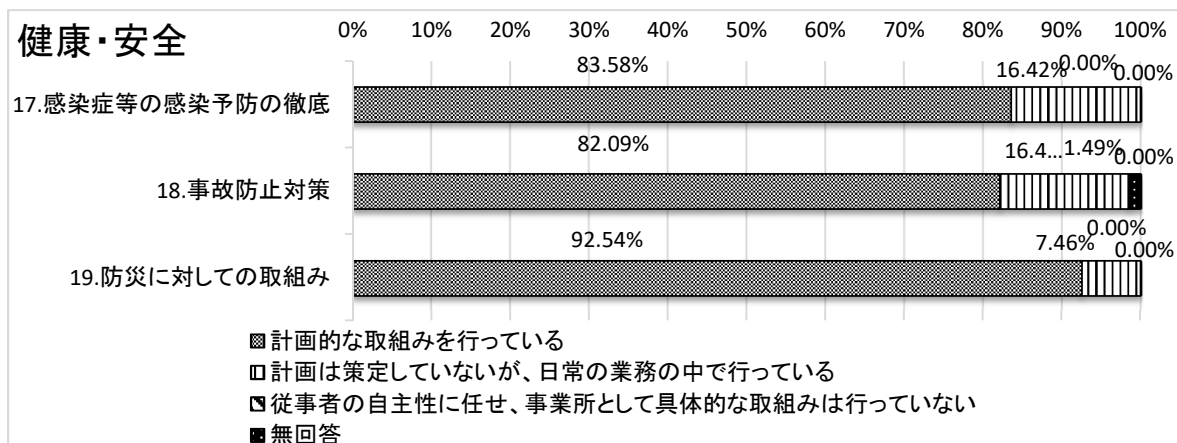
保育・幼児教育の質の向上のために取り組んでいることについて

ほとんどの事業所で「計画的な取組みを行っている」「計画は策定していないが、日常の業務の中で行っている」との回答が多くなっており、施設として積極的に取り組んでいると考えられる。

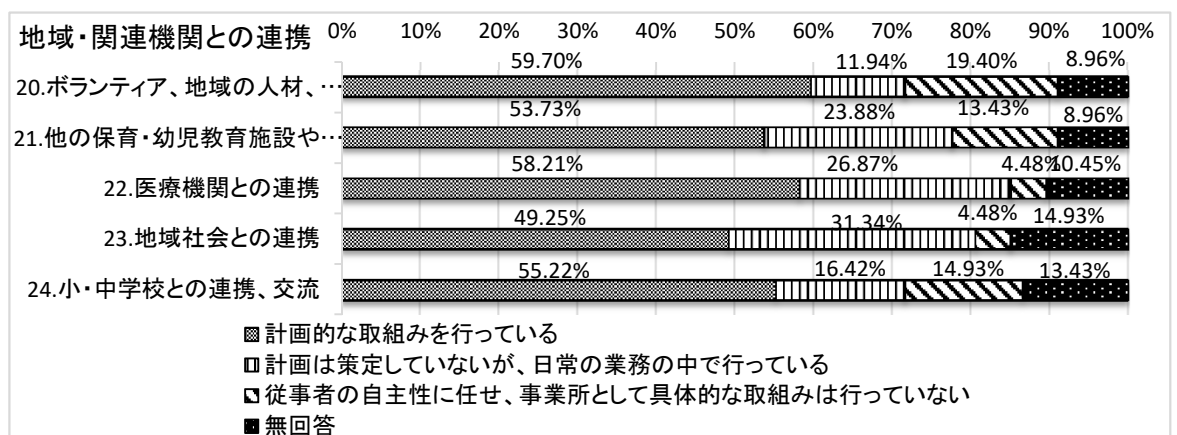
「15 ICT導入などによる業務の効率化」については、施設として具体的な取り組みを行えていないとの回答が比較的高い。

○【保育・幼児教育の質の向上のための取組みについて】

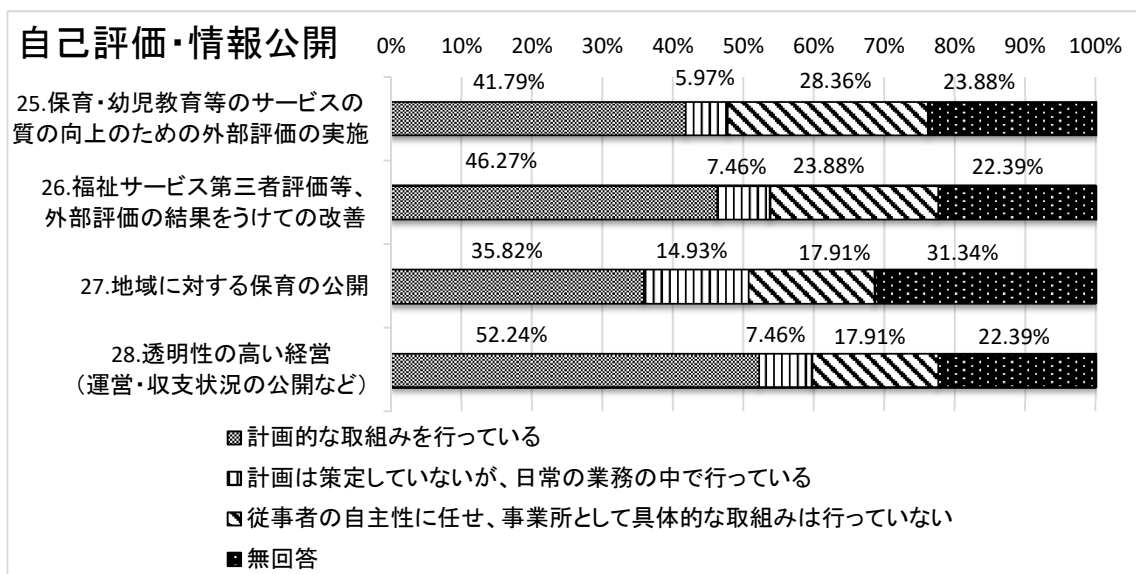
質問 8 保育・幼児教育の質の向上のために取り組んでいることについて



選択項目		計画的な取組みを行っている		計画は策定していないが、日常の業務の中で行っている		従事者の自主性に任せ、事業所として具体的な取組みは行っていない		無回答	
健康・安全									
17	感染症等の感染予防の徹底	56	83.58%	11	16.42%	0	0.00%	0	0.00%
18	事故防止対策	55	82.09%	11	16.42%	0	0.00%	1	1.49%
19	防災に対しての取組み	62	92.54%	5	7.46%	0	0.00%	0	0.00%



選択項目		計画的な取組みを行っている		計画は策定していないが、日常の業務の中で行っている		従事者の自主性に任せ、事業所として具体的な取組みは行っていない		無回答	
地域・関連機関との連携									
20	ボランティア、地域の人材、実習生の受け入れ、活用	40	59.70%	8	11.94%	13	19.40%	6	8.96%
21	他の保育・幼児教育施設や行政との連携	36	53.73%	16	23.88%	9	13.43%	6	8.96%
22	医療機関との連携	39	58.21%	18	26.87%	3	4.48%	7	10.45%
23	地域社会との連携	33	49.25%	21	31.34%	3	4.48%	10	14.93%
24	小・中学校との連携、交流	37	55.22%	11	16.42%	10	14.93%	9	13.43%



選択項目		計画的な取組みを行っている		計画は策定していないが、日常の業務の中で行っている		従事者の自主性に任せ、事業所として具体的な取組みは行っていない		無回答	
自己評価・情報公開									
25	保育・幼児教育等のサービスの質の向上のための外部評価の実施	28	41.79%	4	5.97%	19	28.36%	16	23.88%
26	福祉サービス第三者評価等、外部評価の結果をうけての改善	31	46.27%	5	7.46%	16	23.88%	15	22.39%
27	地域に対する保育の公開	24	35.82%	10	14.93%	12	17.91%	21	31.34%
28	透明性の高い経営（運営・収支状況の公開など）	35	52.24%	5	7.46%	12	17.91%	15	22.39%

保育・幼児教育の質の向上のために取り組んでいることについて

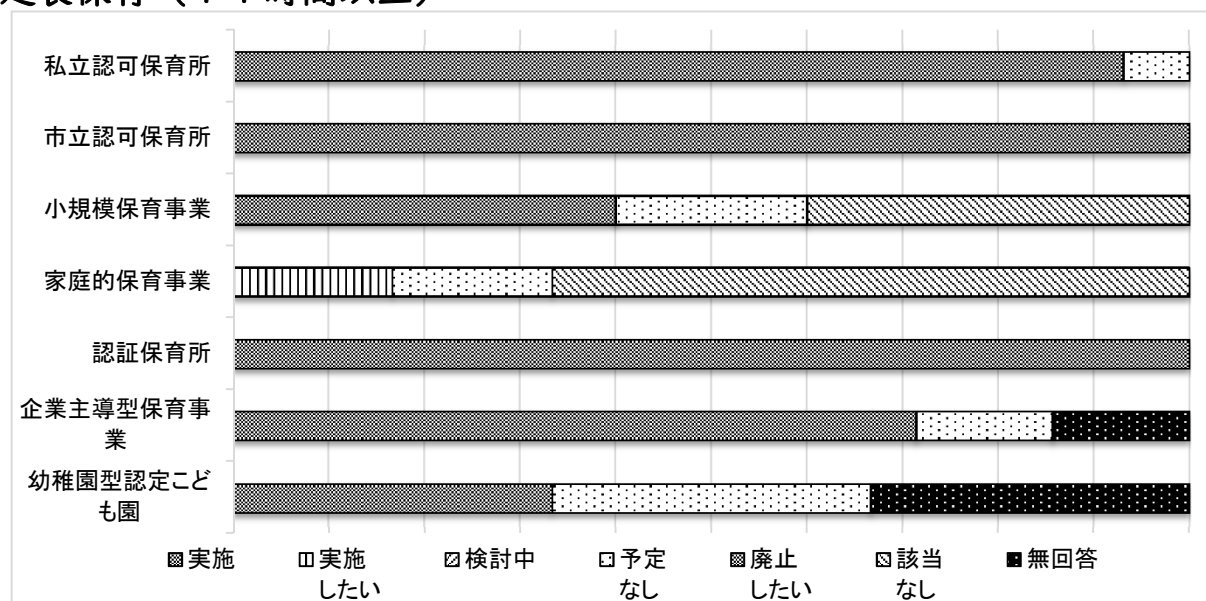
「健康・安全（１７～１９）」の各項目については、「計画的な取組みを行っている」との回答が多くなっている。

「自己評価・情報公開（２５～２８）」については、他の取り組みと比べると、「従事者の自主性に任せている」との回答が比較的多くなっている。

○【その他の保育サービスについて】 保育事業等（幼稚園を除く）

質問ⅠⅠ 下記の保育サービスに係る現在の状況について

延長保育（ⅠⅠ時間以上）



単位：施設

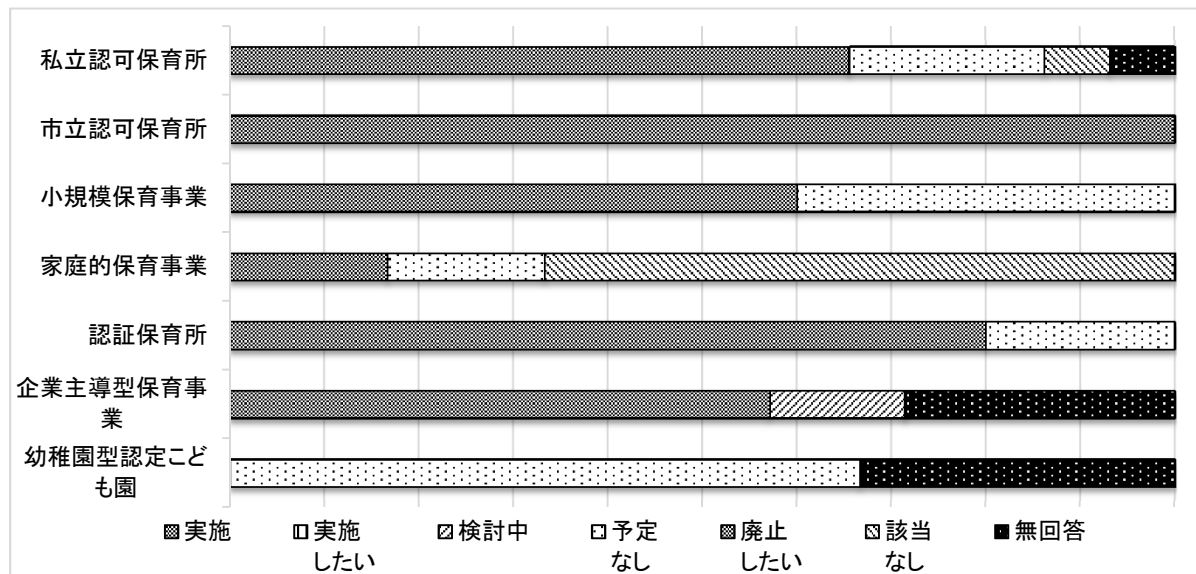
事業種別		延長保育（ⅠⅠ時間以上）						
		実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
1	私立認可保育所	27	0	0	2	0	0	0
2	市立認可保育所	6	0	0	0	0	0	0
3	小規模保育事業	2	0	0	1	0	2	0
4	家庭的保育事業	0	1	0	1	0	4	0
5	認証保育所	5	0	0	0	0	0	0
6	企業主導型保育事業	5	0	0	1	0	0	1
7	幼稚園型認定こども園	1	0	0	1	0	0	1

延長保育については、家庭的保育事業所を除き、ほとんどの事業所で実施している。

○【その他の保育サービスについて】 保育事業等（幼稚園を除く）

質問ⅠⅠ 下記の保育サービスに係る現在の状況について

産休明け保育



単位：施設

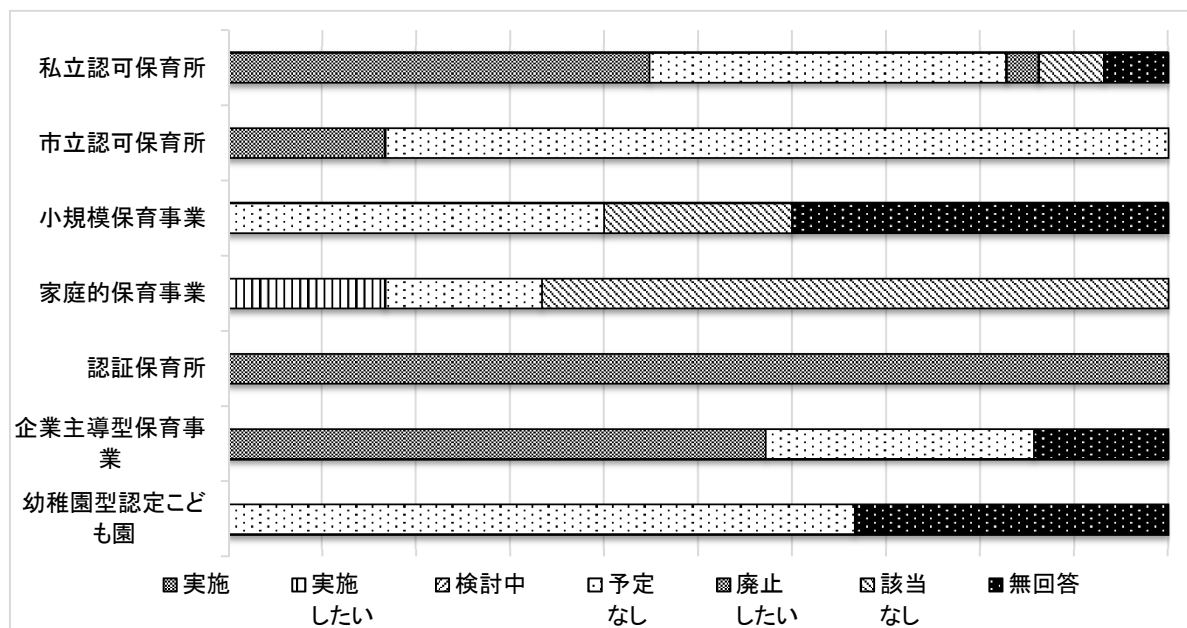
事業種別		産休明け保育						
		実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
1	私立認可保育所	19	0	0	6	0	2	2
2	市立認可保育所	6	0	0	0	0	0	0
3	小規模保育事業	3	0	0	2	0	0	0
4	家庭的保育事業	1	0	0	1	0	4	0
5	認証保育所	4	0	0	1	0	0	0
6	企業主導型保育事業	4	0	1	0	0	0	2
7	幼稚園型認定こども園	0	0	0	2	0	0	1

産休明け保育を実施しているとの回答が多い。私立認可保育所では6か所（3か月からの受入れと5か月からの受入れの0歳児保育実施）が実施しておらず、今後も実施予定がないと回答している。

○【その他の保育サービスについて】 保育事業等（幼稚園を除く）

質問ⅠⅠ 下記の保育サービスに係る現在の状況について

一時預かり（定期利用保育を含む）



単位：施設

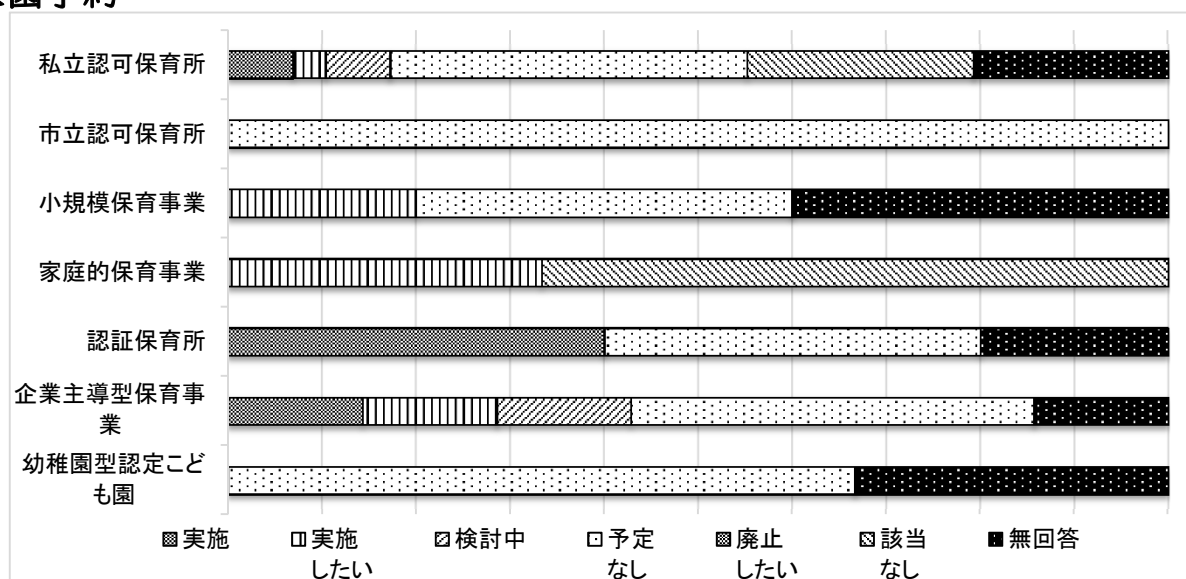
事業種別		一時預かり（定期利用保育を含む）						
		実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
1	私立認可保育所	13	0	0	11	1	2	2
2	市立認可保育所	1	0	0	5	0	0	0
3	小規模保育事業	0	0	0	2	0	1	2
4	家庭的保育事業	0	1	0	1	0	4	0
5	認証保育所	5	0	0	0	0	0	0
6	企業主導型保育事業	4	0	0	2	0	0	1
7	幼稚園型認定こども園	0	0	0	2	0	0	1

一時預かり事業については、23か所実施している。市立認可保育所では1か所のみの実施で、他の事業所では今後の実施予定もない。保育所等で実施される一時預かり事業については、原則として、その一時預かり実施施設に普段は在籍していない子どもを対象として行われる事業である。

○【その他の保育サービスについて】 保育事業等（幼稚園を除く）

質問ⅠⅠ 下記の保育サービスに係る現在の状況について

入園予約



単位：施設

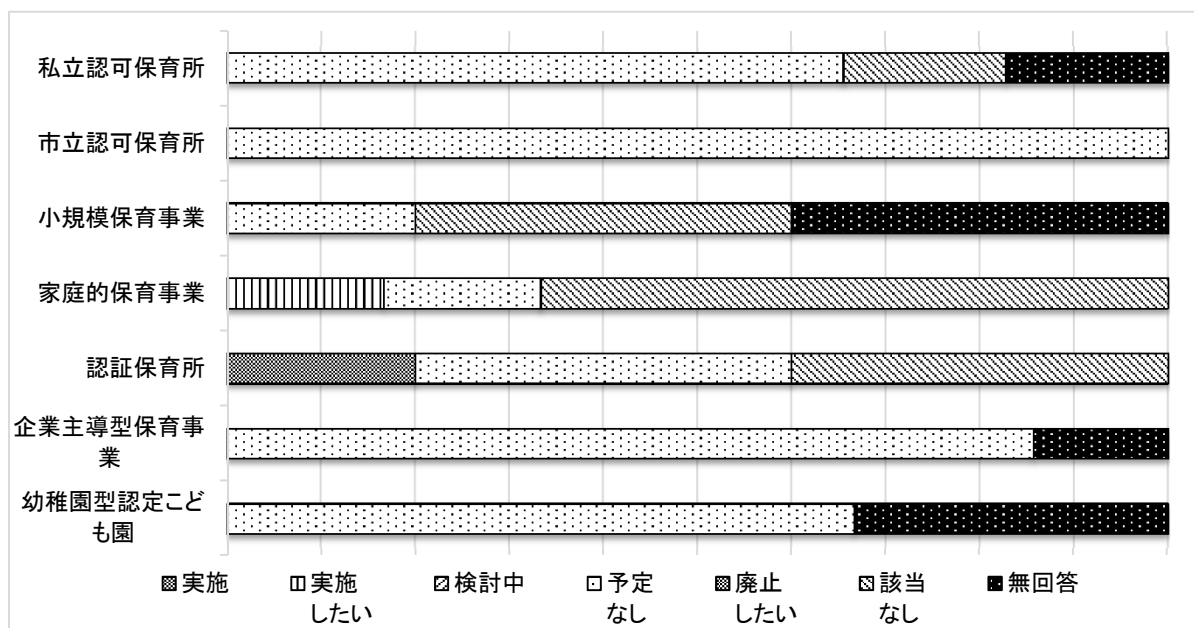
事業種別		入園予約						
		実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
1	私立認可保育所	2	1	2	11	0	7	6
2	市立認可保育所	0	0	0	6	0	0	0
3	小規模保育事業	0	1	0	2	0	0	2
4	家庭的保育事業	0	2	0	0	0	4	0
5	認証保育所	2	0	0	2	0	0	1
6	企業主導型保育事業	1	1	1	3	0	0	1
7	幼稚園型認定こども園	0	0	0	2	0	0	1

既に実施している事業所が5か所あり、今後、5か所の事業所が実施したいと考えている

○【その他の保育サービスについて】 保育事業等（幼稚園を除く）

質問ⅠⅠ 下記の保育サービスに係る現在の状況について

トワイライト保育



単位：施設

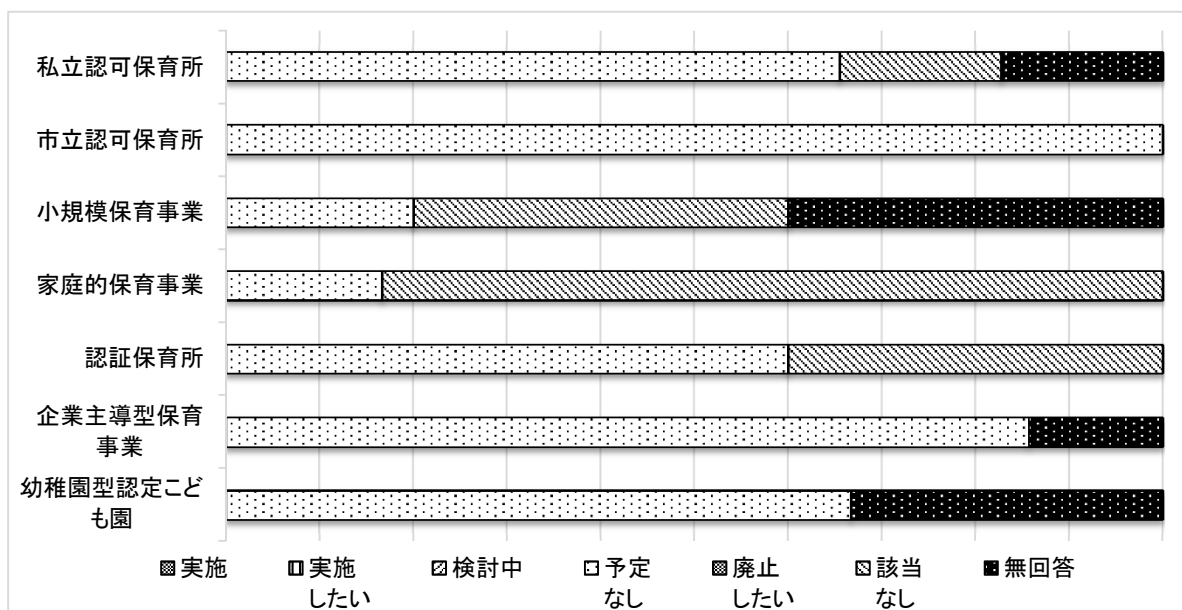
事業種別		トワイライト保育						
		実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
1	私立認可保育所	0	0	0	19	0	5	5
2	市立認可保育所	0	0	0	6	0	0	0
3	小規模保育事業	0	0	0	1	0	2	2
4	家庭的保育事業	0	1	0	1	0	4	0
5	認証保育所	1	0	0	2	0	2	0
6	企業主導型保育事業	0	0	0	6	0	0	1
7	幼稚園型認定こども園	0	0	0	2	0	0	1

22時まで開所するトワイライト保育は立川市全体で1か所のみの実施となっている。また今後実施を検討している事業所もほとんどない。

○【その他の保育サービスについて】 保育事業等（幼稚園を除く）

質問ⅠⅠ 下記の保育サービスに係る現在の状況について

24時間保育



単位：施設

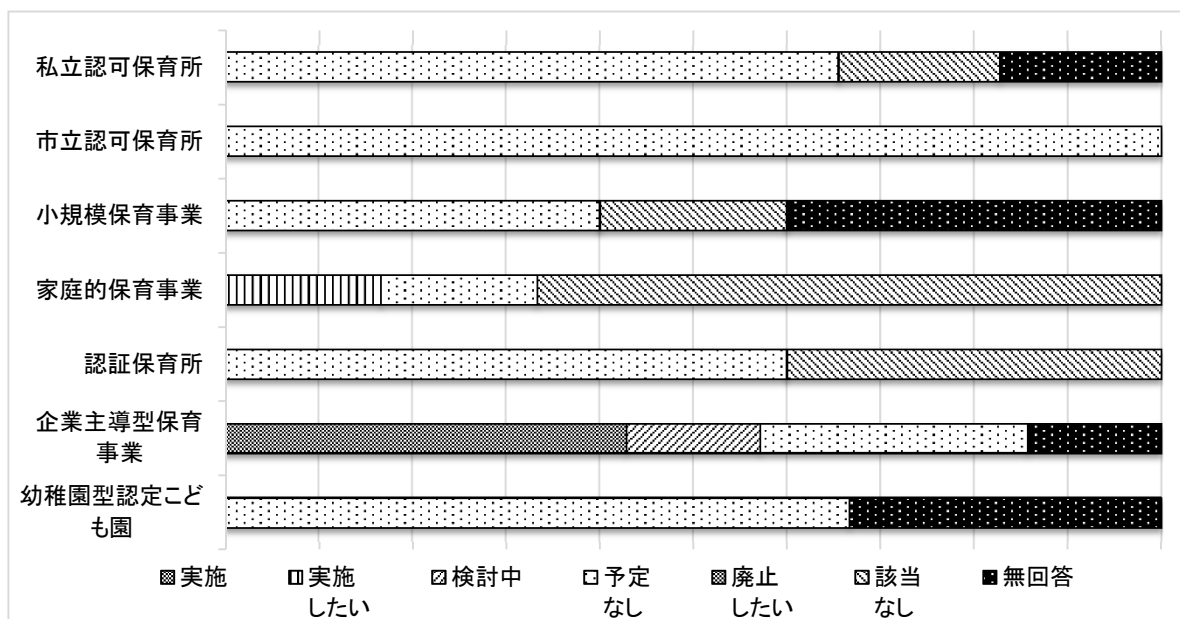
事業種別		24時間保育						
		実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
1	私立認可保育所	0	0	0	19	0	5	5
2	市立認可保育所	0	0	0	6	0	0	0
3	小規模保育事業	0	0	0	1	0	2	2
4	家庭的保育事業	0	0	0	1	0	5	0
5	認証保育所	0	0	0	3	0	2	0
6	企業主導型保育事業	0	0	0	6	0	0	1
7	幼稚園型認定こども園	0	0	0	2	0	0	1

24時間保育については、現在実施している、または、実施を検討している事業所はない。

○【その他の保育サービスについて】 保育事業等（幼稚園を除く）

質問ⅠⅠ 下記の保育サービスに係る現在の状況について

休日保育



単位：施設

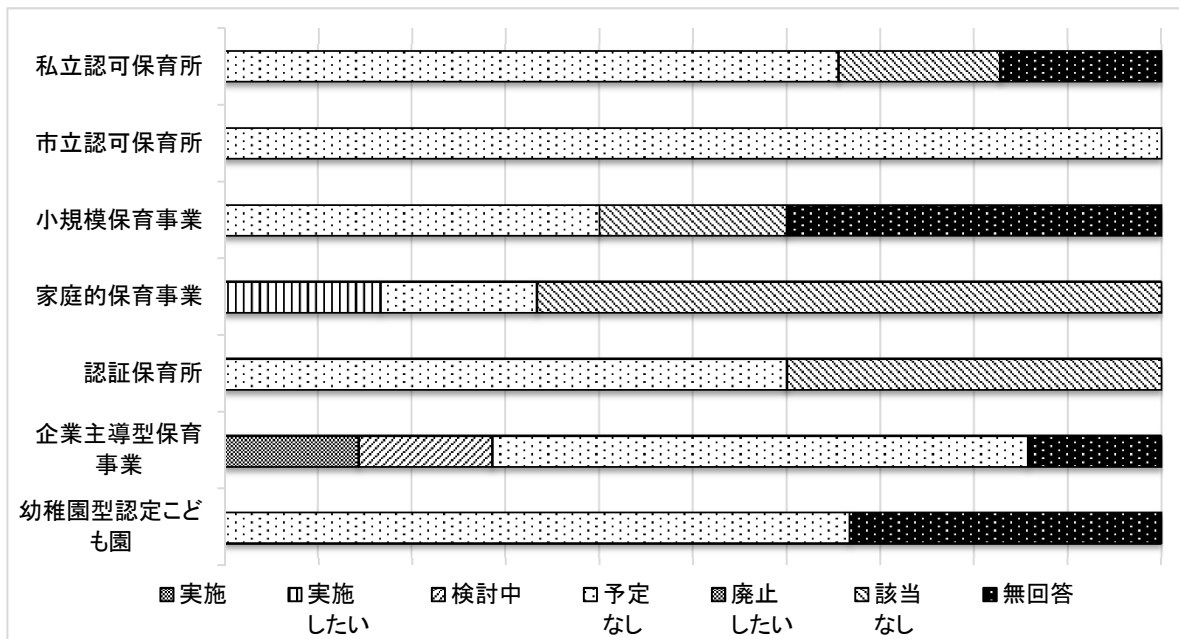
事業種別		休日保育						
		実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
1	私立認可保育所	0	0	0	19	0	5	5
2	市立認可保育所	0	0	0	6	0	0	0
3	小規模保育事業	0	0	0	2	0	1	2
4	家庭的保育事業	0	1	0	1	0	4	0
5	認証保育所	0	0	0	3	0	2	0
6	企業主導型保育事業	3	0	1	2	0	0	1
7	幼稚園型認定こども園	0	0	0	2	0	0	1

休日保育を実施していると回答した事業所は、企業主導型保育事業の3か所。認可保育所などは今後、実施を検討している事業所もない。

○【その他の保育サービスについて】 保育事業等（幼稚園を除く）

質問ⅠⅠ 下記の保育サービスに係る現在の状況について

年末年始保育



単位：施設

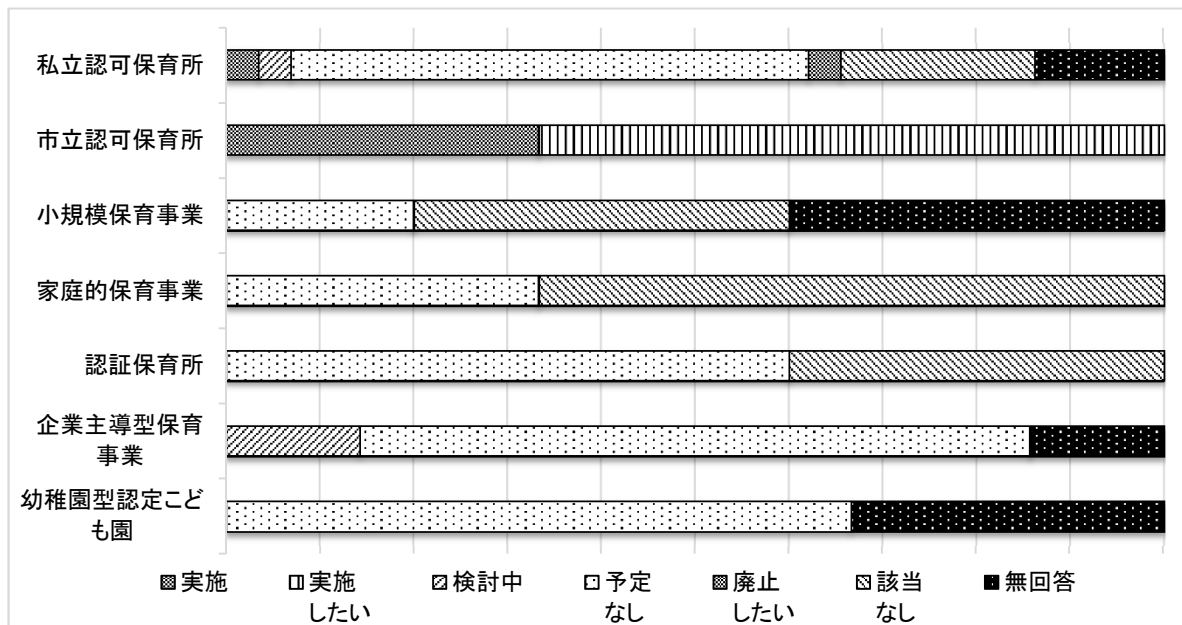
事業種別		年末年始保育						
		実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
1	私立認可保育所	0	0	0	19	0	5	5
2	市立認可保育所	0	0	0	6	0	0	0
3	小規模保育事業	0	0	0	2	0	1	2
4	家庭的保育事業	0	1	0	1	0	4	0
5	認証保育所	0	0	0	3	0	2	0
6	企業主導型保育事業	1	0	1	4	0	0	1
7	幼稚園型認定こども園	0	0	0	2	0	0	1

年末年始保育を実施している事業所は、企業主導型保育事業の1か所のみ。認可保育所などは今後実施を検討している事業所もない。

○【その他の保育サービスについて】

質問Ⅱ 下記の保育サービスに係る現在の状況について

医療的ケア児保育



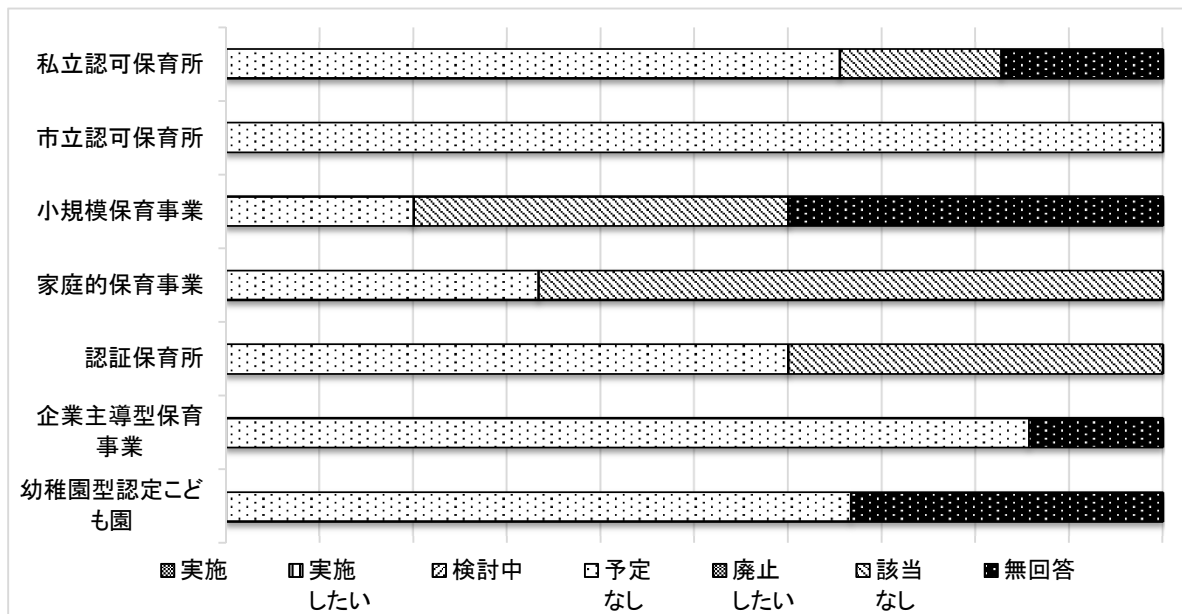
単位：施設

事業種別		医療的ケア児保育						
		実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
1	私立認可保育所	1	0	1	16	1	6	4
2	市立認可保育所	2	4	0	0	0	0	0
3	小規模保育事業	0	0	0	1	0	2	2
4	家庭的保育事業	0	0	0	2	0	4	0
5	認証保育所	0	0	0	3	0	2	0
6	企業主導型保育事業	0	0	1	5	0	0	1
7	幼稚園型認定こども園	0	0	0	2	0	0	1
現在医療的ケア児保育を実施していると回答した事業所は全体で3か所、今後、実施を検討していると回答した事業所が2か所あった。市立認可保育所の「実施したい」との回答は対象児があった場合は実施する、との趣旨である。								

○【その他の保育サービスについて】

質問ⅠⅠ 下記の保育サービスに係る現在の状況について

病児保育



単位：施設

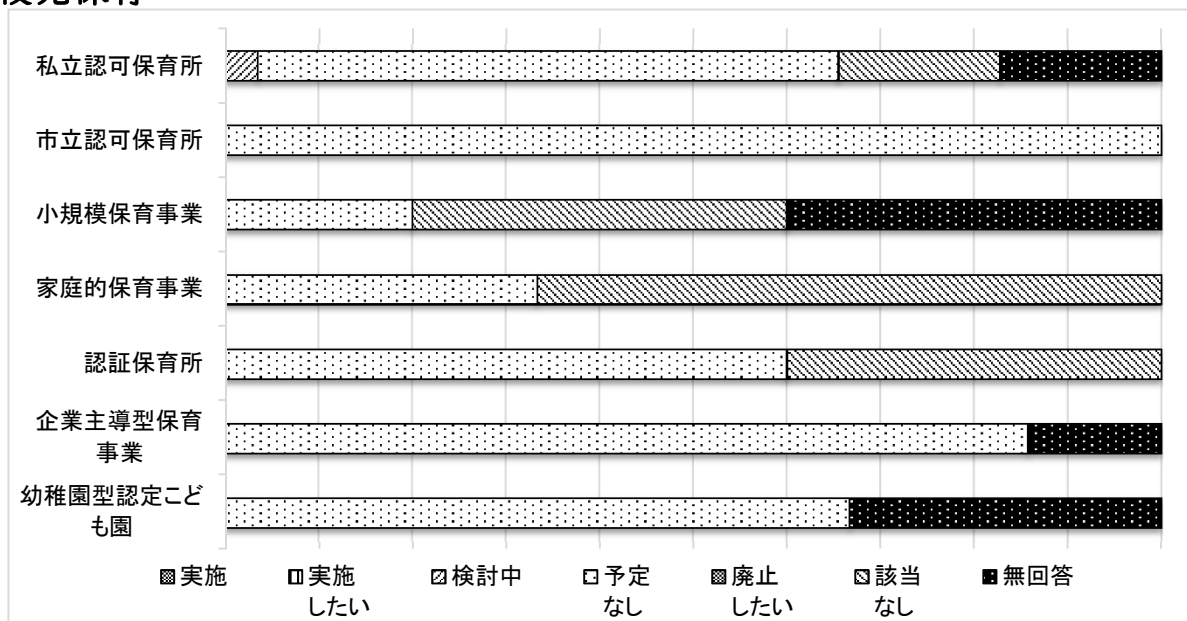
事業種別		病児保育						
		実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
1	私立認可保育所	0	0	0	19	0	5	5
2	市立認可保育所	0	0	0	6	0	0	0
3	小規模保育事業	0	0	0	1	0	2	2
4	家庭的保育事業	0	0	0	2	0	4	0
5	認証保育所	0	0	0	3	0	2	0
6	企業主導型保育事業	0	0	0	6	0	0	1
7	幼稚園型認定こども園	0	0	0	2	0	0	1

今回アンケートを実施した事業所の中では、病児保育を実施している事業所、今後実施を検討している事業所はなかった。（現在市で病児保育を行っている2つの事業所は、病児保育を専門に実施する事業所である）

○【その他の保育サービスについて】 保育事業等（幼稚園を除く）

質問ⅠⅠ 下記の保育サービスに係る現在の状況について

病後児保育



単位：施設

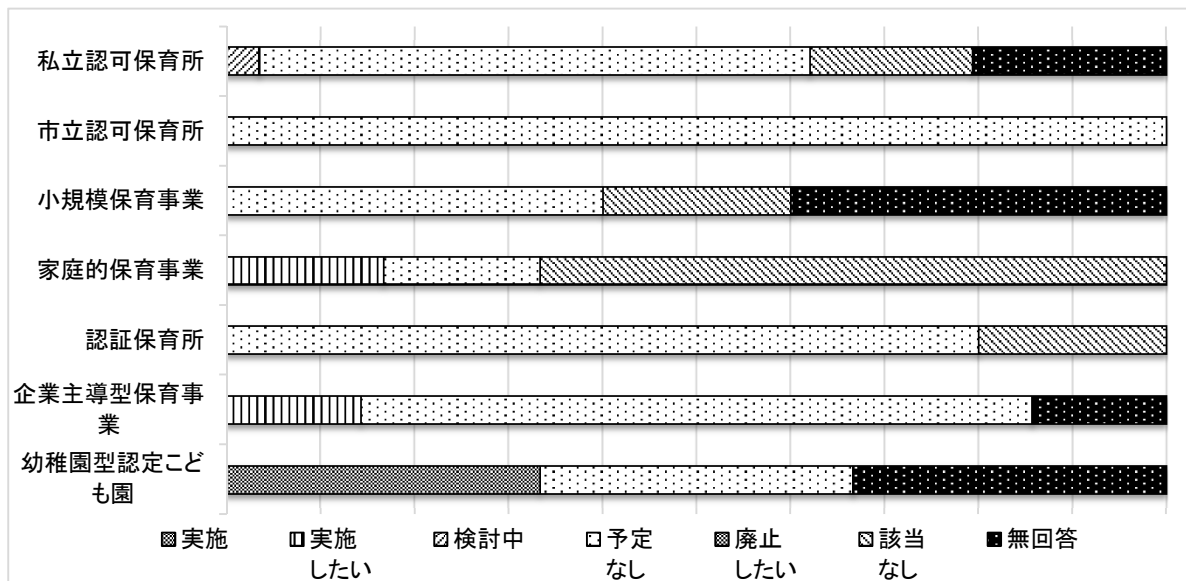
事業種別		病後児保育						
		実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
1	私立認可保育所	0	0	1	18	0	5	5
2	市立認可保育所	0	0	0	6	0	0	0
3	小規模保育事業	0	0	0	1	0	2	2
4	家庭的保育事業	0	0	0	2	0	4	0
5	認証保育所	0	0	0	3	0	2	0
6	企業主導型保育事業	0	0	0	6	0	0	1
7	幼稚園型認定こども園	0	0	0	2	0	0	1

病後児保育を実施していると回答した事業者はない。また、今後実施を検討している事業所は、私立認可保育所の1か所のみある。

○【その他の保育サービスについて】 保育事業等（幼稚園を除く）

質問ⅠⅠ 下記の保育サービスに係る現在の状況について

送迎サービス



単位：施設

事業種別		送迎サービス						
		実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
1	私立認可保育所	0	0	1	17	0	5	6
2	市立認可保育所	0	0	0	6	0	0	0
3	小規模保育事業	0	0	0	2	0	1	2
4	家庭的保育事業	0	1	0	1	0	4	0
5	認証保育所	0	0	0	4	0	1	0
6	企業主導型保育事業	0	1	0	5	0	0	1
7	幼稚園型認定こども園	1	0	0	1	0	0	1

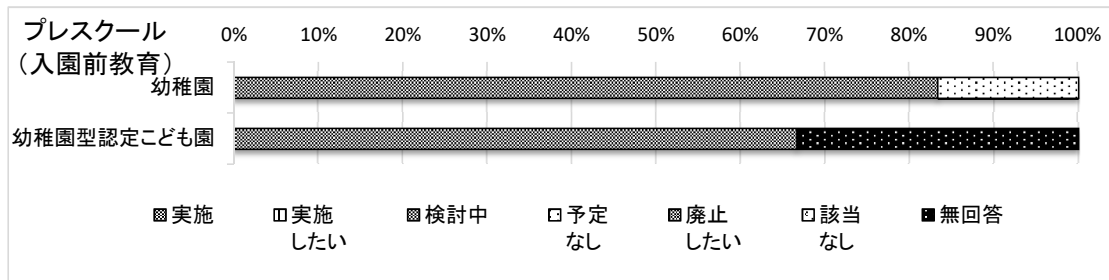
保育事業所で送迎サービスを実施していると回答した事業所はないが、今後、実施したいと回答した事業所が2か所ある。

○【その他の保育サービスについて】

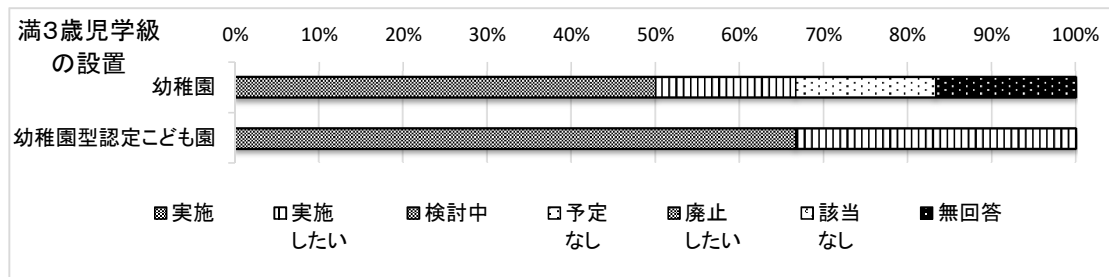
幼稚園と幼稚園型認定こども園

質問ⅠⅠ 下記の保育サービスに係る現在の状況について

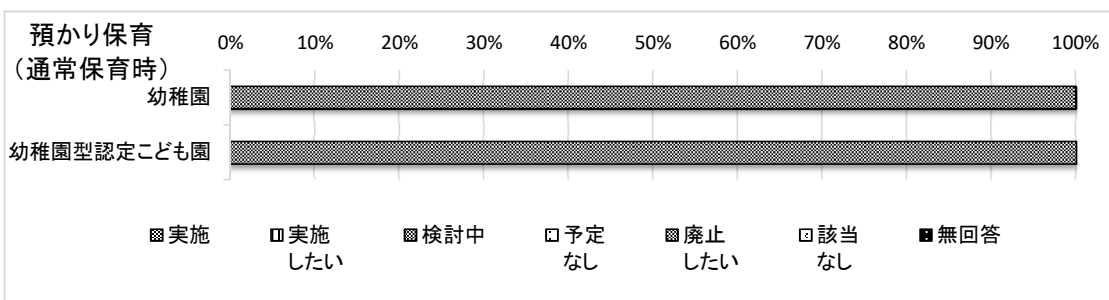
単位：施設



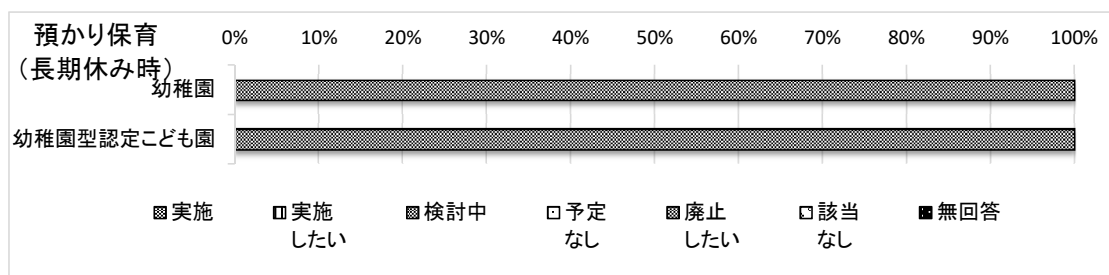
事業種別	プレスクール（入園前教育）						
	実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
幼稚園	5	0	0	1	0	0	0
幼稚園型認定こども園	2	0	0	0	0	0	1



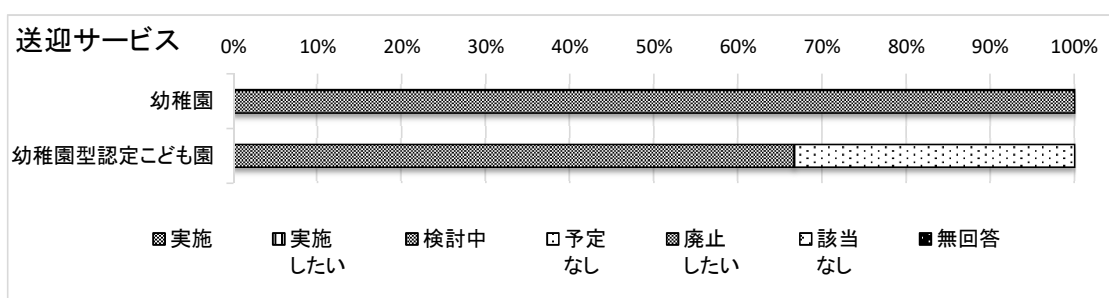
事業種別	満3歳児学級の設置						
	実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
幼稚園	3	1	0	1	0	0	1
幼稚園型認定こども園	2	1	0	0	0	0	0



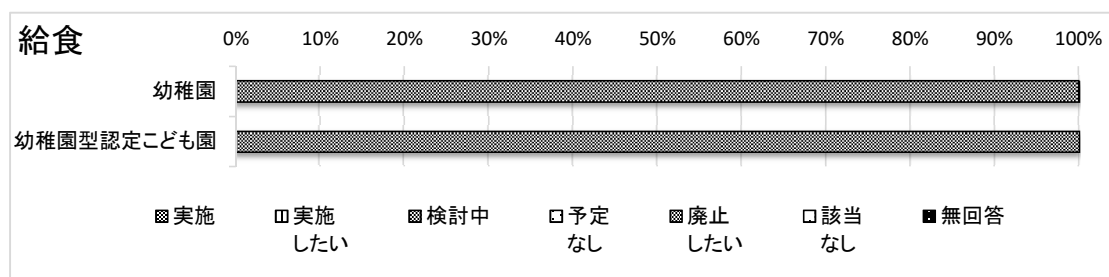
事業種別	預かり保育（通常保育時）						
	実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
幼稚園	6	0	0	0	0	0	0
幼稚園型認定こども園	3	0	0	0	0	0	0



事業種別	預かり保育（長期休み時）						
	実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
幼稚園	6	0	0	0	0	0	0
幼稚園型認定こども園	3	0	0	0	0	0	0



事業種別	送迎サービス						
	実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
幼稚園	6	0	0	0	0	0	0
幼稚園型認定こども園	2	0	0	1	0	0	0



事業種別	給食						
	実施	実施したい	検討中	予定なし	廃止したい	該当なし	無回答
幼稚園	6	0	0	0	0	0	0
幼稚園型認定こども園	3	0	0	0	0	0	0

保育サービスに係る現在の状況について 幼稚園と幼稚園型認定こども園

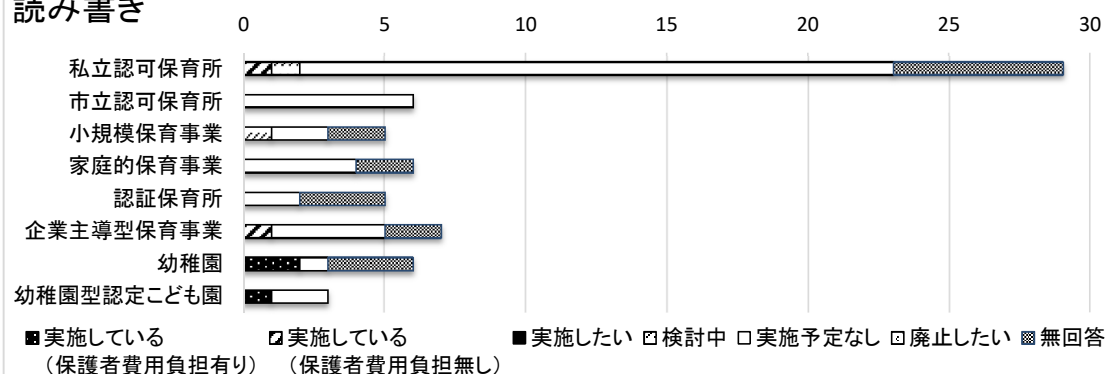
幼稚園では、各園で様々なサービスを実施している。預かり保育については、原則として、普段から園に在籍している子どもに対して、通常の預かり時間の前後等を実施するものである。

○【その他のサービス等についてうかがいます。】

質問13 下記のその他のサービス等に係る現在の状況について

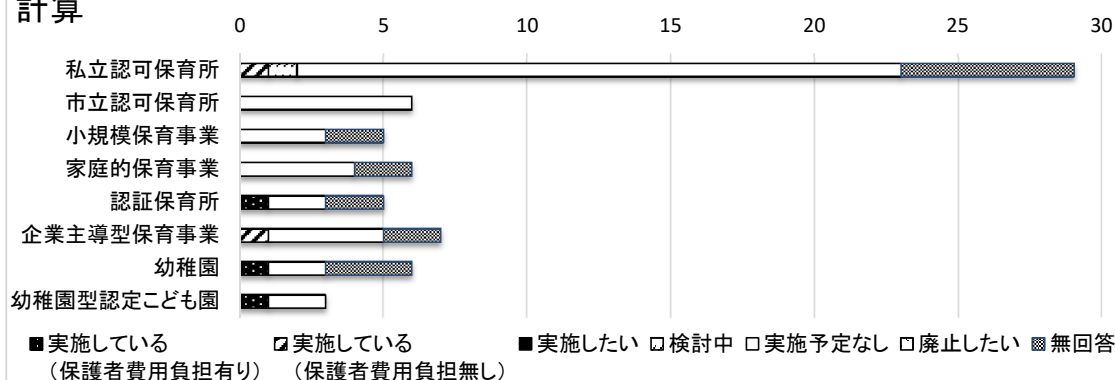
※保育所等では、普段の保育の中で読み書きや計算等の幼児教育は実施されているが、本質問では、外部からの講師等を招いて実施するものに限定し調査した。

読み書き



選択項目 ※いわゆる習い事やレッスンとして 外部の担当者に委託して提供して いるもの		読み書き						
		実施している (保護者費用 負担有り)	実施している (保護者費用 負担無し)	実施したい	検討中	実施予定なし	廃止したい	無回答
1	私立認可保育所	0	1	0	1	21	0	6
2	市立認可保育所	0	0	0	0	6	0	0
3	小規模保育事業	0	0	0	1	2	0	2
4	家庭的保育事業	0	0	0	0	4	0	2
5	認証保育所	0	0	0	0	2	0	3
6	企業主導型保育事業	0	1	0	0	4	0	2
7	幼稚園	2	0	0	0	1	0	3
8	幼稚園型認定こども園	1	0	0	0	2	0	0

計算

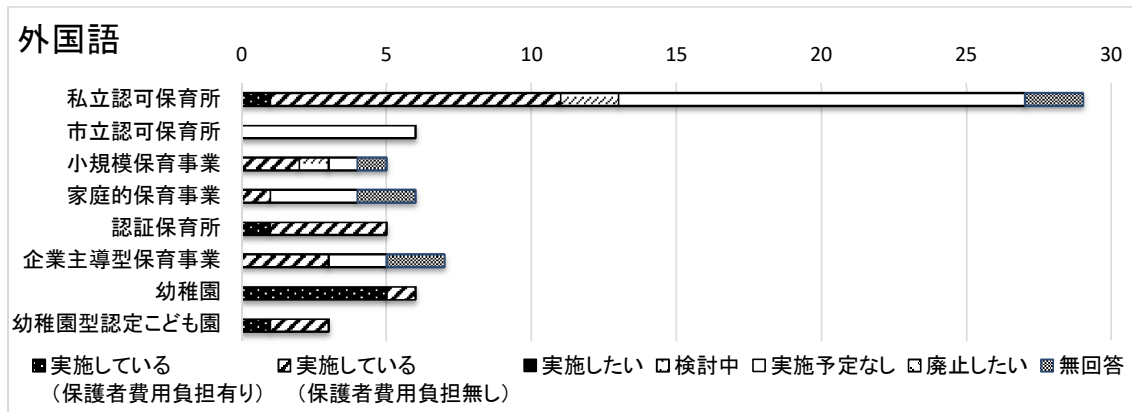


選択項目 ※いわゆる習い事やレッスンとして 外部の担当者に委託して提供して いるもの		計算						
		実施している (保護者費用 負担有り)	実施している (保護者費用 負担無し)	実施したい	検討中	実施予定なし	廃止したい	無回答
1	私立認可保育所	0	1	0	1	21	0	6
2	市立認可保育所	0	0	0	0	6	0	0
3	小規模保育事業	0	0	0	0	3	0	2
4	家庭的保育事業	0	0	0	0	4	0	2
5	認証保育所	1	0	0	0	2	0	2
6	企業主導型保育事業	0	1	0	0	4	0	2
7	幼稚園	1	0	0	0	2	0	3
8	幼稚園型認定こども園	1	0	0	0	2	0	0

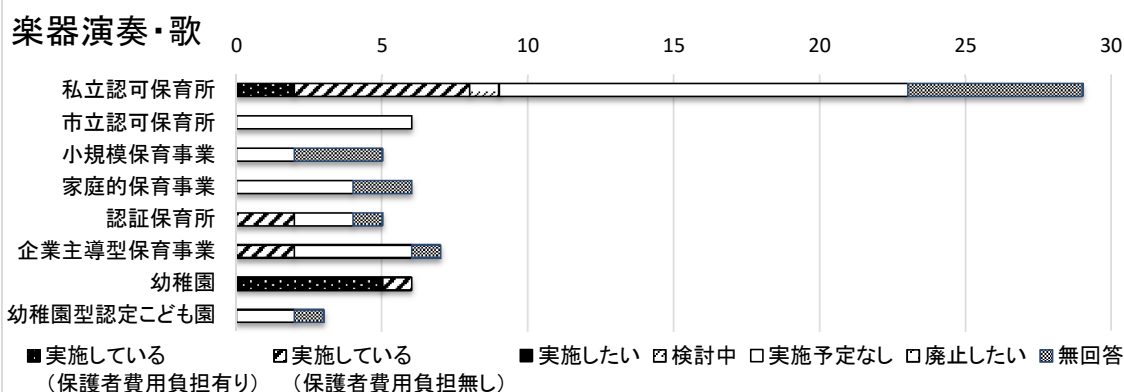
○【その他のサービス等についてうかがいます。】

質問13 下記のその他のサービス等に係る現在の状況について

※保育所等では、普段の保育の中で読み書きや計算等の幼児教育は実施されているが、本質問では、外部からの講師等を招いて実施するものに限定し調査した。



選択項目 ※いわゆる習い事やレッスンとして 外部の担当者に委託して提供して いるもの		外国語						
		実施している (保護者費用 負担有り)	実施している (保護者費用 負担無し)	実施したい	検討中	実施予定なし	廃止したい	無回答
1	私立認可保育所	1	10	0	2	14	0	2
2	市立認可保育所	0	0	0	0	6	0	0
3	小規模保育事業	0	2	0	1	1	0	1
4	家庭的保育事業	0	1	0	0	3	0	2
5	認証保育所	1	4	0	0	0	0	0
6	企業主導型保育事業	0	3	0	0	2	0	2
7	幼稚園	5	1	0	0	0	0	0
8	幼稚園型認定こども園	1	2	0	0	0	0	0

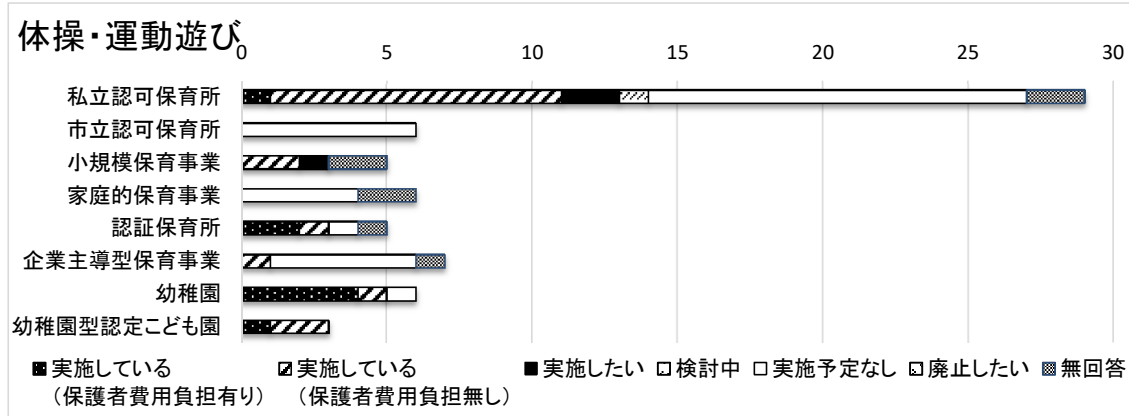


選択項目 ※いわゆる習い事やレッスンとして 外部の担当者に委託して提供して いるもの		楽器演奏・歌						
		実施している (保護者費用 負担有り)	実施している (保護者費用 負担無し)	実施したい	検討中	実施予定なし	廃止したい	無回答
1	私立認可保育所	2	6	0	1	14	0	6
2	市立認可保育所	0	0	0	0	6	0	0
3	小規模保育事業	0	0	0	0	2	0	3
4	家庭的保育事業	0	0	0	0	4	0	2
5	認証保育所	0	2	0	0	2	0	1
6	企業主導型保育事業	0	2	0	0	4	0	1
7	幼稚園	5	1	0	0	0	0	0
8	幼稚園型認定こども園	0	0	0	0	2	0	1

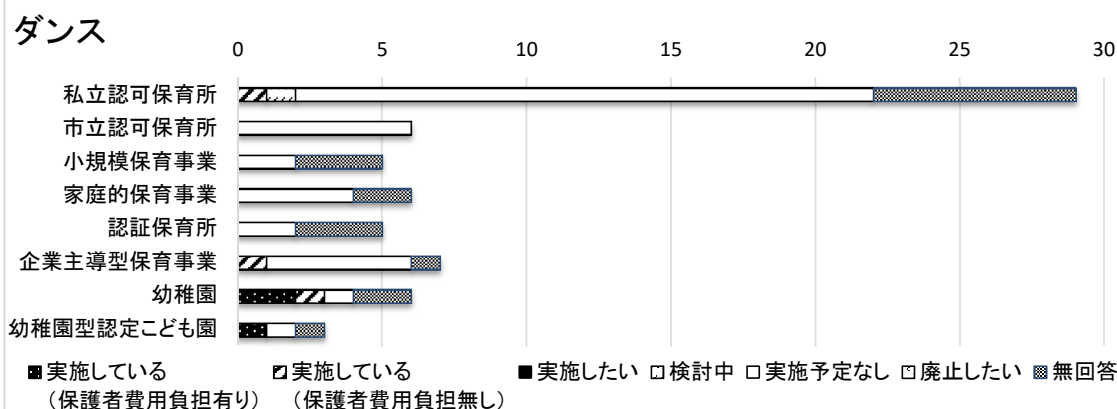
○【その他のサービス等についてうかがいます。】

質問13 下記のその他のサービス等に係る現在の状況について

※保育所等では、普段の保育の中で読み書きや計算等の幼児教育は実施されているが、本質問では、外部からの講師等を招いて実施するものに限定し調査した。



選択項目 ※いわゆる習い事やレッスンとして 外部の担当者に委託して提供して いるもの		体操・運動遊び						
		実施している (保護者費用 負担有り)	実施している (保護者費用 負担無し)	実施したい	検討中	実施予定なし	廃止したい	無回答
1	私立認可保育所	1	10	2	1	13	0	2
2	市立認可保育所	0	0	0	0	6	0	0
3	小規模保育事業	0	2	1	0	0	0	2
4	家庭的保育事業	0	0	0	0	4	0	2
5	認証保育所	2	1	0	0	1	0	1
6	企業主導型保育事業	0	1	0	0	5	0	1
7	幼稚園	4	1	0	0	1	0	0
8	幼稚園型認定こども園	1	2	0	0	0	0	0

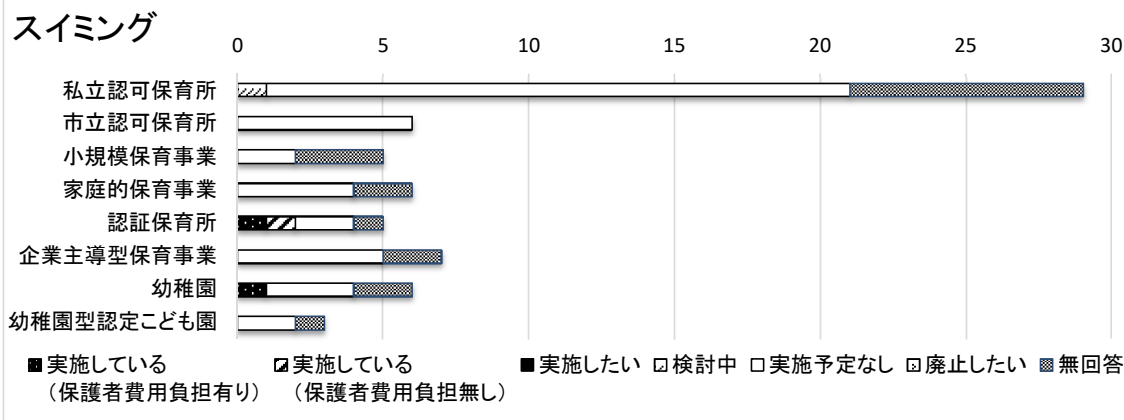


選択項目 ※いわゆる習い事やレッスンとして 外部の担当者に委託して提供して いるもの		ダンス						
		実施している (保護者費用 負担有り)	実施している (保護者費用 負担無し)	実施したい	検討中	実施予定なし	廃止したい	無回答
1	私立認可保育所	0	1	0	1	20	0	7
2	市立認可保育所	0	0	0	0	6	0	0
3	小規模保育事業	0	0	0	0	2	0	3
4	家庭的保育事業	0	0	0	0	4	0	2
5	認証保育所	0	0	0	0	2	0	3
6	企業主導型保育事業	0	1	0	0	5	0	1
7	幼稚園	2	1	0	0	1	0	2
8	幼稚園型認定こども園	1	0	0	0	1	0	1

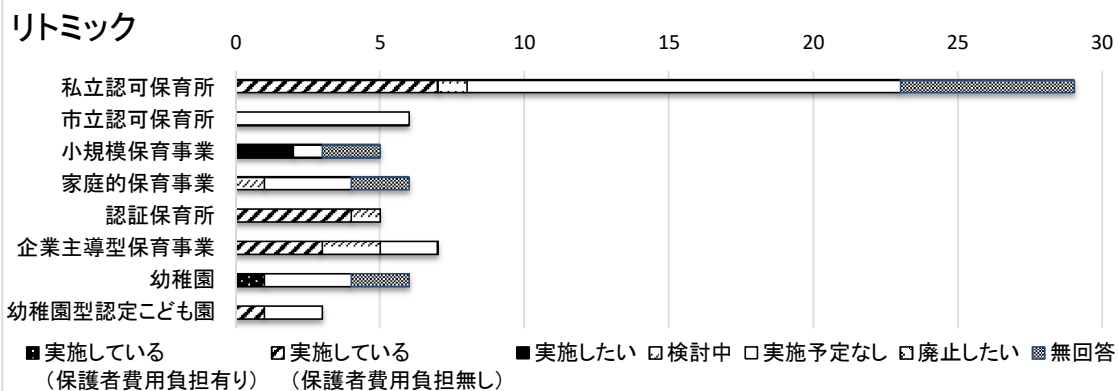
○【その他のサービス等についてうかがいます。】

質問13 下記のその他のサービス等に係る現在の状況について

※保育所等では、普段の保育の中で読み書きや計算等の幼児教育は実施されているが、本質問では、外部からの講師等を招いて実施するものに限定し調査した。



選択項目 ※いわゆる習い事やレッスンとして 外部の担当者に委託して提供して いるもの		スイミング						
		実施している (保護者費用 負担有り)	実施している (保護者費用 負担無し)	実施したい	検討中	実施予定なし	廃止したい	無回答
1	私立認可保育所	0	0	0	1	20	0	8
2	市立認可保育所	0	0	0	0	6	0	0
3	小規模保育事業	0	0	0	0	2	0	3
4	家庭的保育事業	0	0	0	0	4	0	2
5	認証保育所	1	1	0	0	2	0	1
6	企業主導型保育事業	0	0	0	0	5	0	2
7	幼稚園	1	0	0	0	3	0	2
8	幼稚園型認定こども園	0	0	0	0	2	0	1

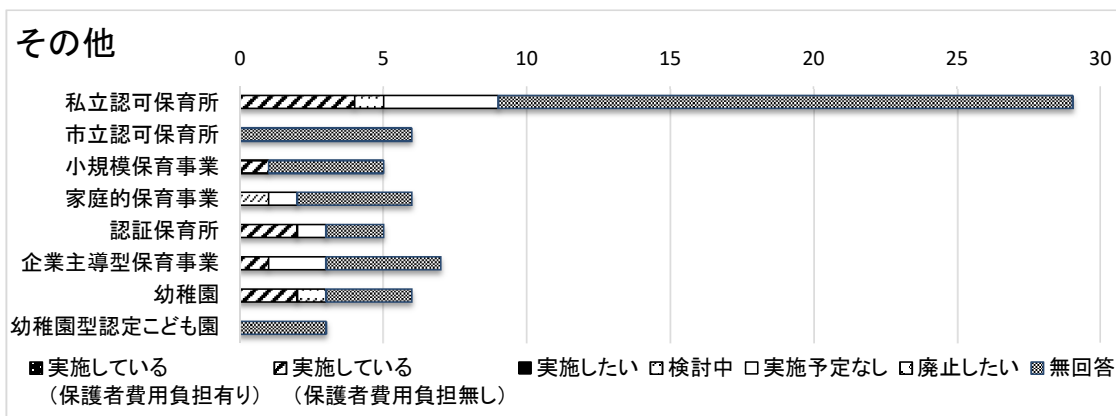


選択項目 ※いわゆる習い事やレッスンとして 外部の担当者に委託して提供して いるもの		リトミック						
		実施している (保護者費用 負担有り)	実施している (保護者費用 負担無し)	実施したい	検討中	実施予定なし	廃止したい	無回答
1	私立認可保育所	0	7	0	1	15	0	6
2	市立認可保育所	0	0	0	0	6	0	0
3	小規模保育事業	0	0	2	0	1	0	2
4	家庭的保育事業	0	0	0	1	3	0	2
5	認証保育所	0	4	0	1	0	0	0
6	企業主導型保育事業	0	3	0	2	2	0	0
7	幼稚園	1	0	0	0	3	0	2
8	幼稚園型認定こども園	0	1	0	0	2	0	0

○【その他のサービス等についてうかがいます。】

質問Ⅰ３ 下記のその他のサービス等に係る現在の状況について

※保育所等では、普段の保育の中で読み書きや計算等の幼児教育は実施されているが、本質問では、外部からの講師等を招いて実施するものに限定し調査した。



選択項目 ※いわゆる習い事やレッスンとして 外部の担当者に委託して提供して いるもの		その他						
		実施している (保護者費用 負担有り)	実施している (保護者費用 負担無し)	実施したい	検討中	実施予定なし	廃止したい	無回答
1	私立認可保育所	0	4	0	1	4	0	20
2	市立認可保育所	0	0	0	0	0	0	6
3	小規模保育事業	0	1	0	0	0	0	4
4	家庭的保育事業	0	0	0	1	1	0	4
5	認証保育所	0	2	0	0	1	0	2
6	企業主導型保育事業	0	1	0	0	2	0	4
7	幼稚園	0	2	0	1	0	0	3
8	幼稚園型認定こども園	0	0	0	0	0	0	3

上記、その他の実施例としては、オペレッタ表現、アート、華道、算数塾、造形、サッカー、絵画、検討例としては、バレエ、絵画、空手、造形、オペレッタ表現があげられている。

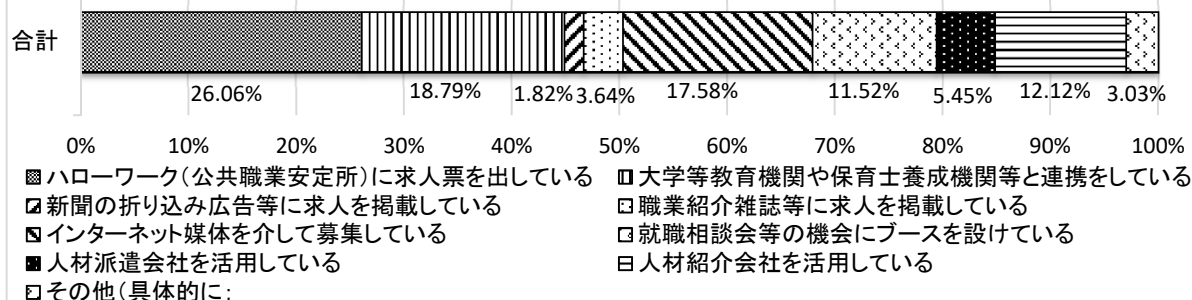
【その他のサービス等】質問Ⅰ３ 全体のまとめ

外部委託（保護者費用負担あり）で実施している事業所は12か所。また、保護者費用負担なしで実施している事業所は34か所。
保護者費用負担あり、なし合わせて「外国語」が31か所と1番多くなっており、ついて「体操・運動遊び」25か所、「楽器演奏・歌」18か所、「リトミック」16か所と続いている
※保育所等では、普段の保育の中で読み書きや計算等の幼児教育は実施されているが、本質問では、外部からの講師等を招いて実施するものに限定し調査した。

○【人材育成方策等について】

質問15 従事者の募集はどのように行っていますか。

従事者の募集

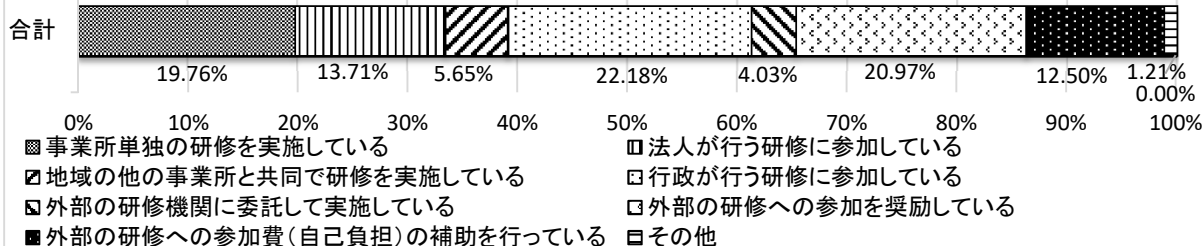


単位：施設

事業種別	ハローワーク (公共職業安定所)に求人票を出している	大学等教育機関や保育士養成機関等と連携をしている	新聞の折り込み広告等に求人を掲載している	職業紹介雑誌等に求人を掲載している	インターネット媒体を介して募集している	就職相談会等の機会にブースを設けている	人材派遣会社を活用している	人材紹介会社を活用している	その他(具体的に)
私立認可保育所	24	23	1	4	17	14	6	15	1
市立認可保育所	1	0	0	0	0	1	0	0	1
小規模保育事業	5	0	0	0	1	0	0	2	1
家庭的保育事業	1	0	0	0	0	0	0	0	0
認証保育所	3	1	0	1	3	2	1	1	0
企業主導型保育事業	3	0	1	0	2	0	0	0	2
幼稚園	4	6	0	0	4	2	2	1	0
幼稚園型認定こども園	2	1	1	1	2	0	0	1	0
合計	43	31	3	6	29	19	9	20	5

従事者の募集については「ハローワークに求人を出している」との回答が最も多く（43施設、26.06%）、ついで「大学等教育機関や保育士養成機関等と連携をしている」（31施設、18.79%）、「インターネット媒体を介して募集している」（29施設、17.58%）と続いている。

従事者の研修等について



単位：施設

事業種別	事業所単独の研修を実施している	法人が行う研修に参加している	地域の他の事業所と共同で研修を実施している	行政が行う研修に参加している	外部の研修機関に委託して実施している	外部の研修への参加を奨励している	外部の研修への参加費(自己負担)の補助を行っている	その他	特に行っていない
私立認可保育所	25	20	6	27	6	27	16	1	0
市立認可保育所	4	1	2	6	1	5	1	0	0
小規模保育事業	4	1	1	4	0	2	1	0	0
家庭的保育事業	0	0	0	4	0	5	1	0	0
認証保育所	4	4	0	5	1	4	4	1	0
企業主導型保育事業	5	4	0	6	0	3	3	1	0
幼稚園	4	3	4	3	1	3	3	0	0
幼稚園型認定こども園	3	1	1	0	1	3	2	0	0
合計	49	34	14	55	10	52	31	3	0

従事者の研修については「行政が行う研修に参加している」との回答が最も多く（55施設、22.18%）、ついで「外部の研修への参加を奨励している」（52施設、20.97%）、「事業所単独の研修を実施している」（49施設、19.76%）と続いている。

立川市保育のあり方検討（事業所）アンケート

結果

自由記述欄

※明らかな誤字、脱字は修正しています。

※「特になし」やそれに類する回答は除外しています。

※個人名や園名等は伏せています（下線を引いてあります）。

※内容が複数の分類にまたがる場合、文章や項目が分かれていれば
それぞれの分類、分かれていなければ主な分類で整理しています。

目 次

■質問9 保育・幼児教育等の質の向上のためには、どのような取組みが有効と考えますか。

人権の尊重	P1
保育・幼児教育の基本原則	P5
保育内容	P9
保護者との連携	P13
配慮の必要な子どもに関する取組み	P18
従事者について(人材育成も含む)	P23
健康安全	P28
地域・関連機関との連携	P33
自己評価情報公開	P37

■質問10 貴施設における保育・幼児教育等の質の向上について、自由にご記入ください。 P41

■質問12 質問11で行っている保育サービスやその他ご意見について、自由にご記入ください。 P46

■質問14 その他のサービス等について、自由にご記入ください。 P47

■質問16 従事者の募集についてのご意見等を自由にご記入ください。 P49

■質問18 従事者の研修についてのご意見等を自由にご記入ください。 P51

■質問19 保育園、幼稚園を運営するにあたり立川市に関してのご意見ご希望等を自由にご記入ください。 P53

■質問9 保育・幼児教育等の質の向上のためには、どのような取り組みが有効と考えますか。

人権の尊重

現場の保育士さん達の意識、細くなりすぎると保育士さん達の良い活動も無くなってしまう場合もあった。	私立認可保育所
法人の保育理念方針目標や行動規範を年に1回は、職員間で読み合わせをすることで、新たな気持ちで子どもと向き合い、また責任のある仕事をすることを意識するようにしている。	私立認可保育所
虐待防止の取り組みでは子家セン児相でのやり取りが難しく感じた。双方に同じ話を何度もしたり園が間に入りやり取りをしったりということがあった。担当の方次第なのかもしれないが、連携が取れているようで取れていないのかと不安に思うことがあった。ケースごとの、虐待→保護→その後の流れがもう少し分かるようにしていただきたい。	私立認可保育所
女児のおむつ替え等は女子職員で行う。着替え時は子供の体を確認する。	私立認可保育所
定期的な職員研修の実施と、厳守できているかの定期的な確認 自己反省自己評価 当園では行っていないが、防犯カメラの設置をしているところもあると聞きました。 看護師園長との連携を取り、日々の子どもの観察を行う。虐待マニュアル通報義務などの勉強会および研修等の実施(定期的に)	私立認可保育所
定期的な虐待チェックなどで、保育の見直しをしていくこと。 定期的な保育の見直し、話し合い。	私立認可保育所
研修 日々の保育の振り返り	私立認可保育所
育児困難家庭の対応に不安を持つ職員が多く、個々の対応力と共に園全体の高めていく必要がある。 地域ネットワークは確立しつつあるものの、他市との連携共有情報がつながりにくいため、積極的な情報共有を実施していく。 地域の支援ニーズに応えられるよう、ニーズの把握を引き続き探っていくことで、地域の子育ち力の安定に繋げていく。	私立認可保育所
保育の質向上につなげるための保育内容の相互チェック(上下間同僚) 「市虐待防止マニュアル」を活用した職員教育	私立認可保育所
子どもの受け入れ時の視診での早期発見 大きな怪我等を発見した場合は撮影し、記録を取る 会議等で子どもとの関わり方について共有し、実践していく	私立認可保育所
理念に沿った保育	私立認可保育所
児相や子家センとの情報交換、園内での事例研修	私立認可保育所
立川市児童虐待マニュアルに基づき、児童相談所子ども家庭支援センターと連携を取っている。どの職員も同じような対応が出来るようになるのが望ましい。	私立認可保育所
保護者対応もいろいろな問題を抱えている家庭も多いので、園として寄り添える関りが大切と考える。大人主導ではない子どもが自分で考えて行動できるよう、子どもを尊重した関りについてなどを職員同士で話し合う場を設けている。	私立認可保育所

全てにおいて、複数の職員の目が大切だと思う。密室で子どもと接すると、自分だけの判断での対応になり、それがエスカレートしてしまう場合がある。また現在行っている保育についての話題を常に職員間で確かめ合うことも大切だと思う。心配なことがあれば、すぐに対応する行動力も必要だと感じる。	私立認可保育所
園内研修や外部研修に参加したり、職員会議、ケース会議で話し合いを行う	私立認可保育所
子どもの名前を呼び捨てニックネーム等で呼ばない。 知り得た事に対する、守秘義務。 子どもファーストで、何がより良いことかを考えて取り組む。 保護者とのコミュニケーション信頼関係を深め、相談して頂ける関係を作る。	私立認可保育所
園内研修や職員会議等において人権やプライバシーの尊重、虐待防止に関する意識の向上を図るとともに、職員同士で不適切であったり疑わしい行動について意見を言える関係にしてい	私立認可保育所
子ども一人ひとりを大切にできる保育が行えるように、モンテッソーリ教育を基本にしています。時に間違った対応をしてしまったときには、担任間または職員会議で話し合い保育の振り返りをします。保育士一人ひとりが安心して相手の職員に声かけられるようにしようと話し合っています。クラスの問題としてみんなに意見を求めるときも職員会議の中で話し合えるようにしますが難しいときもあります。虐待防止は気づいた保育士が園長主任看護師に子どもを傷つけないように対応をします。	私立認可保育所
お預かりするお子さんの環境は十分把握したうえで保育は大切だと考えるが、書類などの記載されたものの保管や職員への周知方法や共通理解のための会議などでは十分に配慮し、一部の保管以外の書類は速やかに処分し、職員も他言しないを徹底する	私立認可保育所
定期的な虐待チェックなどで、保育の見直しをしていくこと。 定期的な保育の見直し、話し合い。	私立認可保育所
園長先生が人権擁護の仕事に携わっている為、職員に対しても常々人権の大切さを伝えている。また、法務省から借用した幼児用権紙芝居を子ども達に読み聞かせしている。 児童虐待防止マニュアルをもとに、毎年会議を行い職員間で共通認識を図っている。	私立認可保育所
定期的に子どもの人権について職員間で話し合いを行い、理解を深める教育の場を設ける。職員の子どもの関わる言動については、予測できる場面(トイレ食事午睡の場面など)については、個人に任せず、人権を尊重した内容であらかじめ職員間で話し合いマニュアル化していく。例えば、おもらしの場面など。	私立認可保育所
保育士のコンディションを知ることで、不適切な保育の回避を図る。また、個人面談やコンディションアンケートなどを利用。	私立認可保育所
園内研修の実施により、職員間の標準化を図る。又、外部研修での学び。	私立認可保育所
「人権の尊重」は保育の中において最も重要な項目ととらえ、保育士自身が専門性を身につけ、磨いていくためにも研修参加を大切にしている。月1回実施している園内研修の中でも、当項目を盛り込み、研修報告等を通し、職員間で共有するようにしている。年度末に実施する「個人評価シート」の内容の中にも「不適切保育」に関する項目を挙げ、自身の保育の振り返りを行っている。研修や振り返りを通して、保育士が意識を持ち続けることを大切にしている。	私立認可保育所
毎日の自己評価職員同士の振り返りが重要と考えるが その時間を毎日作るのが大変(人員だったり、業務の振り分け) 関連研修の受講	私立認可保育所
人権についての正しい知識を身につけるための研修や書籍の購入することや、十年前とは人権に対する考え方が違っていることを施設内で共有することが必要かと思います。	家庭的保育事業

それぞれの研修に参加することで、再度の確認と気づきの取り組みを行っています。	家庭的保育事業
補助者の方とは項目1～3は気を付けるように日々の保育中で話しているつもりだったが人によってとらえ方が違うのではとこのアンケートで気が付いたので文章化して同じ認識で取り組んでいきたいと思った	家庭的保育事業
子ども、保護者の観察を注意深く行い、日頃より子育てや保護者の思いを聞き受け止めるようにする。	家庭的保育事業
研修参加やチェックシートなどの活用	家庭的保育事業
子どもや保護者の環境や状況を受けとめ、プライバシーを保護するためには保育を通して知り得た情報は、絶対他では口外しないよう時々注意しあう。まだ喋れない子たちなので、表情や身体の傷服装食欲など気を付けて見ている。	家庭的保育事業
定期会議の中で口頭にて伝達する方法の徹底	小規模保育事業
職員会議にて毎回テーマを決め話し合う。参考文献、実際のニュースなどを取り上げ他人事でなく自園ではそれに近い事が行われていないか確認しあう。	小規模保育事業
定期的に入権擁護のためのセルフチェックリストを行い、保育の振り返りをする	小規模保育事業
様々な理由で保育園を利用する人が増えてきたと感じています。虐待に関しても親は虐待と感じていないこともあります。子どもを守るために行政と連携して早期発見に繋がればと思います。職員の気づきが大切だと考えています。些細な事で連絡、相談をするようにし園で話し合いをし、家庭支援センターに連絡をする事項であれば連絡を取っていききたい。	小規模保育事業
講師を呼んで年に何回かの講習会	幼稚園型認定子ども園
常にみんなで話しあい、全員にオープンに保育を行っている。プライバシーに関しても情報を共有している	認証保育所
「人権の尊重」は保育の中において最も重要な項目ととらえ、保育士自身が専門性を身につけ、磨いていくためにも研修参加を大切にしている。月1回実施している園内研修の中でも、当項目を盛り込み、研修報告等を通し、職員間で共有するようにしている。年度末に実施する「個人評価シート」の内容の中にも「不適切保育」に関する項目を挙げ、自身の保育の振り返りを行っている。研修や振り返りを通して、保育士が意識を持ち続けることを大切にしている。	認証保育所
職員全員の共通認識、周知するために定期的な確認作業が必要。 職員研修を受け、研修で学んだことを職場にフィードバックする 必ず2人以上で保育する。単独にさせない。また事故防止及び検証のため室内カメラ設置	認証保育所
〇〇市、〇〇市で男女センターを運営していることを強みに人権教育やプライバシーへの配慮は積極的に取り組んでいます。虐待防止は研修の受講を促進しております。	企業主導型保育事業
「人権の尊重」は保育の中において最も重要な項目ととらえ、保育士自身が専門性を身につけ、磨いていくためにも研修参加を大切にしている。月1回実施している園内研修の中でも、当項目を盛り込み、研修報告等を通し、職員間で共有するようにしている。年度末に実施する「個人評価シート」の内容の中にも「不適切保育」に関する項目を挙げ、自身の保育の振り返りを行っている。研修や振り返りを通して、保育士が意識を持ち続けることを大切にしている。虐待防止の目線での保護者支援について園内研修を行っている。	企業主導型保育事業
保育士へのセミナー等の実施、またその様な時間が取れる仕組みと体制	企業主導型保育事業

「人権の尊重」は保育の中において最も重要な項目ととらえ、保育士自身が専門性を身につけ、磨いていくためにも研修参加を大切にしている。月1回実施している園内研修の中でも、当項目を盛り込み、研修報告等を通し、職員間で共有するようにしている。年度末に実施する「個人評価シート」の内容の中にも「不適切保育」に関する項目を挙げ、自身の保育の振り返りを行っている。研修や振り返りを通して、保育士が意識を持ち続けることを大切にしている。	企業主導型保育事業
コンプライアンス遵守について全職員で共通認識をする。	幼稚園
職員に守秘義務の徹底を計る。日々、子どもの身体を確認し、虐待防止に努める。	幼稚園
園のホームページに日常の保育の様子など写真や動画を載せる際、名前と顔が一致しないように名札を外すなど配慮しています。	幼稚園
教職員への研修(制度やアンガーマネジメント等)。 研修後の自己チェック。	幼稚園
虐待対策コーディネーターによる虐待防止に関する研修を受講し、園に還元している 何が不適切な保育なのか事例なども含めた研修を行い、保育士に具体的に周知していく事が大切である。 チェックシートを活用しているが、定期的な研修を行ったり、チェック体制をつくったり、互いに気づきを伝えあえる園の雰囲気をつくっていくことが課題。	公立認可保育所
職員の専門性を高まるため、必要な知識、技術の習得のための研修等への参加。セルフチェックの実施。保育者同士でのコミュニケーションや保育を見合える関係性づくり。他機関との連携、情報の共有。	公立認可保育所
園内研修、外部研修等を通じての職員の意識向上。 お互いに気づきを伝えあえる関係性をつくる セルフチェックシートの活用	公立認可保育所
子ども主体、子どもの人権を尊重し一人一人が大切にされる存在であることなど、職員の意識を高めるための研修や話し合いの場を持つこと。 園全体で保育しているという意識を持ち一人で抱え込まないようにしていくこと。互いに気づきを伝えあえる関係性づくり。 チェックシートの活用。 虐待対策コーディネーターによる研修の園への還元	公立認可保育所
職員の子どもへの言葉がけ、対応等を中心に、不適切な事が見られた場合、又は職員同士では伝えあえない場合は、そのままにせず、園長副園長から、説明しながら伝える。 職員が不適切保育、人権やプライバシーへの配慮が理解できるよう、職員会議の中で話をし、学習の場を設け、話し合いの場を作る。一人ひとりの意識改革が課題。 家庭内での虐待に対して、園全体で見守れるよう、情報を共有する。虐待対策コーディネーターによる研修を園に還元している。	公立認可保育所
チェックシートの活用 人権に対する学びや第三者による評価で保育を見直す機会をつくること 職員全体への周知 一人ひとりの意識改革は課題	公立認可保育所

■質問9 保育・幼児教育等の質の向上のためには、どのような取り組みが有効と考えますか。

保育・幼児教育の基本原則

保育指針に準じて、民間は創始のマインドを大切にしている。	私立認可保育所
年間計画を立てる際職員会議で話し合う	私立認可保育所
保育の中で大切にしている事は、保育計画の養護面に入れて、毎月の月案会議で確認し、各クラス常勤、非常勤問わず周知する事。計画立案時は子ども達の姿から課題、成果を見つけ出し連動したねらいをたてる。この姿の共有が取り組みをするうえで最も大切になるので、ねらいが達成された場合は子ども達のどんな姿をもって達成とするのか、を立案時に熟考する。	私立認可保育所
定期的な会議をし、日々保育内容について話していく中で全体の意識を統一していく。	私立認可保育所
参加型の事業計画策定 目標管理	私立認可保育所
法人理念やビジョンの明確化は法人全体で周知されている。また、各種会議研修会においても、折に触れて基本方針が示されている。 立川、世田谷、渋谷、日野地区〇施設の各専門委員会(保育栄養保健)が指揮を執り、事業計画の作成から実施に向けられ、各施設においての取り組み、処遇の質の更なる改善向上に向けられている。	私立認可保育所
園(法人)全体を貫く保育理念とチーム(全体)での浸透 特にリーダー層(主任副主任セクションリーダーなど)における認識の共有	私立認可保育所
クラス内の担任同士での話し合いを通し、子どもの姿を認めて捉えられる価値観を共有していく	私立認可保育所
理念に沿った保育	私立認可保育所
保育観の違いもあるので難しいですが、大切にしている保育についてのリーダー層育成に力を注いでいくこと	私立認可保育所
法人内研修等も活用し、保育理念に沿った保育が展開出来るように話し合い等を重ね、繰り返し伝えながら研修も継続していく。保育の質の向上となるような計画と継続。	私立認可保育所
保育理念や、園として向かうべき方向を繰り返し、職員に伝え、理解し共有していくことが大事だと考える	私立認可保育所
当法人の理念が、「個々のキラリをバックアップ」であり、1人1人の子どもの特徴を捉え、その子が生き生きとして活動しているのはどんな時かをよく見ていくことで、保育内容を調整していく。コロナ禍で、様々な機会が無くなっているため、体験や発見などを出来る限り行っていく。	私立認可保育所
法人内で1年に1回7園が集まる全体研修が行われ保育理念、法人理念についての話がされ、再確認することができる	私立認可保育所
子ども一人ひとりを大切に、その子どもに寄り添った対応をする。 子ども一人ひとりの発達に合わせて、無理のないような計画を立てる。	私立認可保育所
乳児会議、幼児会議、職員会議、月案会議	私立認可保育所

なかなか難しいですが、月1回の職員会議でクラスの様子や気になる子どもの様子など報告し合う中で担任間の考えを伝え、他の職員から意見をもらい、園全体の問題として考えたいとがんばっています。計画はクラス打ち合わせて作成する。	私立認可保育所
自園の保育理念について職員会議などを通して職員に伝えると共にどのような意図や気持ちで理念がつけられたのかをしっかりと理解していけるようにしていく	私立認可保育所
定期的な会議をし、日々保育内容について話していく中で全体の意識を統一していく。	私立認可保育所
毎月の会議で保育理念等を全体で確認(唱和)、室内(保育者が目の届くところ)に理念を掲示している。研修への参加(報告会を含む)	私立認可保育所
理念や育ってもらいたい「こども像」を深く理解し、身近にいる保育者が生きた見本となり、思いやりや優しさを持った関わりをもつ。また、個人のそれぞれの成長を尊重し、保育の計画や内容もその子に合ったものにする。	私立認可保育所
年度末に次年度の園目標を考え、保育計画に反映させていく。	私立認可保育所
法人内の統一した精神のもと、各園での取り組みの充実。又、園の理念が保育実践に反映されているかといった視点から、保育の実践の現状や課題を園全体で改めて検討していくことが必要だと感じる。又、一人一人の育ちを尊重し、保育の中での共通理解を図っていくことも同様である。	私立認可保育所
法人保育理念を理解し、それを基盤に保育を展開していくことを大切にしている。年度初めの全体研修において、理事長より法人理念、各園施設長より園目標を伝える機会を設けている。全職員が法人理念、それを達成するための目標を理解し、皆が同じ方向を向いて保育を展開していくことを大切に考えている。「全体的な計画」においては、個々のスマートフォンより閲覧が可能で、内容を共有している。日々の振り返りの中で、個々の子どもの保育内容の検討を行っている。子どもたちの発達段階を理解し共有していくためにも、保育士間での伝え合いを大切にしている。	私立認可保育所
園内研修職員会議各部会での意見交換	私立認可保育所
保育理念や計画は、繰り返し話し合う、確認しあうなどの反復が良いかと思います。	家庭的保育事業
一人一人の発達発育を観ながら、その子なりの特徴を生かせるような保育が出来るように心掛ける方法を話し合う。	家庭的保育事業
保育の中で大切にしていることも日々保育中に話している。個別の保育は気になった時に話し合っている	家庭的保育事業
保育理念は目に付くところに貼っておき、定期的な話し合いのほかにも気づいた時に午睡中等を利用し話し合うようにする。	家庭的保育事業
職員の意見交換	家庭的保育事業
時々、皆で読み上げている。	家庭的保育事業
保育理念に沿った保育を行うことは重要だが、その保育そのものの意味・理由・方法・必要性などをしっかりと職員が理解でき、行動(保育)に生かせるよう職員育成の重要性。	小規模保育事業
定期会議の中で口頭にて伝達する方法の徹底	小規模保育事業
通常の保育計画と年度末に職員の自己評価を行っている。	小規模保育事業

研修 全体的な計画を定期的に確認する場をつくる	小規模保育事業
事業所全体共通の自己評価シートを使用し前期と年度末に記入。評価を振り返って次年度の目標に繋げている。	小規模保育事業
発達段階に配慮し、一人一人の指導計画を作成。それを園全体で把握し、指導に当たっている	認証保育所
法人保育理念を理解し、それを基盤に保育を展開していくことを大切にしている。年度初めの全体研修において、理事長より法人理念、各園施設長より園目標を伝える機会を設けている。全職員が法人理念、それを達成するための目標を理解し、皆が同じ方向を向いて保育を展開していくことを大切に考えている。 「全体的な計画」においては、個々のスマートフォンより閲覧が可能で、内容を共有している。 月1回クラス会議を実施し、その中で個々の子どもの保育内容の検討、振り返りを行っている。子どもたちの発達段階を理解し共有していくためにも、保育士間での伝え合いを大切にしている。	認証保育所
月1回の時間をかけた職員会議	認証保育所
定期的にある会議において保育理念、保育の計画について実践できたか否か等を話し合う	認証保育所
保育理念の共有は年に一度の全スタッフ会議で共有し、年間、月間、週日案に落とし込み、日々の保育の指針にしています。	企業主導型保育事業
法人保育理念を理解し、それを基盤に保育を展開していくことを大切にしている。年度初めの全体研修において、理事長より法人理念、各園施設長より園目標を伝える機会を設けている。全職員が法人理念、それを達成するための目標を理解し、皆が同じ方向を向いて保育を展開していくことを大切に考えている。 「全体的な計画」などの計画は、個々のスマートフォンより閲覧が可能で、内容を共有している。 月1回クラス会議を実施し、その中で個々の子どもの保育内容の検討、振り返りを行っている。子どもたちの発達段階を理解し共有していくためにも、保育士間での伝え合いを大切にしている。	企業主導型保育事業
保育時間外に職員会議の時間を設け、じっくりと話し合える環境が必要だと考える。	企業主導型保育事業
当社は会社なので理念をととても重要視しているので朝礼や取り組みで代表から常に発信があり、計画(は法通り)よりも現場を重視したい	企業主導型保育事業
法人保育理念を理解し、それを基盤に保育を展開していくことを大切にしている。年度初めの全体研修において、理事長より法人理念、各園施設長より園目標を伝える機会を設けている。全職員が法人理念、それを達成するための目標を理解し、皆が同じ方向を向いて保育を展開していくことを大切に考えている。 「全体的な計画」においては、個々のスマートフォンより閲覧が可能で、内容を共有している。 月1回クラス会議を実施し、その中で個々の子どもの保育内容の検討、振り返りを行っている。子どもたちの発達段階を理解し共有していくためにも、保育士間での伝え合いを大切にしている。	企業主導型保育事業
現状の保育の見直しと、より良い保育に近づくにはどうしたらよいのかをPDCAサイクルで考える。	幼稚園
建学の精神に基づき、職員間の意識統一を計る。	幼稚園
同じ学年だけでなく園全体でも保育の進め方、子どもへの関わり方について意見交換を行い、結果についても話し合うことが大切だと考えます。	幼稚園
保育理念の理解をしたうえで、どのように保育をしていくか、具体的な内容について話し合いの機会を設ける。常に念頭において保育するよう各自心がける。	幼稚園
新年度の初めに新人職員を含め、全職員で研修を行っている。学年ごとに計画をたて保育するようにしている	幼稚園

毎月の会議の中で、保育理念や保育目標に向き合う時間をつくるようにしている。 意識的に計画する事。 計画の内容に見合った日誌等の記入は、園長副園長が毎週内容を評価し、良い部分も含めて担任に伝えている。	公立認可保育所
園内研修などによる、職員同士の話し合いや、コミュニケーション等。 自己評価と園全体としての評価。	公立認可保育所
会議等で、保育理念を確認し、具体的な取り込みを語り合う機会を設ける。 日々、職員間で子どものことを語り合える雰囲気づくり。	公立認可保育所
保育理念や保育目標について意見を出し合い保育に生かすことができるようにしていく。年に1度は保育課程を見直し日々の保育とのつながりがあるか見直すようにしていく	公立認可保育所
年度初めに職員全体で、保育理念、園の方針目標、保育の中で大切にしている事について確認し合うことが必要。 自分たちの保育に対する思いを伝え合う。 計画から評価までがつながり、そこからまた計画実行へつながる事を知り、保育につなげることが大切。	公立認可保育所
PDCAによる自己評価や日々職員間で話し合える風土づくり	公立認可保育所

■質問9 保育・幼児教育等の質の向上のためには、どのような取り組みが有効と考えますか。

保育内容

保育士との対話を通じ子ども達の主体性を進めてゆく。	私立認可保育所
毎日の食事の積み重ねが食育であることを意識し、和食を基本として季節の食材や伝統食を取り入れた食育活動を行っている。	私立認可保育所
今日のメニューを子供が紙に書いて発表をする	私立認可保育所
子ども達に本物に触れる体験を中心として活動に取り組み、興味を持ったことを追求できるよう室内環境の構成を行う。 自分たちでそだてた野菜を収穫して給食で提供。行事食 メニューボードを使って今日の給食が何かを知らせ、一日の中でも楽しみにできるようにする。	私立認可保育所
栄養士のもと、食育計画を立てると共に、季節にちなんだ食育活動を定期的に各フロアで取り組んでいく。 子どもたちが遊びを選択できるよう、保育環境を整えていく。	私立認可保育所
保育所保育指針の勉強会 研修	私立認可保育所
発達に応じたモンテッソーリ教育の教材を十分に用意し、子どもたち自身が興味を持ったことに対応できるように環境を整えている。 個別配膳を行い、メニューを伝えながら食べられる量を確認し、言葉でのやり取りを楽しみながら子どもの意思を確認するやりとりを大切にしている。	私立認可保育所
物的環境、人的環境への配慮(特に職員に幅広い視野をもたせることが重要) 「行動する」ことを通して子どもたちに暮らしを伝える	私立認可保育所
子どもの姿や興味、関心を理解し、子ども達の状況に合わせた話し合いを担任間、職場全体で共有していく	私立認可保育所
職員の専門性の向上	私立認可保育所
コロナ禍でも出来ることを模索し、保育環境の見直しをその都度行い、保護者にも興味を持ってもらえるような食育の発信を行っている。	私立認可保育所
大人の一方的な関りではなく、子どもの思いに添いながら、子どもを尊重した関りについてなどを職員同士で話し合う場を設けている。	私立認可保育所
主体的な活動を行うためには、活動の前に子どもたちとミーティングをするなどして決定をする事を取り入れている。また、食育については、調理実習を改め調理体験に変更して、少ない人数で米を研ぐ牛乳を分配する等、実際の調理の一部を体験している。	私立認可保育所
法人独自の知育あそびや専門講師による指導を取り入れ、色々な経験ができる環境づくりを行っている。クッキングを5歳児に取り入れたり、年間を通して食育指導を行っている	私立認可保育所
子どもが安全に、様々なことに取り組めるようにする。 様々な食材を通して、食の専門職である栄養士等から指導をする。	私立認可保育所

モンテッソーリ教育による自己活動を大切にしています。異年齢構成のため子ども同士の学びは大きいような気がします。年上の子どものすることを見て学び、やってみようと思う気持ちを育てています。	私立認可保育所
子どもが自発的に関わられるような環境(職員の配置)などは限られたスペースの中で厳しいところもある。また、最近ではコロナ禍の影響で何でも自由に玩具を使わせてあげられないのが現状。自由に遊べる日が早く来ると良いと思う。	私立認可保育所
栄養士のもと、食育計画を立てると共に、季節にちなんだ食育活動を定期的に各フロアで取り組んでいく。子どもたちが遊びを選択できるよう、保育環境を整えていく。	私立認可保育所
主活動や行事内容についても子ども達と一緒に考えながら保育活動を進めている。 園の裏や近くの畑に行き、野菜の収穫体験を行っている。(年間を通して子ども達、保育者が一体となっている)	私立認可保育所
6,好きな遊びを存分にできるように当園の場合は、公園の遊具以外に虫かごや虫眼鏡、縄跳び、リレーのバトン、砂遊びセットなどは準備して持っていく。7,週に一度その日に提供する野菜を給食室から借りて説明、質問に答える。野菜の知識や栄養素が分かり食べてみようという気持ちが芽生えている。	私立認可保育所
コーナー遊びの充実や、机上遊びなど遊びこめる遊具の手作りを行う。また、法人独自の勉強会を設け、テーマについて発表し合う場を設けている。	私立認可保育所
子どもを中心に自分たちの保育のあり方を考え、異年齢保育やコーナー保育を学び、遊びの選択や継続を考えた物や空間の設定を考えていくこと。又、食育は食を支えるスタッフと保育士が共に考え実践したり、調理の場面を見る機会や食のスタッフとの対話を通して食事を楽しむする気持ちを育てていけるように環境を考えることが必要である。	私立認可保育所
「モンテッソーリ教育」を保育の基盤とし、環境設定を行っている。子どもたちの自発的な姿を引き出せるよう、保育士のモンテッソーリ教育への理解を深めていくことを大切。そのためにも、園内におけるモンテッソーリ研修の学びの機会の確保が有効ととらえている。	私立認可保育所
法人としては食育が柱だったが、このコロナ禍でなかなか思うように取り入れることができないのが現状なので、感染が落ち着いたら今まで通り栽培やクッキングや買い物などを通して子ども達が実際に触れて、作って、食する体験を増やしていく	私立認可保育所
以前のようなカリキュラムによる保育ではなく、子ども一人一人の興味によって個別に対応する保育が良いかと思っています。	家庭的保育事業
月齢に合わせた、遊具などを手づくりしたり工夫したりすることで、五感の発達を促して行っています。庭に野菜を栽培し、水やりや収穫する喜びを味わう取り組みをしております。	家庭的保育事業
子どもが自分からやってみようと思えるような導入を心掛け、子どもが自ら行動するタイミングを待つ。	家庭的保育事業
偏らないよう研修などに参加し新しい知識を取り入れる	家庭的保育事業
遊具は子どもの目線で見えるように配置し、自ら遊びたいおもちゃを選べるようにしている。トウモロコシ狩り、いちご狩りなど取り入れている。	家庭的保育事業
見せる保育、やらせる保育ではなく、子どもの姿を見て、一人ひとりの気持ちに寄り添い安心感を与えられるような環境作りで、子どもが安心して子ども自ら周りへの興味を広げ、活動できるような環境作り・関り・促しが大切だと思います。	小規模保育事業
計画立案にて保育士がひとりひとりの児童に向き合った保育を行う、また食育については、従前実施していたおやつパーティーなどが新型コロナウイルスの関係でできない状況のため、終息後改めて取り組んでいきたい。	小規模保育事業

園畑にて野菜等を育て観察収穫をさせ食育につなげている	小規模保育事業
研修等で学び、職員間で共有し、振り返りをして反省点や課題を出し合い、学びあっていく	小規模保育事業
環境構成をどのようにすると子ども達が主体的に活動できるのか職員と話していけるようにアンケートを取り取り組んでいる所です。コロナ感染症の事もあり昨年度は行うことが出来なかったが、今年度はクッキングを取り入れている。子どもたちが食を通じて楽しく食品に接していけるようにしていきたい。	小規模保育事業
私立幼稚園協会関連による講演会の実施	幼稚園型認定子ども園
各イベント案を通して子どもの意見も取り入れ、一緒に進めている。変化に富んだメニュー、バースデイリクエストメニュー、クッキング等	認証保育所
「モンテッソーリ教育」を保育の基盤とし、環境設定を行っている。子どもたちの自発的な姿を引き出せるよう、保育士のモンテッソーリ教育への理解を深めていくことを大切にしている。そのためにも、園内におけるモンテッソーリ研修の学びの機会の確保が有効ととらえている。	認証保育所
異年齢保育。 給食担当による年間を通した食育計画カリキュラムの策定と実施。 給食担当が園児の給食の様子を巡回して把握し、適切な助言を与える。	認証保育所
子どもが選択できる環境を整えるため定期的に会議等で確認が必要であれば整える。給食はテラスで食べたり雰囲気を変えたりしています	認証保育所
保育者からの一方的な指示ではなく、自分で考え、そのことを表出する場面を保育中に設定しています。また食育は無農薬大豆で保育園のみそづくりなど積極的に行っています。	企業主導型保育事業
「モンテッソーリ教育」を保育の基盤とし、環境設定を行っている。子どもたちの自発的な姿を引き出せるよう、保育士のモンテッソーリ教育への理解を深めていくことを大切にしている。そのためにも、園内におけるモンテッソーリ研修の学びの機会の確保が有効ととらえている。野菜の栽培や収穫体験など、旬の食材を知り食を楽しめるように保育をすすめている。	企業主導型保育事業
保育時間外に職員会議の時間を設け、じっくりと話し合える環境が必要だと考える。	企業主導型保育事業
自発的に取り組める環境づくりと保育士の育成、モンテ、その他食育は毎週実施	企業主導型保育事業
「モンテッソーリ教育」を保育の基盤とし、環境設定を行っている。子どもたちの自発的な姿を引き出せるよう、保育士のモンテッソーリ教育への理解を深めていくことを大切にしている。そのためにも、園内におけるモンテッソーリ研修の学びの機会の確保が有効ととらえている。	企業主導型保育事業
目指す教育として『子どもがこういう姿を見せること』という具体的なビジョンをもち、保育計画を立案し、綿密な打ち合わせのもと保育する。	幼稚園
食材を紹介し、給食カードを利用することで、自己完食努力が見える化する。	幼稚園
現在はコロナ禍で難しいですが、例年自園の畑にて夏、冬の野菜を育て津事で食べてみたいという気持ちを持たせています。育てることの喜びや大変な部分を実感することで食に関心を持たせています。	幼稚園
子ども達を観察し、必要な環境を常に考え、更新していく。食事については、農作物を収穫したり、身近に感じられるように実体験が大切だと考える。郷土料理や世界の料理等食を通して文化を学ぶ機会にもなる。	幼稚園

子どもの自発性や意欲を伸ばせるような環境の工夫は、常に心掛けるよう伝えているが、保育士によってその到達点が異なってしまう事が課題。 遊びのコーナーを設定し、子どもが活動を選べる環境づくりをしている 自主研修を計画し、他園の職員と情報共有、語り合う場をつくり、保育内容の充実を図っている 食育に関しては様々な工夫を常に行っているが、他園のやり方なども、もっと参考に出来るような体制が整うとよい。	公立認可保育所
自ら遊びや活動を始められるような遊具や用具、スペース、素材などを揃えられる物的環境づくり。保育士との信頼関係。基本的な生活習慣の形成や和やかな雰囲気づくり。食に関連する活動など。 自主研修を計画し、他園の職員と情報共有、語り合う場をつくり、保育内容の充実を図っている	公立認可保育所
日々、職員間で子どものことを語り合える雰囲気づくり。 自主研修を計画し、他園の職員と情報共有、語り合う場をつくり、保育内容の充実を図っている 食育については、栄養士、調理員、看護師、用務員等、他職種との連携。	公立認可保育所
子どもたちの発達を見ながら、また季節や年齢での興味関心と照らし合わせて計画を立て室内環境を整えたり、玩具などの提供をしたりしていく。 遊びのコーナーを設定し、子どもが活動を選べる環境づくりをしている 自主研修を計画し、他園の職員と情報共有、語り合う場をつくり、保育内容の充実を図っている 栄養士などとも連携をして食事に興味が持てる取り組みを行う。食べることが楽しいと思えるような雰囲気づくりを心掛ける	公立認可保育所
一人ではできない。園全体で同じ方向を向いて保育することが充実した保育につながっていく。その為にも園内のコミュニケーション、情報発信を活発に行う。 栄養士調理師も保育者と一緒に計画を立て食育に携わる。 自主研修を計画し、他園の職員と情報共有、語り合う場をつくり、保育内容の充実を図っている 遊びのコーナーを設定し、子どもが活動を選べる環境づくりをしている	公立認可保育所
研修に参加する。同じ研修を大勢で受け、その後の語り合い等で学びを深められる環境づくりが課題 他職種と話し合い協力して行う 自主研修を計画し、他園の職員と情報共有、語り合う場をつくり、保育内容の充実を図っている 遊びのコーナーを設定し、子どもが活動を選べる環境づくりをしている	公立認可保育所

■質問9 保育・幼児教育等の質の向上のためには、どのような取り組みが有効と考えますか。

保護者との連携

日常の送迎時の何気ない対話こそ大切。	私立認可保育所
コロナのこともあり、今年度から各クラスの懇談会は中止にせず、オンラインで行ったのは良かった。今日の活動を文面の他に時々、写真にしてより様子をわかりやすくしている。	私立認可保育所
個人面談、クラス懇談会、日々の会話	私立認可保育所
日中の様子は「今日の保育」を写真入りで掲示。 実際の保育現場で日々の様子を体験してもらう 行事や取り組みの様子を行事ボードとして、掲示。InstagramHPの活用 ご意見を頂くシステムがあることを入園しおり、玄関先に掲示してお知らせする。また、懇談会等で常に知らせ、周知する。 常に保護者からのご意見をうかがえるよう、窓口(意見箱等)を設置する	私立認可保育所
個人面談や保護者会を通して、日々の保育の様子や方針を伝えていくとともに理解を図っていく。 意見の対応フローチャートを公開し、意見を言えるよう明確にしていく。	私立認可保育所
保育WEB ドキュメンテーション	私立認可保育所
折に触れて保護者の状況を聞くようにして保護者の置かれている状況を把握している。 支援家庭や異文化を持つ家庭に対し、職員が快く受け入れ、寄り添っていく姿勢は心掛けていく。経験の浅い職員も上位者のサポートを受けつつ、各家庭の状況を把握し、より良い支援と子どもにとって最善のあり方を保護者と共に考えている。	私立認可保育所
画像も用いたドキュメンテーションと送迎におけるやりとり、連絡帳を組み合わせ、子どもの生活が連続性一貫性を保ちながら発達につながるよう、保護者と連携 保護者による「保育者体験」などを活用し乳幼児期の発達や集団の姿への啓蒙を図りつつ家庭における教育と連携し、質の高い保育につなげる	私立認可保育所
写真を使用した記録を作成し、保護者に見せていく(ドキュメンテーション) 子どもの様子を細かく連絡帳や受け渡しの際に伝え、保護者との子どもの様子について共有する信頼関係の構築	私立認可保育所
日頃のコミュニケーションにより安心できる環境を整える。	私立認可保育所
丁寧に対応していく。長時間保育の中で、保育を明確に伝えていく。	私立認可保育所
なるべくきちんと保護者と目を合わせて日々の様子を伝えていき信頼関係を築いていくことが大切だと思います。	私立認可保育所
コロナ禍でのコミュニケーションの取り方を模索している。ICTを活用する時が来たと感じているので、検討中である。	私立認可保育所
保護者会、個人面談を設け、保護者と話しをする機会を設け、登降園の際に声掛けをして日々の子どもの様子を伝えるようにしている。第三者委員会を設置し、保護者に周知している。	私立認可保育所

受け入れやお迎えの時に、保護者に保育園での様子を伝える。 保護者と信頼関係を深め、家での様子について相談等をしてもらえるようにする。 第三者委員会を設置、苦情に対応出来る体制作りを行っている。	私立認可保育所
保育参加、参観、HPブログ、運動会、発表会、 個人面談、第三者評価 乳児「ドキュメンテーション」作成	私立認可保育所
園便りクラスだよりを通して保育の様子を伝えています。お迎え時間に、保育の様子を伝えるときもある。乳児クラスは連絡ノートを利用している。保護者に話さなければならない問題が生じたときは時間を作ってもらって話し合うようにしている。第三者委員さんの紹介も毎月4月の園便りで知らせる。	私立認可保育所
現在は保育園舎内を自由に保護が行き来できる状態ではないため、登降園の際に廊下からのぞいてもらって様子を見たり日々の連絡ノート等を通じてのお知らせとなっているが、それ以外に園だよりやクラスだよりで伝えている。	私立認可保育所
個人面談や保護者会を通して、日々の保育の様子や方針を伝えていくとともに理解を図っていく。 意見の対応フローチャートを公開し、意見を言えるよう明確にしていく。	私立認可保育所
クラスを超えて園全体で保護者の共通認識をはかる。些細なことでも保育者間で報連相を行っている。 年に2回個人面談を実施。面談前や面談後には、職員会議を開き、職員全体が保護者に統一した対応をはかれるようにする。 研修への参加。(報告会を含む保護者対応の担当保育者を決め、定期的に会議を実施)	私立認可保育所
毎日のコミュニケーションを大切にする。主にお迎え時に1日の様子を伝え、頑張った姿や楽しそうに過ごしていたことを伝え共有。また、気になることや保育中の怪我については家庭でも引き続き様子を見てもらうようにしっかりと伝える。その他相談も随時受けられるように信頼関係を築くようにする。第三者委員会の周知(配布や掲示)をする。	私立認可保育所
連絡アプリの利用。個人面談、保育参観の実施。園での様子を写真等で掲示。第三者委員の設置。	私立認可保育所
コロナ禍の現状、保育の様子を継続的に写真や文章で伝えていくことが、保育の理解に繋がると考える。送迎時にはできる限り対話を通して園での様子を伝える努力も必要であるが、勤務のローテーションなど課題もある。又、第三者委員の体制は、新入園説明会、入園式、園だよりで伝達したが発信が弱いと懸念がある。第三者の方の写真掲載も考えている。	私立認可保育所
園と保護者が双方向にやりとりができる連絡帳アプリを導入している。クラスドキュメンテーション等を通して、子どもの姿や保育の内容を伝えていくと同時に、個々の子どもの様子を、連絡帳アプリや降園時に口頭で伝えている。ドキュメンテーションを通して「全体」に発信する内容と、個々の様子を丁寧に伝えていく「個」のバランスを大切にしている。 保護者とのやりとりは、園との信頼関係が基盤になると思うので、日頃からの挨拶や声かけがとても有効ととらえている。	私立認可保育所
いつでも話の場見学できる環境づくり、コロナ禍なのでオンラインシステムなどの導入が不可欠になってくるが、なかなか使いこなせない、必要に応じたシステムツールがない。第三者委員との連携も不可欠だがなかなか連絡が取れない場面もあるので、複数名必要である	私立認可保育所
保護者さんを否定しないことや保育者の考えを押し付けないことが重要かと思います。そのために、普段から余裕のないルールや理想の姿を規定しないことが重要かと思います。	家庭的保育事業
個別及びグループラインにて日々の様子を写真や動画を利用して伝えています お迎え時に言葉かけをし保護者から小さなことでも話してもらえるような関係づくりに取り組んでいます。	家庭的保育事業

8.9は連絡帳や日々の送り迎えの時になるべく話をすることに心がけている。 しかし 祖母の送り迎えで会うことがほとんど無いのと連絡帳も記入無しの保護者にはこちらからの一方通行でコミュニケーションが取れず悩んでいる。	家庭的保育事業
毎日のお迎え時にその日の様子の写真を見せながらどのように過ごしたか、気づいたことや成長を伝える。入室時に第三者委員や苦情対応窓口を記載し書類を渡す。	家庭的保育事業
保護者との信頼関係を作る	家庭的保育事業
連絡ノートを活用して、毎日の保育の様子を伝えている。お迎えの時、コミュニケーションがとれるよう話をしている。又、保護者同士交流が持てるよう、学期末にお茶会を開いている。	家庭的保育事業
今日の子育て世代は、生活や仕事の忙しさで子供との時間(子供に向き合う時間)が充実していないのではないかと感じます。子育ての楽しさを感じられるよう、子どもの成長、喜びと一緒に共有する事の大切さ。 また保護者の気持ちに寄り添える保育力が重要だと考えます。	小規模保育事業
小規模な保育園の為、保護者一人一人と親密な関係構築と相談や助言ができています	小規模保育事業
送迎時の保護者とのコミュニケーションや連絡ノート、保護者ラインなどで密に連絡を取り合う	小規模保育事業
研修等で保護者との連携を学ぶ	小規模保育事業
運営委員会を作りその中で保育園に対してのご意見を聞いている。ご意見を頂いた内容で改善できることは取り組んでいる。施設の場所に関してのことで出来ない事項がある時はご理解いただけるように保護者に対して回答している。今後もこのような形で行うが、運営委員ではない方からの意見も聞けるようにご意見箱を設置していきたい。	小規模保育事業
日々の壁新聞、インスタ、Lineによる情報発信	幼稚園型認定子ども園
連絡ノート、送迎時の会話、個人面談、懇談会、保育参観など。意見を聞いたり、相談したりしている(問題発生時)	認証保育所
園と保護者が双方向にやりとりができる連絡アプリ「コドモン」を導入している。クラスドキュメンテーション等を通して、クラスの保育の内容を伝えていくと同時に、個々の子どもの様子を、コドモン連絡帳や降園時に口頭で伝えている。ドキュメンテーションを通して「全体」に発信する内容と、個々の様子を丁寧に伝えていく「個」のバランスを大切にしている。 保護者とのやりとりは、園との信頼関係が基盤になると思うので、日頃からの声かけがとても有効ととらえている。子どもたち、保護者へ日頃から登降園時の声かけを大切にしている。	認証保育所
保護者の保育への理解	認証保育所
連絡帳をは別に日々のクラスの活動の様子をホワイトボードに書きこんでお迎えの際にみてもらう。 保護者との個人面談。 親子遠足。	認証保育所
今まで紙ベースの連絡帳からICT化連絡帳アプリに切り替えてからリアルタイムに子どもの情報(体調不良等)を伝えている。アプリメール等やりとりで保護者の質問や疑問等に早く対応している	認証保育所
園の様子を写真やブログで共有、また送迎時にコミュニケーションをとっています。	企業主導型保育事業

園と保護者が双方向にやりとりができる連絡帳アプリ「コドモン」を導入している。保育ドキュメンテーション等を通して、クラスの保育の内容を伝えていくと同時に、個々の子どもの様子を、コドモン連絡帳や降園時に口頭で伝えている。ドキュメンテーションを通して「全体」に発信する内容と、個々の様子を丁寧に伝えていく「個」のバランスを大切にしている。 保護者とのやりとりは、園との信頼関係が基盤になると思うので、日頃からの声かけがとても有効ととらえている。子どもたち、保護者へ日頃から登降園時の声かけを大切にしている。	企業主導型保育事業
保育時間外に職員会議の時間を設け、じっくりと話し合える環境が必要だと考える。	企業主導型保育事業
コロナ前は月1で保護者会で園長も参加し、よりよい園づくりと改革に力を入れていた。第3者委員会は補助の募集がてら開催予定	企業主導型保育事業
園と保護者が双方向にやりとりができる連絡アプリ「コドモン」を導入している。クラスドキュメンテーション等を通して、クラスの保育の内容を伝えていくと同時に、個々の子どもの様子を、コドモン連絡帳や降園時に口頭で伝えている。ドキュメンテーションを通して「全体」に発信する内容と、個々の様子を丁寧に伝えていく「個」のバランスを大切にしている。 保護者とのやりとりは、園との信頼関係が基盤になると思うので、日頃からの声かけがとても有効ととらえている。子どもたち、保護者へ日頃から登降園時の声かけを大切にしている。	企業主導型保育事業
ホームページ、一斉送信メールサービス等の活用。 父母の会等との連携。	幼稚園
個人面談や日々送迎の際に、保護者に子どもの園の様子を伝える努力をしている。	幼稚園
園のホームページに日常の保育の様子や行事など写真とともに紹介。 日々の子どもの様子を口頭の他に連絡帳に質問など(何でも可)記入してもらって、時には相談を受けたり報告したりと役立てている	幼稚園
ICTを活用し、日々の保育、子ども達の育ち、先生の考えを見えるようにする。家庭内での会話にも役立てるように時間をあけずに伝えられると良い。保護者からの相談、苦情についても迅速に対応出来るよう、受けた職員が誰に相談したらよいかを明確にしておく。	幼稚園
保護者の方に子どもの日々成長を話、子育ての悩みを聞き共有していくことにより、保護者とのコミュニケーションをとるようにする(保育者は子どもの様子をよく観察することが大切)	幼稚園
ICTを導入していないためスピード感が無い事が課題。 今出来る限りの方法で、コミュニケーションをとる事は大切にしている。 感染症対策をとって保護者懇談会、個人面談の実施。園での子どもの様子を伝えるお便りや家庭でもできる遊び等の冊子の配布。 絵本コーナー等で親子で過ごせる時間の設定	公立認可保育所
保育者の子ども、保護者の理解。保護者のありのままを受けとめ相互理解すること。日頃からの関係づくり。日々の保育の情報の開示や説明。写真などを用いた視覚的情報の提示。 園だより、クラスだよりの充実 ICTが導入されていないことは課題	公立認可保育所
懇談会、個人面談、保育参加(参観)の実施。 保護者との、日々の何気ないコミュニケーションを大切にする。 園だより、クラスだよりの充実 ICTが導入されていないことは課題	公立認可保育所

送迎時に顔を合わせたときには子どもの様子など伝えるようにしていく。連絡帳連絡板で日々の様子を伝える。保護者からの質問にはなるべく早く答えられるようにし時間がかかりそうときはその旨を伝える。保育の様子を写真や映像を入れ懇談会や掲示などで伝える。第三者委員は設置しており保護者へも伝えている。ICTが導入されていないことは課題	公立認可保育所
送迎時、懇談会、行事等、保護者と会える時には信頼関係を構築できるような会話や対応を心掛けている。保護者に寄り添うこと、許容する事も知りつつ、丁寧な保育を行う。保護者への発信方法を保護者に合わせる必要がある時期なのではないか?→ICTが導入されていないことは課題である クラス担任や当事者だけで対応するのではなく、対応しきれない時や迷った時には周りの人に伝えられる環境や人間関係の構築。	公立認可保育所
保護者とは基本直接コミュニケーションを取ることが大切と考えるが、今の世代の人はネットなどの方が利用しやすいので、お便りなど気軽にHPで見られるなどICT化が必要	公立認可保育所

■質問9 保育・幼児教育等の質の向上のためには、どのような取り組みが有効と考えますか。

配慮の必要な子どもに関する取り組み

特別扱いしないが、配慮をより多くする事を心がけて保育にあたっている。	私立認可保育所
配慮が必要なお子様が多くいる中、本来加配を必要として申請しているお子様に職員の手がなかなか届いていない状況がよく見られている。保護者の方の申請だけでなく、巡回相談にかかっているお子様で市が認めればその対象としていただけると良い。個々の対応が必要なお子様が多く現場がひっ迫している為対象の人数は1対1にしてもらえると良い。	私立認可保育所
気になるお子さんの個別の計画は立て行っている。	私立認可保育所
発達プログラムと照らし合わせながら育ちの段階を知り、必要な働き掛けを考える。 療育機関に通っている場合は、保護者同意の上、見学させてもらうなど連携し、同じ働きかけができるようにする。 医師の診断書に基づき、アレルギー除去食をマニュアルを作成し提供する。 月に1度除去食会議を行う。 日々の対応者場所や食器など特定し、誤食のないシステムの中で対応する	私立認可保育所
園内研修などで対応を共有し、だれでも対応できるような体制を作っていく。 巡回相談などを引き続き取り入れ、課題のある子への保育を全体で考えていく	私立認可保育所
保育コーディネーター ケース会 保育所におけるアレルギー対応ガイドラインの周知	私立認可保育所
要支援児と家庭へ柔軟な対応力と知識の充実、迅速な情報共有のあり方をさらに考えていく。 職員間で個々の支援方法などを共有する時間の確保。勤務形態が様々な契約職員と連携強化するために、伝達と情報共有できる仕組みを考える。 保育目標や保育経過記録に関連した保育内容を計画し、月週日案に落とし込み、PDCAサイクルをまわす。 アレルギー児もなるべく他児と同じメニューが食べられるように、牛乳を豆乳で代用するなどできる限りの配慮がなされており、楽しく食事できる環境づくりを行っている。	私立認可保育所
毎月の職員会議はじめ保育給食保健等における状況報告と対応を通し、職員間の情報認識の共有を図る 加配や配慮を必要とする児童その他「気になる子」を対象とする情報認識共有、チームとしての発達支援	私立認可保育所
アレルギーの対応については、誤配等の事故を防止するために手順の見直しを定期的を実施する。また確認した内容は、職場全体で必ず確認するようにしていく 障がいを持つ保護者と年間を通してのねらいを確認し、集団生活のなかでそのような力を育んでいきたいか密に連携を取っていく	私立認可保育所
ゆとりを持った人員配置、専門職としての質の向上	私立認可保育所
入園前の書類について、身体面でのサポートや配慮が必要な保護者や園児の情報を詳しく記入してほしい。巡回相談でサポートが必要とアドバイス受ける園児の加配ができるようになるとよい	私立認可保育所
巡回相談ではアドバイスをいただいているが、なかなかその先が進んでいかない。入所前にもう少し詳しい情報が得られるといいと感じることもある。	私立認可保育所

1人1人の違いや個性を尊重した関り、障害等のマイナス面だけを見るのではなく正しい援助ができるようにすることが大切だと思います。	私立認可保育所
配慮の必要な特別な子と考えずに、どの子も個別に配慮する事があると考えている。例えば、椅子に座るのが苦手な子が座らない場合、そのほかの子たちも我慢をしているのではないかと考える。一定の時間の我慢も必要だとは思いますが、我慢をせずに済むことではないのか考えることによって、すべての子に配慮が出来るのではないかと考える。また、保護者に関しても心配なご家庭については積極的に対応するようにしている。アレルギーは、給食のメニューをアレルギー有りか無しの2種類にしたことで、提供の間違いも少なくなり安心して給食している。アレルギーメニューも美味しく作ることで、保護者の方からも特にご意見は無いようだ。	私立認可保育所
個人月案を作成し、目標を立て、保育を行っている。個別に個々に合わせた保育内容を考え、対応している。アレルギー食を提供している。おぼんの色を変えたり、アレルギーがわかるようプレートに表示したり、個別の献立表を作成し、保護者に確認してもらっている。朝のミーティングでアレルギー食があるか無いか内容を伝え、配食の際、栄養士と担任で確認をする	私立認可保育所
発達の気になる子ども一人ひとりの状況に合わせた対応をする。 保護者との関わりを密にし、信頼関係を深める。 個別支援。個別対応。 アレルギー児はテーブルなどを別にする。除去食の対応をする。 保育士と看護師栄養士と連携して対応する。	私立認可保育所
ケース会議、リソースルームの活用、個別支援計画作成 市との連携、延長、土曜保育実施 除去食対応	私立認可保育所
縦割りクラス編成のため、子ども自身が友達の動きを見て真似して学んでいる。また友達にハンディがあっても子どもは素直のため、できないことは自分にもあると思い、何回もやればできるようになると励ましている姿も見られる。保護者の方もそのまの我が子の姿を受け入れており、他の子どもにも自然な姿で接している。アレルギー児も同様で違ったメニューでも当たり前で接している。	私立認可保育所
配慮の必要な子に対しては職員会議などで共通理解をするために話し合いをするとともに対応の仕方についても担当の職員から説明があり、職員が一丸となって取り組んでいる。	私立認可保育所
園内研修などで対応を共有し、だれでも対応できるような体制を作っていく。 巡回相談などを引き続き取り入れ、課題のある子への保育を全体で考えていく。	私立認可保育所
職員間での共通認識。報連相を大切にしている。 研修への参加(報告会を含む)	私立認可保育所
クラスの壁を無くす等、発達に合った活動、個々が有意義な時間を過ごせるよう職員の意識を高める。その他、保護者に対しても状況に合わせた柔軟な対応で支援する。13については、保護者に理解を得ながら栄養士、職員(主に担任)の連携のもと食事を提供するまでの体制をつくりをしっかりと行う。また、通報するケース(事例)などを知っておく。	私立認可保育所
アレルギー児については、看護師、栄養士と連携し年に1度の面談を実施。気になる子への対応は、保護者と信頼関係の下、園医を交え連携機関への紹介を実施	私立認可保育所
巡回相談や育児相談など、園児の保育観察から助言や指導を受けていく中で、園内研修やケース会議を通して、その子どもの育ちを確認し合い園全体で共通理解を図り関わりを考えていくことが必要である。又、保護者の背景への配慮ができるように、ブロック会議での情報等を有効に考え、保育園でできることを模索していくことが必要である。又、アレルギー対応委員での共通認識や共通理解の中、チェック体制を適宜、見直し確認し合っていく必要もある。	私立認可保育所

■保育・幼児教育等の質の向上の取り組み(配慮の必要な子どもに関する取り組み)

保育士が専門性を身につけ、磨いていくためにも、当項目の外部研修への参加が非常に有効ととらえている。キャリアアップ研修はじめ、積極的に外部研修へ参加し、その内容を通して、全職員で共有している。発達支援児に対しては、月2回の打ち合わせで全職員に共有し、把握するようにしている。発達支援児個人日誌を記録。アレルギー児に対しても同様。	私立認可保育所
配慮が必要なのは子どもだけではなく、その配慮ができる職員の育成だったり、研修受講が不可欠また関係各所との連携も必要である	私立認可保育所
余り対応することがないのですが、多くの保育者や医師、発達の専門家や保育経営のコストなど、さまざまな意見をいつでも自由に何度でも聞ける状況が必要だと思います。	家庭的保育事業
連携保育園の園長先生や看護師栄養管理士さんに協力していただきながら関係機関も繋げていく取り組みをしています。 個々の子どもの状態を細かく把握し保護者に状況をわかりやすく伝え、サポート体制を整える様にしています。アレルギー食物の除去及び代替え食品を提供し、他児との食物の間違いが無いよう、テーブルを離すなどの配慮をしています。	家庭的保育事業
11、12については相談できる所に連絡し意見をお聞きして取れ入れ保育をしている。	家庭的保育事業
細かく観察するとともに保護者がどのように感じているか、どのように対応をしているかを常日頃から話し合える環境を作る。	家庭的保育事業
研修などに参加し新しい知識を取り入れる	家庭的保育事業
個人記録をかいている。研修や、連携保育園の園長先生に相談したり、発達支援本を参考にしている。食事アレルギーには特に、別メニュー、食器、トレイなど別にしている。	家庭的保育事業
地域との連携も持ちつつ、保護者との信頼関係の構築、保護者へ不安を持たせないような話し合い、子どもの状態の把握・理解をしっかりと行わなくてはならないと考えます。	小規模保育事業
小規模な保育園の為、保護者一人一人と親密な関係構築と相談や助言ができて、アレルギーに対する配慮に関しては、個々に保護者との話し合いで除去している。	小規模保育事業
会議にて気になる園児について話し合い、専門の指導が必要と思われた場合は保護者と相談、専門部所ご家庭、保育園共通した指導保育方法で連携を取り合いながら行っている。	小規模保育事業
配慮の必要なお子さんがいた場合は行政や自社の看護師会に相談したり接し方を学ぶ	小規模保育事業
アレルギーに関しては、卵を使用していないメニューにしている。たまごアレルギーに関しては受け入れを行っています。調理室のスペースがアレルギー児と別にすることが難しい。たまご以外の食品での対応は現状難しい。	小規模保育事業
未来センターとの連携、親との面談	幼稚園型認定子ども園
支援センター、児童相談所等との連携 個別的な対応	認証保育所

■保育・幼児教育等の質の向上の取り組み(配慮が必要な子どもに関する取り組み)

保育士が専門性を身につけ、磨いていくためにも、当項目の外部研修への参加が非常に有効ととらえている。キャリアアップ研修はじめ、積極的に外部研修へ参加し、その内容をWorkplaceを通して、全職員で共有している。配慮が必要な子に対しては、月1回の全体会議で全職員に共有し、把握するようにしている。アレルギー児に対しても同様。	認証保育所
加配を実施するための補助金確保	認証保育所
対応が難しい子どもがいた場合、朝礼及び会議等でどう対応したらよいか職員全体で考え試行錯誤しながらも良い方向へと保育実践している。アレルギーチェックを3回、専用の食器、テーブルを使用	認証保育所
児童発達推進事業所を運営していることを強みに様々な勉強会を行っています。アレルギー児は個別のテーブルで食事をとる、食具を変えるなどの配慮をしております。	企業主導型保育事業
保育士が専門性を身につけ、磨いていくためにも、当項目の外部研修への参加が非常に有効ととらえている。キャリアアップ研修はじめ、積極的に外部研修へ参加し、その内容をWorkplaceを通して、全職員で共有している。配慮が必要な子に対しては、全体会議で全職員に共有し、把握するようにしている。アレルギー児に対しても同様。	企業主導型保育事業
研修	企業主導型保育事業
特別な知識が必要で保育者では対応が難しいと思いますのでその場合、プロの支援がつけられる仕組みが欲しい	企業主導型保育事業
保育士が専門性を身につけ、磨いていくためにも、当項目の外部研修への参加が非常に有効ととらえている。キャリアアップ研修はじめ、積極的に外部研修へ参加し、その内容をWorkplaceを通して、全職員で共有している。配慮が必要な子に対しては、月1回の全体会議で全職員に共有し、把握するようにしている。アレルギー児に対しても同様。	企業主導型保育事業
職員全体の専門的な知識の向上。 専門機関と保護者と幼稚園で連携し、関わり方や対応について共通理解する。	幼稚園
職員間で、常に子ども一人一人の現状把握を共通理解し、適切な指導を実施する。	幼稚園
外部講師による研修を職員に案内し、研修に参加しやすい体制を整える。研修内容は、職員全員に伝わるようにICTを活用し報告する。個別の対応については、専門機関との連携が必要、園での様子を見てもらい適切なかわり方を保護者をふまえて話し合うことも大切。アレルギー児に関しては、教職員全員、委託の調理の職員全員、食事の提供の仕方のマニュアルを共有する。	幼稚園
発達に問題がある子やアレルギーのある子に対しては全職員の把握している。	幼稚園
研修体制は整っているので、障がい児に対する知識をもとに、手厚い配慮は行えている。 障がい児や気になる子に対する担当者の自己流の保育になりがちなのが課題だが、巡回相談などで客観的にアドバイスがいただける事はありがたい。 障害児や発達の気になる子どもに関する各種研修を開催し、市内の保育施設との情報共有や学びを深める機会をつくっている アレルギー児への対応はマニュアルを作成し、園全体で情報共有、対応方法の周知をして臨んでいる	公立認可保育所
専門知識、ガイドライン等の習得。職員全体への情報の共有と対応の共通理解。保護者との相互理解。配慮とマニュアルの構築と実行。園医や関係機関との連携。 障害児や発達の気になる子どもに関する各種研修を開催し、市内の保育施設との情報共有や学びを深める機会をつくっている アレルギー児への対応はマニュアルを作成し、園全体で情報共有、対応方法の周知をして臨んでいる	公立認可保育所

障がい発達が気になる子に対しては、園内研修を通しての職員のスキルの向上。 他機関との連携。 アレルギー児に対しては、マニュアルを作成し看護師、栄養士、調理員等、他職種と連携して配慮、対応する。 障害児や発達の気になる子どもに関する各種研修を開催し、市内の保育施設との情報共有や学びを深める機会をつくっている	公立認可保育所
その子に合わせた活動目標を設定し、状況を見極めながら活動内容を決めている。先の姿をイメージしながら今何をすべきか考えて保育を行う。子どもの気になる様子などは伝えるタイミングや保護者との信頼関係などを考慮している。 障害児や発達の気になる子どもに関する各種研修を開催し、市内の保育施設との情報共有や学びを深める機会をつくっている アレルギー児への対応はマニュアルを作成し、園全体で情報共有、対応方法の周知をして臨んでいる	公立認可保育所
園全体で情報を共有。同じ接し方が出来、混乱しないよう。 職員それぞれが学習し、対応できる。 障害児や発達の気になる子どもに関する各種研修を開催し、市内の保育施設との情報共有や学びを深める機会をつくっている アレルギー児への対応はマニュアルを作成し、園全体で情報共有、対応方法の周知をして臨んでいる	公立認可保育所
保育士のスキルアップ、園全体で統一した対応が出来る体制づくりが必要 障害児や発達の気になる子どもに関する各種研修を開催し、市内の保育施設との情報共有や学びを深める機会をつくっている アレルギー児への対応はマニュアルを作成し、園全体で情報共有、対応方法の周知をして臨んでいる	公立認可保育所

■質問9 保育・幼児教育等の質の向上のためには、どのような取り組みが有効と考えますか。

従事者について

保育以外の部分(事務的な事)はなるべく省力化している。今まで以上の感染症対策がすべてにわたり重荷になっている。過員保育士の配置が必要だ、法人単体で工面している状況。	私立認可保育所
限られた人数の中で現在も行っているが、やはり職員数に余裕がないと難しく感じる。リフレッシュの休暇を取る際も補助に入れないと保育がままならなくなり休みにくい状況が生まれてしまう。職員の育成も丁寧に行っていくためにも余裕が必要。ICT導入も業務の効率化が見込める為職員数に合わせてPCやタブレットを普及していただきたい。働きやすい職場は職員が定着すると考える。	私立認可保育所
ICTが入り若い職員はスムーズに記録等の業務はこなしている。	私立認可保育所
健康管理組合加入健康管理システムMETEII導入PCRモニタリング検査週1で実施 有給取得奨励 マスク配布 法人の研修計画に基づき実施 年間研修計画作成し実施。園内研修、勉強会を計画し、看護師、主任が中心となって進めている その他外部研修へのリモートでの参加。 自主研修への参加については自己啓発として、考課に反映	私立認可保育所
ほとんどの書類をPCで対応できるようにしているため、そこからさらに効率化できるように考え、導入していく。	私立認可保育所
プロジェクトチームによる年度計画 事業本部全体での取り組み	私立認可保育所
年間を通しての業務省力化を見直すと共にICTの導入を進めた(公休120日、有休消化、休憩、残業少) 常勤職員と共に契約職員が担当を担う際の契約職員の業務分担の明確化を進め必要がある。 園内研修を通し他エリアの状況を把握し、エリアを超えた連携が図れるようにする。また、園内で日常的に学び合える仕組みを構築していく。 研修に行く機会はあるが、会議等では伝えきれない部分があり、全体で学びを深める場を設ける。 人事考課チャレンジシート執務態度の評価から、より効果的に育成に繋がる育成制度の在り方を探る	私立認可保育所
ISOの運用、毎月の各委員会職員会議、研修訓練等を通して、園全体の課題共有化、業務の標準化に努めている リーダー層を中心に、活動を通じ事業の方向性に対する認識の一致と共通化標準化の意義に対する理解が進んだ	私立認可保育所
休暇を取得する事を良しとする雰囲気を持つ職場づくり 職員が研修を受けやすい人員の確保、及び体制作り	私立認可保育所
安定して人材と定着。環境の整備	私立認可保育所
職員の定着が大事だが、人員配置が厳しく新人も1名とした配置なので指導していく余裕がない	私立認可保育所
人員配置がゆとりをもって出来る環境を整えたい。仕事量が多いと感じ、負担に思う職員が増えている。人が雇用でき、職員が定着出来るようになるとよい。	私立認可保育所

人材育成も含め、職員が働きやすい環境を整えていくこと	私立認可保育所
休憩を取りやすくするようパート職員の配置を工夫している。また、職員室に園内コンビニのようなものを準備して、休憩の際利用できるようにしている。職員の育成や研修については、現在検討中である。	私立認可保育所
休暇については事前に申請してもらい、なるべく休暇が取れるようにしている。コドモンを導入し、業務の効率化を図っている。フリーの時間をとれるよう人員配置をしている。法人内で新人向けの研修や中堅保育士に向けた研修を企画し定期的に行っている。	私立認可保育所
職員の健康管理に努め、健康な状態で勤務をしてもらうようにする。 平成18年度より、ICT化に取り組み、すべての書類は共有サーバーで管理している。 内部外部研修に取り組むことにより、職員のスキルアップを図る。	私立認可保育所
年間有給取得日数の一定確保、年間総労働時間数削減 ICTを活用するための時間の確保(人員) 園外研修への積極的な参加、新人育成計画	私立認可保育所
コロナ禍のため、職員が感染者にならないように、体調に変化があった場合は早めにお休みをしてもらうようにしている。休憩時間をみんなでやりくりしてできるだけ1時間とれるようにしている。休暇は職員全体のバランスを考えながらとっているように感じています。ICT化の導入については良く解る職員が指導をして、徐々に効率よくできるようにしている。研修については園内研修の充実を図る。(職員の研修委員が今の現状を踏まえテーマを決めています)	私立認可保育所
職員の健康管理については予防接種などは積極的に取り入れているが、リフレッシュ休暇などについては保育士数の不足からなかなか思うようにとることはできない状況です。また、業務の効率化は節目節目を見直し改善していくようになっている。	私立認可保育所
ほとんどの書類をPCで対応できるようにしているため、そこからさらに効率化できるように考え、導入していく。	私立認可保育所
多様な研修への参加(報告会を含む) 園外だけでなく、園内研修を実施(職員が企画運営)	私立認可保育所
社会的倫理や組織の規範の基で、それぞれの職員が自分らしく、得意分野や興味関心に取り組み、自分らしい保育ができるように支援する。また、プライベートについても充実して過ごせるように働き方や休暇の取り方についても共通理解のもと有給取得しやすい環境とする。15については、未導入の場合は、早急に導入し業務の効率化を図る。16研修計画に基づいてキャリアアップできる仕組みを作る。	私立認可保育所
職員にはリフレッシュ休暇などの特別休暇を3日付与。ICT化を実施し、書類等の業務の軽減。法人による勉強会などの研修を実施。	私立認可保育所
年間通して、計画的な有休取得が有効だと考える。又、休憩などの時間の確保ができるように、余裕を持った職員配置も必要である。 現在、保育分野のソフト導入を考えて検討中である。個別の研修以外に、施設単位で申し込みができる収録動画の配信は有効だと思う。同じ、学びをする中で、園内で共通理解が持てることはとても良い取り組みになるのではないだろうか。	私立認可保育所
人材育成に関しては、法人全体で取り組み、気持ちよく前向きに働ける職場の風土が、人材育成の基盤ととらえている。各園で年2回個人面談を実施し、個々に感じる課題や不安に耳を傾けるようにしている。日頃からの対話の積み重ねが何より有効ととらえ、風通しの良い職場を目指し、日頃からの声かけを大切にしている。 園と保護者双方の連絡アプリ、園マネジメントクラウドを導入。連絡アプリで保育の帳票入力全般を行っている。 職員が専門性を身につけ、磨き、現場での保育に生かしていけるよう、研修機会(外部園内)を大切にしている。	私立認可保育所

ICTに強い職員が少ない為、出来る物に集中してしまう傾向があるのを回避したい。そのための機材と研修が必要 コロナ禍のためリフレッシュの取り方も難しく、心の問題面の解決が難しい カウンセリングできる環境づくりが欲しい	私立認可保育所
この件については一番にコストが問題になるので、保育単価を上げることが一番重要かと思います。	家庭的保育事業
健康診断休暇リフレッシュ(互助会などの旅行に参加)などをおこなっています。 保育ITCを活用している(日誌個人記録睡眠チェック健康の記録など) 都主催の研修や民間の研修に参加し他の職員に情報提供し共有しています	家庭的保育事業
16については色々な研修情報を流して興味のある研修に行ってもらう。また子育て支援員の研修は必須でお願いしている。	家庭的保育事業
研修会の紹介をし参加を集う他、室内で気づいたことを互いに意見交換をする。	家庭的保育事業
ICT化したもののうまく活用できず、もう少しどうにかしたいところです。	家庭的保育事業
体調が悪いときは休むよう伝えたり、休んでも変わりの保育士がいるようにしている。ICT導入して業務の効率化をめざしたい。昨年はオンライン研修で、各自の家で同じ研修に参加することができた。	家庭的保育事業
有給管理、福利厚生充実、休暇・休憩の取りやすさ等、少しずつ整理・充実させていけるよう検討中。	家庭的保育事業
有給休暇の取得の推奨など、全体シフトの中で、書く従業員の健康管理やリフレッシュ対応に留意している	小規模保育事業
職員の事務作業の効率化を考えICT導入を検討したが、小規模においては不要なアプリも多く導入に至らなかった。	小規模保育事業
計画的に休暇希望を聞いたり、年度毎に何を学ぶか話し合いを持つ	小規模保育事業
保育士の人材確保が難しいです。給与面でも小規模の場合は社会福祉法人の大きな園より賞与が少ないようです。人の確保が出来ない為、有給などの休みがなかなか取れない事があります。改善したい。ICTの導入をしている。コードモンを使い入力しているが、パソコンの苦手な人もいるため、手書きよりも時間がかかっている。研修計画を立てて行っている常勤職員パート職員も研修参加できるように来年度計画を立てる。	小規模保育事業
ICT導入をしてはいるものの、使いこなせてない!業務効率化の講師を通し毎週効率化を図っている。	幼稚園型認定子ども園
有休をとりやすくしている。日々に業務をパソコン使用。できる限り専門分野の研修に参加している。内部研修	認証保育所
人材育成に関しては、法人全体で取り組み、気持ちよく前向きに働ける職場の風土が、人材育成の基盤ととらえている。各園で年2回個人面談を実施し、個々に感じる課題や不安に耳を傾けるようにしている。日頃からの対話の積み重ねが何より有効ととらえ、風通しの良い職場を目指し、日頃からの声かけを大切にしている。 園と保護者双方の連絡アプリ「コードモン」、園マネジメントクラウド「カタグルマ」を導入。コードモンで保育の帳票入力全般を行っている。 職員が専門性を身につけ、磨き、現場での保育に生かしていけるよう、研修機会(外部園内)を大切にしている。	認証保育所
ゆとりを持った配置と保育以外のことを行う時間の確保 ゆとりある人材を配置できる補助金制度	認証保育所

有休休暇、夏休み等なるべく希望をかなえられるようにしている。ICT化を実践している。多くの研修に参加したいが複数名重なると職員配置人数に支障がでるため悩みの種である。	認証保育所
保育の研修はオンラインで受けられますが、人数の限りがあり、園内での共有が課題となっています。またICTは活かしきれていないのが現状です。育成も課題があります。	企業主導型保育事業
人材育成に関しては、法人全体で取り組み、気持ちよく前向きに働ける職場の風土が、人材育成の基盤ととらえている。各園で年2回個人面談を実施し、個々に感じる課題や不安に耳を傾けるようにしている。日頃からの対話の積み重ねが何より有効ととらえ、風通しの良い職場を目指し、日頃からの声かけを大切にしている。園と保護者双方の連絡帳アプリ「コドモン」、園マネジメントクラウド「カタグルマ」を導入。コドモンで保育の帳票入力全般を行っている。職員が専門性を身につけ、磨き、現場での保育に生かしていけるよう、研修機会(外部園内)を大切にしている。	企業主導型保育事業
子どもの預かり人数に対して、保育士の人数は満たしているが、研修や話し合いをするための時間の確保となるのかなり厳しい。少人数のためICTの導入は考えていないが、たとえ導入しても、問題解決につながるような時間の確保はできないと考える。	企業主導型保育事業
国レベルで保育士の質の向上に向けてセミナーの経費や人手が十分になるような助成があるとありがたい。まず国の思考が昔のただ預かるだけの体制が残るだけ質の向上で何もわっていない気がする。	企業主導型保育事業
人材育成に関しては、法人全体で取り組み、気持ちよく前向きに働ける職場の風土が、人材育成の基盤ととらえている。各園で年2回個人面談を実施し、個々に感じる課題や不安に耳を傾けるようにしている。日頃からの対話の積み重ねが何より有効ととらえ、風通しの良い職場を目指し、日頃からの声かけを大切にしている。園と保護者双方の連絡アプリ「コドモン」、園マネジメントクラウド「カタグルマ」を導入。コドモンで保育の帳票入力全般を行っている。職員が専門性を身につけ、磨き、現場での保育に生かしていけるよう、研修機会(外部園内)を大切にしている。	企業主導型保育事業
職務分掌を明確にする。 無理のないシフト、人員配置をする。 人員配置のローテーション。	幼稚園
ICTの導入により、業務の効率化を計るため現在検討中。職員の研修参加により、自己のスキルアップを図る。	幼稚園
仕事内容の見直しや担任教諭の保育後の仕事を軽減させるために補助教諭の協力体制をきちんと整備する	幼稚園
職員の個人面談、ストレスチェックを実施。ICTでできることは活用し業務の軽減。夏期休暇、冬期休暇時期にリフレッシュ休暇をとれるようにする。オンライン研修の活用。	幼稚園
業務に関しては、事務能力や時間の使い方の差、担当するクラスなどにより残業する人とそうでない人との差がある。ICT化により、事務時間の確保や研修時間の充実をさせていくことが課題。 人事評価基準の設定、職員の役割分担(正規職員と月給制、時給正職員)の明示により、業務に臨む意識の向上を図る 課題に応じた園内研修の実施、外部研修への参加	公立認可保育所
職員の身体チェック、定期検診、ストレスチェックなどを実施している。効率的な休暇の取り方など、職員同士のコミュニケーション。 早期ICT可の導入とネット環境の充実が課題。 人事評価基準の設定、職員の役割分担(正規職員と月給制、時給正職員)の明示により、業務に臨む意識の向上を図る 課題に応じた園内研修の実施、外部研修への参加	公立認可保育所

業務の効率化として、早急なICT化の導入が課題。 (コロナ対応において、保護者への一斉連絡には必須) 人事評価基準の設定、職員の役割分担(正規職員と月給制、時給正職員)の明示により、業務に臨む意識の向上を図る 課題に応じた園内研修の実施、外部研修への参加	公立認可保育所
健康診断を年1回は受けている。休暇も最低年5日は取得できている。休憩については時期や担当個所により十分とれている人ととれていない人がいる。積極的にとる努力をしない人もいる。 ICT導入がなされておらず業務において効率化がはかれていない部分もある 外部研修はできる限り派遣している、また園内研修を積極的に実施している 人事評価基準の設定、職員の役割分担(正規職員と月給制、時給正職員)の明示により、業務に臨む意識の向上を図る	公立認可保育所
職員が健康を維持しながら働けるよう計画的に休暇が取れるような環境、声掛け。オーバーワークにならないような配慮。 職員の研修、育成方策については積極的に参加するよう声掛け、準備。参加機会が少ない職員に対しては保育園内で自主的な研修を行っていく。 人事評価基準の設定、職員の役割分担(正規職員と月給制、時給正職員)の明示により、業務に臨む意識の向上を図る ICT導入による業務の効率化は待ち望むところだが、使いこなせるようになるまでに時間がかかる職員への配慮は必要にはなる。	公立認可保育所
ICT導入が課題。それにより業務の効率化をはかり、研修等の時間を作ることが出来る 人事評価基準の設定、職員の役割分担(正規職員と月給制、時給正職員)の明示により、業務に臨む意識の向上を図る 課題に応じた園内研修の実施、外部研修への参加	公立認可保育所

■質問9 保育・幼児教育等の質の向上のためには、どのような取り組みが有効と考えますか。

健康安全

人の配置が必要、最低年3300時間の開所を支え安全で清潔な環境を維持し向上させたい。人材配置が大切	私立認可保育所
現在の新型コロナウイルス感染症についても、感染予防の呼びかけも園からはもちろんの事、市からのお知らせやご協力のお願いが出ることで保護者の方の認識意識は変わると思う。	私立認可保育所
消毒のマニュアル化、職員の研修。ヒヤリハットの振り返り	私立認可保育所
衛生管理講習を全職員が園内で受講、食事用パーテーション設置、手指消毒用アルコール空気清浄機ウイルス等除去装置CO2計測計設置、検温朝、午睡明け実施、玄関での引き渡し、避難訓練(引き取り不審者応急処置AED通報含む)の実施 勉強会の実施	私立認可保育所
随時会議などで事故、感染症などの情報を共有し、園としてどうしていくかを引き続き明確化して考えていく。	私立認可保育所
事業本部内の保健専門委員会での取り組み 事業計画	私立認可保育所
自園のマニュアルをより活用し、園外保育お散歩等の外出時の安全管理を徹底し散歩行程表の導入など安全危機管理の向上に繋げる。又日々の何気ない保育の1コマからヒヤリハットに気付く力を身につける。地震や火災だけの訓練ではなく、水防防犯等の多岐にわたる状況の訓練を行うことで、災害に対する意識を高める。また、園長不在の想定での避難訓練や予告なしを増やし、個々の危機管理意識を高める。BCPを毎年見直しして更新するようにしているが、まだ定着に至っていない。年度初めに確実に更新され、全職員で周知するようにしていく。	私立認可保育所
新型コロナウイルス感染症拡大を受け、職員は就業前検温実施、ハンディタイプのサーモグラフカメラを導入。登園時だけでなく、活動中や午睡中の体温チェックにより園児健康管理に威力を発揮している ダミー人形練習機を用いたCPRAED訓練を定期的に毎月実施(場数をこなす身体で覚える)事故を想定した演習を通して力量の確認や課題抽出を実施	私立認可保育所
(法人)マニュアルの内容を定期的に見直し、自園で取り組める内容に策定する 事故防止のための気づき等を職員間で共有していく中で、事故防止の意識を高めていく	私立認可保育所
日々の指導、一人ひとりの意識	私立認可保育所
昨年度よりコロナ感染症対策に悩み職員も緊張している。行政との連絡や保護者との対応など立川市からフローチャートがあるとどの職員も戸惑わず安心して対応できると思います。	私立認可保育所
感染症等の発生にによる対応の仕方や、立川市のフローチャートがあるとわかりやすい。	私立認可保育所
計画の策定様々なケースを想定して考えていくこと	私立認可保育所
毎日の園舎内、保育室、玩具等の消毒、保護者検温、職員、園児の健康管理カードチェック、ヒヤリハットを毎日のミーティングで報告、毎月ヒヤリハット委員会を設け、報告する。避難訓練を行い、その際に防災バックの中身を確認。1年に1度消防署立ち合いの下、訓練を行う。	私立認可保育所

看護師を中心として感染予防対策感染防止対策を保育園全体に徹底する。 子どもの安全を考えて、対応する。 園庭の遊具の安全確認。5Sチェック。 毎月の避難訓練を通して、防災に対しての意識を高める。	私立認可保育所
施設内での感染症の発生状況等を保護者にも周知することにより、各家庭でも感染予防への意識を高めてもらう。 必要に応じて合同保育を中止する等の柔軟な対応を行う。	私立認可保育所
保護者への情報発信とガイドラインの徹底(協力願ひでは難しい) 看護師や消防士等による研修、委員会などによる検証、看護師による受入れ 引き渡し訓練による実践	私立認可保育所
職員が健康な状態で出勤する。園児職員が毎日健康チェック表に体温体調を記入して看護師がチェックする。 毎日の消毒担任と看護師他職員で行なう。総合遊具の下にクッション制の人工芝を敷く。ベランダに日よけテントの設置をする。防災対策としては計画を立てる。避難訓練の実施をする。	私立認可保育所
コロナ禍の時代であり、園からでも感染者が出たことで東京都の感染マニュアルを参考にしたりして消毒や予防を徹底している。また、事故防止についても同じことがないようにヒヤリはもちろんのこと気になる場所があった場合は直ちに報告するようにしている。	私立認可保育所
随時会議などで事故、感染症などの情報を共有し、園としてどうしていくかを 引き続き明確化して考えていく。	私立認可保育所
研修への参加(報告会を含む) 職員間での共通認識を図るため、会議を実施。 (危機管理の担当保育者を決め、定期的に会議を実施)	私立認可保育所
常に最悪な状況に備え、日頃から子どもを安全を守るためにはどのような行動すればよいか事前に対策を練り、 落ち着いて対応できるようにマニュアルを作成し、定期的に確認。近年は熱中症対策も必須。また、通報するケース(事例)なども知っておく。	私立認可保育所
看護師を中心に、状況に応じて園医と連携を取り感染拡大の防止。避難訓練を毎月、引き渡し訓練を想定し1 回実施。ローリングストックの実施。	私立認可保育所
職員間の共通理解と共通認識の中、適切な対応ができるように園内研修が有効である。又、事故防止は、ヒヤリハットの取り組みや職員の一人一人の危険予知トレーニングを取り入れ、高めていくことが有効と考える	私立認可保育所
新型コロナウイルスの感染防止の観点より、園児の検温、手指消毒、施設や玩具の消毒を徹底している。 感染防止、事故防止、防災に対しての取り組み全てにおいて、職員が当事者意識を持つことが何よりも有効ととらえている。事故防止においては、園内研修において危険予知訓練やリスクマネジメント研修を行い、毎月「ヒヤリハット」を全職員で共有している。 毎月の避難訓練では約束の確認、避難の仕方は繰り返しになるが、職員が真剣に行う姿を見せることで子どもたちに伝えている。	私立認可保育所
感染対策安全対策は繰り返し周知する必要がある いざと言う時に誰でも動けるマニュアル作りと管理と実施訓練評価反省の繰り返し	私立認可保育所
施設内研修や周知、防災訓練などが重要かと思いますが、どうすればよいのかの基準や方策を知る機会がありません。 消防、病院などの専門家に相談する機会がもっとあると良いかと思っています。	家庭的保育事業

感染症事故防止防災災害においてマニュアルを作成し、マニュアルに沿って避難訓練を月に一度テーマを決め行っております。	家庭的保育事業
17についてはコロナが始まってから意識的に消毒を各自している。 18については事例を話して気を付けるように伝えている。確認もしている。	家庭的保育事業
感染症予防や事故防止に関して最初に取り組みを話し都度気づいたことを提案しより良い方法を選択する。 月々の避難訓練での動きで気づいたことはその日のうちに話し合う。	家庭的保育事業
マニュアルやチェックシートなどの活用	家庭的保育事業
部屋の換気、消毒、手洗い、遊具おもちゃの消毒など、毎日行っている。あぶないところには、クッションになるよう保護シートをはったり、おもちゃの片づけ場所など気を付けている。避難訓練ごっこをしている。	家庭的保育事業
感染防止に関しては、手洗い、除菌、マスク、換気、保育士同士が密にならないよう配慮し、また黙食等を撤退している。事故防止に関しては、危険個所に安全対策の実施、また防災に関しては、毎月の避難訓練で意識の高揚を図っている。	小規模保育事業
特にコロナ感染者の拡大している現在は8月中に職員全員のワクチン接種完了を目指し、保育室内消毒は一日3回行っている。他園での事故などがニュース等で聞かれると必ず職員会議で自園ではどうなのか必ず話し合う	小規模保育事業
ニュースで取り上げられた子どもの事故については職員間で情報を共有し、気をつけていくようにする。日々のヒヤリハットを共有する	小規模保育事業
感染症対策として毎日、玩具や玄関、手で触る場所を毎日消毒をする。防災について非常食の確保。毎月、避難訓練を行っている。	小規模保育事業
外部での講習会参加が好ましい	幼稚園型認定子ども園
常に清潔な環境。おもちゃの消毒(1日1回、赤ちゃんは都度)空気清浄機の設置。転倒防止の設置。定期的な避難訓練	認証保育所
新型コロナウイルスの感染防止の観点より、園児の検温、手指消毒、施設や玩具の消毒を徹底している。感染防止、事故防止、防災に対しての取り組み全てにおいて、職員が当事者意識を持つことが何よりも有効ととらえている。事故防止においては、園内研修において危険予知訓練を行い、毎月「ヒヤリハット」を全職員で共有している。	認証保育所
保護者への情報提供及び周知 登園時の健康チェック等の提出 消火器、AED等の使用の実践園内研修	認証保育所
保育終了後に掃除及び消毒を徹底しております。また事故防止はヒヤリハット事故報告書を活用し、再発防止に努めています。防災訓練は引き渡し訓練含め年14回実施しております。	企業主導型保育事業
新型コロナウイルスの感染防止の観点より、園児の検温、手指消毒、施設や玩具の消毒を徹底している。感染防止、事故防止、防災に対しての取り組み全てにおいて、職員が当事者意識を持つことが何よりも有効ととらえている。事故防止においては、園内研修において危険予知訓練を行い、毎月「ヒヤリハット」を全職員で共有している。	企業主導型保育事業

研修	企業主導型保育事業
情報共有と徹底	企業主導型保育事業
新型コロナウイルスの感染防止の観点より、園児の検温、手指消毒、施設や玩具の消毒を徹底している。感染防止、事故防止、防災に対しての取り組み全てにおいて、職員が当事者意識を持つことが何よりも有効ととらえている。事故防止においては、園内研修において危険予知訓練を行い、毎月「ヒヤリハット」を全職員で共有している。	企業主導型保育事業
リスクマネジメントについて全職員で共通認識をする。 専門機関との連携。 各種マニュアルを基に、定期的な点検訓練研修を実施する。	幼稚園
コロナ禍での手洗い、うがい、遊具の除菌に努める。園庭遊具の日々の点検を実施。防災防犯訓練を年1回実施。	幼稚園
マニュアル作成 定期的な話し合い 防災については、上記の他に定期的に行う。	幼稚園
ヒヤリハットの共有、どこでどんなケガが起きるのかを定期的に確認。ケガがあった時の情報共有。防災、防犯については、警察、消防の方に来ていただき、訓練について助言をいただく。	幼稚園
感染症に関してはマニュアルがあるが、職員全員が、その内容を定期的に見直す事は出来ておらず課題だと感じる。「保育所における新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」を作成。 事故防止や防災に関しては、危機管理マニュアルをもとにシミュレーションをしたり訓練も行っている。回数や参加職員、内容の幅を広げていく。	公立認可保育所
安全対策の徹底や定期的な点検。 危機管理マニュアルに基づき、様々な想定避難、事故訓練の実施。 「保育所における新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」を作成し、それにもとづいた対策を実施。その他の感染症対策もガイドライン等に基づいて実施。 消毒、備蓄品などの管理。 保護者との連携を密にし、防災意識を高められるような取り組みや確認。	公立認可保育所
園内研修、外部研修等を通じての職員の意識向上。 危機管理マニュアルを基に想定ごとの訓練の実施。 「保育所における新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」を作成しそれに基づく対応。その他感染症等への対応。	公立認可保育所
手洗い、消毒、換気、マスク着用、など行い保育の中では食事、午睡場面でパーテーションを使ったり頭の位置をずらすなどの対応をしている。今まで以上に体調不良時の受け入れには注意をしている。(「保育所における新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」を作成) ヒヤリハットなど使い危険個所の対策を行う。避難訓練をいろいろな想定で行い職員一人一人が今災害があったらということを考えながら保育をするようにする。 (危機管理マニュアルに基づき、事故や災害等に対する訓練や園内研修を実施。)	公立認可保育所
感染症に対しての園から保護者への啓発。「保育所における新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」を作成し、それに基づいた感染症対策を実施。 事故防止対策はヒヤリハットを活用し、防止に努める。職員へ啓発。 日頃からの訓練を大切に、課題はクリアできるようにしていく。避難訓練、危機管理マニュアルに基づく訓練等の実施。	公立認可保育所

事故防止に対しては、こまめなチェックと常に危機管理意識を持つ。 近年、災害も多いので近隣との共同での訓練や福祉避難所としての体制体系を整えておく 「保育所における新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」を作成し、それに基づいた感染症対策を実施。その他の感染症もマニュアルを基に対策を実施。	公立認可保育所
---	----------------

■質問9 保育・幼児教育等の質の向上のためには、どのような取り組みが有効と考えますか。

地域関係機関との連携

色んなサポートは黙って待っても無理だと、こちらからの積極的な行動が大切だと痛感する。	私立認可保育所
小学校、中学校ともにお隣さんなのでボランティアの受け入れ等	私立認可保育所
他施設との交流にあたるような活動は現在コロナ禍で行っていない。 医療機関との連携は子ども診、多摩総合医療センターと連携、必要なケアを学んだり、相談したりしている。 地域でのブロック会議に参加し、学校との連続性を図る。	私立認可保育所
コロナウイルス感染症の影響もあり、以前のように交流が難しいため、この情勢でもできるような地域との関りや連携を考えていく。	私立認可保育所
入学予定の園児が多い小学校とは事前に直接伝達できるが、他の小学校とは要録のみの伝達となっている。要録だけのやりとりではなく電話などで直接情報を伝えることを積極的に行っていく。 転園等、途中退園児の情報共有が必要に思う家庭の引継ぎを意識的に行う必要あり。 社会資源となる保育園を目指し、地域の親子に開かれた施設となるよう職務として地域子育て支援係を設け、ニーズを探り内容と案内方法を検討する。	私立認可保育所
基本的指導方針に沿って行事を通した家庭や社会、地域との関わりを有意義に体験させる取り組みを続けている。60年の歴史の中で親子ともども卒園生の方も増えた。在園生のみならず地域における理解と信頼を得られるよう町内施設との連携に努めたい 〇〇町は現在も個店が比較的残る地域であり、子どもたちにも園外活動の際の「おみせたんけん」などを通じ、世代間の交流も含めた社会環境教育の取り組みを進めている	私立認可保育所
連携を実施していく上で、連携を実施する事の意義や目的を現場の職員が見つけていく事が、連携の向上につながられる 連携先を新たに開拓していく取り組み等を通し、地域との関わりを強化していく	私立認可保育所
地域の中での保育園である事を職員一人ひとりが意識し、連携をとる。	私立認可保育所
コロナ禍で実施できないことが多い。オフィス街の為、地域との連携が取りにくく、難しい。	私立認可保育所
今のコロナ禍で、できないことが多い中、何であればできるのかを考える事	私立認可保育所
姉妹園との交流や併設している学童との連携、また園長が地域の学校運営協議会の委員として地域との連携も積極的にしている。	私立認可保育所
〇〇高校の実習生を毎年受け入れ、立川〇中、〇中の職場体験受け入れ、地域交流食事会として若葉団地、近隣に住んでいる方をお招きして、年長児と園で用意した給食と一緒に食べている。障害児に関して通院している医療機関と連絡を取り、見学させてもらう事もある。逆に園に見学に来ることもある。〇〇小学校と年長児が1月くらいに交流会を行っている。	私立認可保育所
ボランティア地域の方の受け入れることにより、保育園の様子を知ってもらう。 実習生の受け入れ、小中学校との交流により、保育についてを学んでもらい、保育園の仕事を理解して頂く。	私立認可保育所

通年での受け入れ体制の確立、私立保育園での全体研修会 定期的な会議開催 ひろば、地域活動の開催、畑手入れの指導助言(地域の方から) 年長児と一年生の交流 教諭との意見交換会	私立認可保育所
第○中学校との交流はコロナ禍の中で出来ないが、保育園訪問をして余り触れ合わない交流を行なう。園の前のはたけを近隣の方にお借りしたのではたけ作業を通して近隣の方に指導をしてもらっている。他の保育施設との交流はなかなか出来ない。嘱託医の先生と、感染症のことなど相談させてもらっている。	私立認可保育所
コロナ禍ではあるが、実習生は受け入れをしている。事前に良く学校側と話し合い、学生さんの行動も限定するなどしての受け入れとなっている。他の施設との関りではここ数年控えている。同じく小中学校との関りも控えている。医療機関とは園内で発生した案件で対応が困ったときなど連絡や相談をしている	私立認可保育所
コロナウイルス感染症の影響もあり、以前のように交流が難しいため、この情勢でもできるような地域との関りや連携を考えていく。	私立認可保育所
ボランティア、地域の人材(中学生の職場体験等)、実習生の積極的に受け入れ。 就学に向けて、小学校との連携(報告会等)を実施。 地域との交流も多い。	私立認可保育所
20, 23については、施設単位で状況に合わせて積極的に取り組むとよいと思う。22については、園医と連携を取り、ことあるごとに相談し園としての対応を相談させてもらう。24については、変化の激しい時代の中で地域の(学区内)幼保小中で、地域の子どもを全体としてより良いものにしていくため目指すところを共通理解し、縦の協働的関係を育てていく。また、共通テーマ(5年、10年後のこども像、子どもの人権、ヤングケアラー、医療的ケア児、子どもの幸せ等)についての意見交換ができると良いと思う。	私立認可保育所
近隣の幼稚園の職員の研修を実施。学習館まつりに参加。近隣の小学校と運動会の招待などで交流を図る。	私立認可保育所
コロナ禍の現状、連携交流の取り方は課題が大きい。互いに情報発信し、情報収集をする中で繋がっていくことが必要だと考える。又、実習生やボランティアは、双方にリスクはあるが養成校や団体と健康管理を丁寧に行う中で、できうる限り受け入れていくことが必要だと考える。	私立認可保育所
新型コロナウイルスの影響で、地域社会や学校との連携が非常に難しい状況。ただそのような環境下の中でも、行政、医療機関とも連携をしっかりと図り、できる選択肢の中から地域社会とも連携を図ること(例えば、手紙を送りあったりするような、気持ちを受け取れる活動等)を検討したい。	私立認可保育所
コロナ禍において外部交流はとても難しい現状であるため、オンラインシステムの充実が不可欠。小学校との連携はこまめな情報交換から始まっているので引き続き行って行きたいところだ。中学校との接点はいまのところないので小学校との連携から中学校へ繋げていく	私立認可保育所
普段、日常の保育の中で身近な交流はできますが、質の向上を言うのであれば計画的に行うことが重要かと思えます。ただ、日常の保育の負担にならないよう、また連携先の負担にならないよう十分な配慮が必要かと思えます。	家庭的保育事業
地域の他の保育園と情報を交換しております 十分に連携をとることが出来ていると思っております それぞれの子どもの主治医と必要があれば連携をとるようにしています 地域の社会資源を活用しています(老人施設の行事に参加など) 校区の中学生の職場体験を受け入れています。	家庭的保育事業

23については散歩中の挨拶は誰にでもすることを心掛けている。 少人数0、1、2歳児の地域の交流はなかなか難しい。	家庭的保育事業
家庭的保育室では散歩に出ることが日常であり、地域で働く方、近隣の方と接する機会が多く連携園の他にも交流を持っていたいている園がある。医療機関とのつながりは持ちたいと感じている。	家庭的保育事業
信頼関係をつくること	家庭的保育事業
連携保育園の看護師や、栄養士の先生、園長先生に相談ができありがたい。年に2回連携園にて健康診断を受けている。近所のデイサービスに行きお年寄りとの交流があったが、昨年なくなった。	家庭的保育事業
自園では、「地域支援活動」に力を入れており、ベビーマッサージ&産後のボディケア、だれでもアートなど、定期的に活動している。 また「青空市」「〇〇まつり」等、年に2回の地域支援活動イベントを開催し、地域の方々が集え交流できる場所としてのイベントを開催。 さらに、育児相談体験保育の随時受付を行い、職場体験、実習生の受け入れなど次世代育成事業への積極的な取り組みを行っています。	小規模保育事業
小規模な保育園の為、空間スペースの点から難しい状況です	小規模保育事業
地域の方はお散歩中など暖かく見守り声をかけてくださっているが今の所園からの具体的な働きかけはしていない。	小規模保育事業
連携園での入園時検診や乳児検診、健康診断を行っている。小規模園の為にボランティアの受け入れをした時にボランティアの人に教える職員の余力がない。	小規模保育事業
それぞれの話し合いの場(リモートでも)が欲しい	幼稚園型認定子ども園
希望があれば受け入れている。近くの病院との連携。老人ホーム、郵便局訪問など希望があれば受け入れている。	認証保育所
新型コロナウイルスの影響で、地域社会や学校との連携が非常に難しい状況。ただそのような環境下の中でも、行政、医療機関とも連携をしっかりと図り、できる選択肢の中から地域社会とも連携を図ること(例えば、手紙を送りあったりするような、気持ちを受け取れる活動等)を検討したい。	認証保育所
ハロウィンで地域の商店を訪れる。	認証保育所
検診時に医師と情報交換の時間をもうける	認証保育所
地域の大きな病院の敷地を2か月お借りしプール活動を実施するなど地域の皆様にご理解をいただけるよう運営しております。法人としても、地域の皆様に親子食堂を開くなどし、ご理解いただく努力をしております。行政や他の保育施設との連携は是非ともお願いしたいことです。	企業主導型保育事業
新型コロナウイルスの影響で、地域社会や学校との連携が非常に難しい状況。ただそのような環境下の中でも、行政、医療機関とも連携をしっかりと図り、できる選択肢の中から地域社会とも連携を図ること(例えば、手紙を送りあったりするような、気持ちを受け取れる活動等)を検討したい。	企業主導型保育事業
連携が個人レベル 地域との関わりを持ちたくて自ら出向けばなんとか参加できるが、小中学校、ボランティアなどはそもそも方法がわからない。	企業主導型保育事業

新型コロナウイルスの影響で、地域社会や学校との連携が非常に難しい状況。ただそのような環境下の中でも、行政、医療機関とも連携をしっかりと図り、できる選択肢の中から地域社会とも連携を図ること(例えば、手紙を送りあったりするような、気持ちを受け取れる活動等)を検討したい。	企業主導型保育事業
コミュニティネットワークの構築。	幼稚園
各大学からの実習生、中学校の職場体験の受け入れを実施。特に支援が必要な子に対して、関係機関に協力を依頼している。特に小学校とは、新一年生に関しての情報伝達を行っている。また、小学校からのおまねき会に参加。	幼稚園
実習生の受け入れや小、中学生の職場体験等は積極的に受け入れていく 園医を通して、医療の連携をしていく	幼稚園
コロナ禍で難しい部分もあるが、出来る限り地域、関連機関と交流、連携を取っていくことをしていきたい。	幼稚園
実習生やボランティア等、外部の人に保育を見てもらう機会は、自園や自身の保育を振り返る良いきっかけとなっている。 他園や他施設との連携を行い、地域の拠点的な施設でありたい。 連携園(家庭的保育室)との園内研修等を計画 主催する研修等への案内参加により、同じ地域内の他の保育施設と交流、情報交換等によって互いの状況を知り、ともに学び合うことでより一層の連携につながる取り組みとする	公立認可保育所
園庭開放や出前保育などの地域活動、情報の発信。日頃からの地域活動の活用や情報の共有、連携。(地域の子育て支援グループとの連携により、おもちゃの貸し出し) 近隣小学校生徒とのオンライン交流の計画。 実習生の受け入れ実施 主催する研修等への案内参加により、同じ地域内の他の保育施設と交流、情報交換等によって互いの状況を知り、ともに学び合うことでより一層の連携につながる取り組みとする	公立認可保育所
小学生の職場訪問、中学生の職場体験、実習生の受け入れ。 5歳児懇談会への、小学校校長先生の出席。 近隣の高齢者サービスセンターとの交流。 家庭的保育室との連携(情報交換園内研修の実施) 主催する研修等への案内参加により、同じ地域内の他の保育施設と交流、情報交換等によって互いの状況を知り、ともに学び合うことでより一層の連携につながる取り組みとする	公立認可保育所
実習生やボランティアの受け入れは行っている。 連携の家庭的保育所との情報交換研修の実施、小学校との積極的な交流を行っている。 地域の高校との交流(ライフセイビング部の生徒により、水遊びの際の事故防止等について、子どもへの指導) 園医とは園児のことを相談したりしている、また医ケア児や療育にかよっているお子さんのことで担当医との連携も行っている。 園内の子育てひろばとの交流連携の実施 主催する研修等への案内参加により、同じ地域内の他の保育施設と交流、情報交換等によって互いの状況を知り、ともに学び合うことでより一層の連携につながる取り組みとする	公立認可保育所
待っているだけではなく、園から働きかけていくようにしている。 出前保育を実施し、子育てに関する情報提供と子育て家庭への支援を行う。 機会がある時は連携、交流を行い、地域の中に保育園がある事を実感できるようにする。 実習生の受け入れ実施 主催する研修等への案内参加により、同じ地域内の他の保育施設と交流、情報交換等によって互いの状況を知り、ともに学び合うことでより一層の連携につながる取り組みとする	公立認可保育所
地域に根差した子育て支援の拠点となるよう他機関との連携をしていく。 また様々な世代との交流をすることで、地域全体で子育てをしているという意識を広げていく。 実習生の受け入れ実施 主催する研修等への案内参加により、同じ地域内の他の保育施設と交流、情報交換等によって互いの状況を知り、ともに学び合うことでより一層の連携につながる取り組みとする	公立認可保育所

■質問9 保育・幼児教育等の質の向上のためには、どのような取り組みが有効と考えますか。

自己評価情報公開

園長一人で出来る事は限られている。保育所に望まれる要望も理解するが、広範囲でやや複雑な課題も多く、苦慮していることもある。	私立認可保育所
外部講師を招いての研修を終えた後、園としても振り返りの話し合いをして、自分たちができること、難しいことなども出し合い、具体的に実践へと繋げるようにしていく。	私立認可保育所
保護者より苦情要望が入ると、職員全体で周知。時には対策を保護者に伝える	私立認可保育所
2021.8月第三者評価機関を受診している 結果及び改善計画については玄関先に閲覧 Instagram等SNSを使つての保育の発信 リモートによる説明会の実施 法人ホームページに掲載 玄関先に閲覧できるようにしている	私立認可保育所
地域に対する公開は入園予定で連絡をくれた方のみなので、保育を知ってもらうことを踏まえたうえで、情勢が落ち着いたら公開保育などの検討をしていきたい。	私立認可保育所
園内会議で改善に向けての対応策策定 園見学や子育て支援事業の実施 ホームページ	私立認可保育所
利用者、地域の方が情報を得やすいHPの改定。最新情報を随時更新し、在園児地域の方も利用ができ、気軽に情報収集できるように整える。 社会資源となる保育園を目指し、地域の親子に開かれた施設を目指し、職務として地域子育て支援係を設け、ニーズを探り内容と案内方法を検討して進めている。 いつでも情報提供できるようチラシを作成し、地域子育て世帯へ配布できるように準備する。	私立認可保育所
ISO14001(環境)22301(事業継続)の認証維持活動を通し、施設の状況や力量を客観的に把握できるよう取り組んでいる ホームページやSNSを通じた保育活動の公開を通して、利用者、就職希望者、その他関係者に施設の「いま」の姿を伝える	私立認可保育所
外部から公平に客観的に施設を評価してもらう事や、情報を公開する事	私立認可保育所
日頃の振り返り	私立認可保育所
定期的に第三者評価等を受けサービスの向上に努めていくこと、地域に向けての保育の公開などもできる範囲で取り組んでいく必要がある。	私立認可保育所
評価に関しては、課題を見極め活用している。	私立認可保育所
第三者評価を受け、結果を職員におろし、改善に努めている。ホームページに載せ、開示する。財務情報等の行為票を行っている。	私立認可保育所

第三者評価等により、保護者から保育園への評価を知り、改善すべき点は改善をし、保護者が預けやすい、子ども達が過ごしやすい環境を整える。(第三者評価は、三年に一度実施する。)収支状況を開示。	私立認可保育所
第三者評価は令和元年で実施した。東京都ホームページで公表をしている。地域に対しての保育の公開はコロナ禍の中で実施していません。運営収支の公開は昨年度の決算書と今年度の予算書は保護者へ公表しています。	私立認可保育所
年おきに第三者評価等を受けているが、外部評価の内容について、すべての改善までには至っていないのが現状です。経営については一部公開はしている。	私立認可保育所
地域に対する公開は入園予定で連絡をくれた方のみなので、保育を知ってもらうことを踏まえたうえで、情勢が落ち着いたら公開保育などの検討をしていきたい。	私立認可保育所
自己評価を毎年行い、それをもとに全体で会議を行っている。	私立認可保育所
25については施設ごとに必要なことや課題が異なり、金銭面のこともあるため、必要に応じてその都度行えばよいと思う。受審するごとに必要とされる書類が増え過度に思う時もある。利用者、職員の率直な意見がみえてくるので、その事項に対しての説明責任を果たしながら改善する、できないが最善を尽くすなどの内容を周知していく。27, 28については、各施設ホームページを開設し、日々の保育活動や収支状況などを公開し、地域に開かれた園にする。	私立認可保育所
第三者評価の実施。	私立認可保育所
評価を真摯に受け止め、足りないところは補い、よいところは更に良い面を伸ばしていく機会とする。	私立認可保育所
第三者の目で評価を受け、その内容を真摯に受け止め、自園の課題に目を向け改善していく。その手段として、第三者評価は非常に有効ととらえている。定期的に評価を実施していきたいと考えている。	私立認可保育所
年に一回この10年間第三者評価を受けているが、年々アンケート調査の回収率も減ってきているので、できるだけ多くの回収率を上げる為には無理強いせず、声掛け働きかけが重要。それを元に改善点の洗い出しをおこない、より良いサービスに繋げていく。園独自のサービスや特徴を幅広く知ってもらうための宣伝アピールの重要性。	私立認可保育所
自己評価、情報公開については適切なマニュアルが必要かと思います。テンプレート化されることで、施設長や主任クラスだけではなく、現場の保育士や事務方などにもわかりやすくなると思います。また、これからの保育では、保育中のカメラ設置なども必要になってくると思います。プライバシーの権利にも配慮しつつ、透明性の高い保育を提供することが求められてくるかと思います。第三者評価等も定期的に行われるのが望ましいと思います。	家庭的保育事業
今後、外部評価や第三者評価を受けていきたいと」考えております。	家庭的保育事業
地域に対する保育公開を計画してたがコロナ禍になり見合さざるを得ない状況になってしまった。状況が変わり次第行っていきたい。	家庭的保育事業
25, 26, 27については、実施が困難な状況下にあります、但し、28については実施しています。	小規模保育事業
外部からの評価は受けていない。	小規模保育事業
外部評価を入れていない。出来れば入れたいが会社を通さないと出来ない。	小規模保育事業

やりかたのハウツー	幼稚園型認定子ども園
第三者評価。指導にあったところは改善している。ホームページで公開	認証保育所
第三者の目で評価を受け、その内容を真摯に受け止め、自園の課題に目を向け改善していく。その手段として、第三者評価は非常に有効ととらえている。 今年度実施以降も、定期的に評価を実施していきたいと考えている。	認証保育所
ミステリーショットパー。 社内他部署の社員によるホスピタリティチェック。 毎月の職員会議で業績数値(売上や利益等)を示す。 受付に財務諸表を置いておき保護者がいつでも閲覧できるようにする。	認証保育所
玄関内の掲示板を活用し、情報公開に役立てている	認証保育所
コロナ禍ですが、地域にお住まいのお子様の保育園見学を受け入れ、また一緒に活動いただくことも検討しております。情報公開は今後の課題です。	企業主導型保育事業
第三者の目で評価を受け、その内容を真摯に受け止め、自園の課題に目を向け改善していく。その手段として、第三者評価は非常に有効ととらえている。 定期的に評価を実施していきたいと考えている。	企業主導型保育事業
働き方や健康経営の様に何か保育に関しても基準を設けて認定するようなものをつくる保育業界だけ別物で取り残されている感じがする。まずそこに興味のある人や政治家でないといけない	企業主導型保育事業
第三者の目で評価を受け、その内容を真摯に受け止め、自園の課題に目を向け改善していく。その手段として、第三者評価は非常に有効ととらえている。 今年度実施以降も、定期的に評価を実施していきたいと考えている。	企業主導型保育事業
ホームページ、一斉送信メールサービス等の活用。 父母の会等との連携。	幼稚園
職員自己評価は行っているが、第三者評価はまだ実施していない。他の項目も含め、要検討中。	幼稚園
園自己評価、学校関係者評価を実施している。どこを改善したらよいのか、よく取り組めたこと等が見えるようになるので引き続き取り組んでいきたい。	幼稚園
職員各自での保育の振り返りと年度末の全体反省等の実施 保護者アンケートの実施 外部評価を実施し、業務や保育を評価する取り組みは必要。 地域に対する保育の公開に関しては、まだ取り組みが足りない。	公立認可保育所
職員各自での保育の振り返りと年度末の全体反省等の実施 第三者評価、外部評価の導入やオブザーバーの導入は課題。 情報公開に関する取り組みは不足している	公立認可保育所
職員各自での保育の振り返りと年度末の全体反省等の実施 夏祭りや運動会等の行事に参加していただくことで、地域に対する保育の公開としているが、情報公開に関する取り組みは不足している	公立認可保育所
外部評価は行っていないが評価項目について自分の保育を振り返っている。 公開保育という形での設定ではないが希望があれば受け入れる。 連携している小学校の先生や家庭的保育所の方にも保育を見ていただいて意見をもらいたい。 情報公開に関する取り組みは不足している	公立認可保育所

職員各自での保育の振り返りと年度末の全体反省等の実施 保育参加参観などを通して保育を保護者に見てもらうことを通し、意識の向上を図る。 第三者評価等の外部評価により、保育を見直す機会を設けたい。 情報公開に関する取り組みは不足している	公立認可保育所
職員各自での保育の振り返りと年度末の全体反省等の実施 第三者からの評価は、職員の意識改革にもなり、自分たちでは気づかない点に気づける機会になる 情報公開に関する取り組みは不足している	公立認可保育所

■質問10 貴施設における保育・幼児教育等の質の向上について、自由にご記入ください。

保育園は、子ども達の発達を保障する場所の為、日常生活、遊びのための環境、条件を整えることが大切だと考えます。発達には、子どもの人格を形成するすべて（運動発達、知的発達、言語発達、など）の能力、また、性質的なもの、成長とともに環境によっても変化する性格・様々な分野が一人の子どもを形作っていくということ。私たち大人は子ども達の発達を援助する時は、このことを視野に入れて保育内容を常に考えるように心掛けています。	私立認可保育所
経験年数に応じて保育の考えの差があるため、新人の研修だけではなく、中堅職員向けの研修も行っており、保育を見直していく中で統一を図っていくことで資質の向上に努めていきたい。	私立認可保育所
保育の質の向上は、職員の質の向上が前提にあると考えている。いくら知識や思いがあってもそれを行う職員が心身共に健康でなければ良い保育は出来ない。その為にも職員の働く環境を良くしていきたいと思いリフレッシュの休暇が取れるように工夫をし、学びたい研修を法人で職員たちにアンケートを取り園内で行ったりと取り組んできている。今後は時間を確保し子どもたちが主体的に日々を過ごし子どもたちの大切な育ちに寄り添える保育について職員間で考え実践できるように努めていきたいと考えている。時間の確保のための人員確保も考えなければならない課題である。	私立認可保育所
保育指針を参考に職員同士日々の保育の振り返りを行う。研修等で聞いてきた事をみんなで共有し保育に取り入れていく。今年度は法人の保育コーディネーターの方に年間を通して入ってもらい保育の向上に努めている。	私立認可保育所
一斉保育を行わず、子ども一人一人の個性と、主体性を尊重した保育実践をする 子どもの姿や、興味や関心に沿って柔軟に変更可能な、保育計画と日課を取り入れる 園で行われる行事の考え方を、保護者に向けてではなく、子どもの取り組みとして考えたい（運動会や、お遊戯会のようなもの） 子どもは一人の人間として尊重され、子どもだからと決めつけた環境におかない（キャラクター等）また、きれいな物本物自然と日常的に関わり、そこからの実体験をもって教育的な視点での保育を行う	私立認可保育所
子どもにとってのより良い環境（人的物的）を整える為に、何よりも職員が心合わせすることを第一にしている。特に、職員間のコミュニケーションの質にこだわり、情報の共有のみでなく、更に深め合い学び合える時間となるように、会議報連相の在り方の検討を重ねていく。 支援の必要な子ども家庭が増加し、職員一人一人の対応力向上が求められる中で、子ども一人ひとりに寄り添い、安定に繋げる努力を惜しみなく行い、保護者に対しても良き相談者となり、関係機関に繋げることも適切に行ってきたい。 労働環境の改善に向けて、働き方改革 公休120日 有休消化 休憩 超過勤務 への対策として、業務内容、行事内容、生活環境を全て見直しあらゆる角度から、改善に向けて職員皆で知恵を出し合い改善に向けた。また、安全衛生管理（メンタルチェック環境整備等）実施し、働き続けられる居心地の良い職場環境作りを心がけている。職員の安心安定が基盤になれば、保育・幼児教育の質の向上はありえない。	私立認可保育所
保育の質は物的環境もさることながら、それらを活用する上で保育者（およびその集団）の力量が大きく左右する。個々の力量には当然差があるものの、全体的には以下のような傾向を感じる。 情報社会の進展の一方で「知ったつもり」実体験が不足し活動の展開力に乏しい（若手） 対人コミュニケーションはことば（音声）に頼りがち、文章理解力表現力が弱い（若手～中堅） 過去の経験や慣習に頼った保育内容、価値観のアップデートが困難（年配） 慢性的な人材不足のもと「保育士」資格にそのまま安住している様子も一部には見られる 「進みつつある教師のみ人を教える権利がある」ことに立脚し、単に資格を持つだけの「保育士」から、乳幼児養護教育のスペシャリストとして子どもともに成長する「保育者」の育成なしには質の向上は成し得ないと考え。職員教育に於いては「タコツボ保育士」に陥らぬよう、保育内容の学習にとどまらず、社会の他業種や諸文化への関心、職場以外に他のコミュニティとの接点をもつなど、諸事にアンテナを立て視野を広げることができる機会の提供に努めたい。	私立認可保育所

保育指針の読み取り、子ども理解等を職員同士の対話を通し、何度も繰り返していく事で自園の文化へとつなげることができる。 質を高める取り組みは長い期間を通して、実現していくものだと感じている。	私立認可保育所
保育とは？人を育てるとは？そのために必要なことはなにか？を職員同士で話します。サービスではなく、保育をしています。保護者の要望にも応えられるように検討する事も多々ありますが、〇〇保育園の職員集団が大切にしている保育の観点の確認をクラス会議、職員会議、総括会議、方針会議で意見交換しています。時代により、職員年齢により様々な価値観ではありますが、一人ひとりを大切にする。丁寧に関わる。一人ひとりの発達を捉えて援助するという事は、どうゆうことなのか？をそれぞれで見つけられるような話し合いを考えています。手段やマニュアルも大切ではありますが、その手段やマニュアル通りに行う行えることが大切なのではなく、どのように子どもを捉え、子どもにとって何が必要なのかを考えながら、方法を模索し、選択出来るようになることが大切だと感じています。	私立認可保育所
子どもの主体性を育てることを目的として、法人独自で「知育あそび」を考案し、教材を作成し、1か月に1回くらいのペースで幼児クラスが取り組んでいる。教材を作成するにあたって、法人から代表者を立て、研究会を開催している。外部から専門講師を派遣している。	私立認可保育所
全職員がやりがいを感じたり保育の仕事が楽しく行える、給食づくりに子どもから「美味しかった」等の声が聞けると、働くことに意欲が出てくると思います。そうした保育園運営が出来るように努力しています。職員一人ひとりが前向きに考えられるようになると良い保育が生まれてくると思います。2年続けてコロナ禍のため職員同士の交流が出来ないでいます。それは保育の向上にならず、また楽しい職場にもなっていません。早くコロナが収まり、今まで当たり前と思っていた通常の保育が出来ることを願っています。	私立認可保育所
保育の質の向上には環境設定も大切ですが、実際に保育をする保育士一人一人の考え方がとても大切であり、子どもたちのことを第一に考えて行動し、配慮や言葉がけなども含め、関わっていく時の姿勢が重要だと考えます。 子ども達を心から愛し、暖かく包み込んであげる包容力、そして子ども達とのコミュニケーション」が成り立った上での関わりが子供達を更なる成長へと導いていくのだと考えます。	私立認可保育所
経験年数に応じて保育の考えの差があるため、新人の研修だけではなく、中堅職員向けの研修も行っていき、保育を見直していく中で統一を図っていくことで資質の向上に努めていきたい。	私立認可保育所
子どもたちが安心して質の高い保育を受けられるように、環境整備を行う。(安全安心のある環境、園内外の事故の発生防止、遊びの環境整備等) 保育士のスキルアップのため、多様な園内外の研修の実施参加。 ICTシステムの導入。 退職された保育士もパート補助などで勤務。(スーパーアドバイザーとして新人保育士への指導等も行っている)	私立認可保育所
当園にとっての保育の質は、第一に人的環境である。乳幼児時代に携わる保育者自身の「人間性」であり、向上していく責任がある。物的環境が整い、便利で優れていることも現代社会では重要視されているが、それ以上に乳幼児時期の人間形成に必要な心の成長は、身近な大人との関わり方(プラスもマイナスも)から与えられることが大半を占めてくる。これからの時代は、第三者からの無条件で愛される体験や大切にされる実感、楽しい体験を通して、相手を思いやる気持ち、優しい心、自己肯定感を高める保育や在り方を意識的に追及していく必要性がある。受容と傾聴ができる職員の育成。各家庭の状況を把握しながら保護者に寄り添い、知識、経験を活かし支援ができる心強い職員を育成する。また、自らを高める努力を惜しまない職員を評価する。当園では外部講師に頼らず、〇〇の日(ワーク、運動リトミック、自然科学)の分野ごとに別れ、職員自らの得意分野を活かし、やりがいを感じながら楽しく自分らしい保育ができる現場作りに努め、必要な教材や道具、楽器など職員の要望に応え準備するなどやる気を応援している。「保育士が楽しむ＝子どもも楽しい」につながることを目的に行っている。リトミックに関しては、今年、講師の免許を取得した職員もおり、必要な教材など職員のチャレンジや向上意欲には全面サポートしていく姿勢。	私立認可保育所

当保育園は、モンテッソーリ教育を基盤とし、教育に特化した保育園を目指し開園〇年目を迎えた。新型コロナウイルスの影響で、子どもたちの活動を制限せざるを得ない局面（行事等）もあったが、それでも保育の質向上を目指して積極的に研修参加をし、その内容を共有したり、打ち合わせ等でも、みんなで意見を出し合いクラス保育を高め合っているような風土作りをしてきた。 子どもたちにとっての一番の環境は人的環境であると考え、人材育成にも力を入れている。	私立認可保育所
より良い保育の実施を行う為に、人員の配置採用等に心がけ一人ひとりの業務の負担などがないようにしているが、コロナ禍で不安が取り除けないまま2年目になっている。キャリアアップ研修などで積極的に研修を受ける半面、それを共有できないところもあるので、全職員で共有し質の向上に繋げていきたい。	私立認可保育所
実際のところ、質の向上について特別なことは何も行われていないのが現状で、やっと研修の案内があるときには必ず全員に周知すること、研修に当たった時の給を支払うことは毎回伝えるなどに限られています。 コロナ禍においてリモート研修が多くなり、返って受けづらくなることもあり、難しく思っています。保育中に時間を取ることも、代替保育者がいないため難しく個々の努力に負うのみです。	家庭的保育事業
一緒に保育をしている補助者とのコミュニケーションをしっかりととり 保育の大切さの考えが同じ方向で同じ思いで行うことが大切。子どもも補助者も人数が少ない事でゆっくりと話や保育ができていと思う。また アンケートで思ったことは文章化は必要だと思った。	家庭的保育事業
研修会に積極的に参加し得たものは共有している。また子育てに携わっている方々との情報交換も大切にしている。	家庭的保育事業
子どもの声に耳を傾け、子どもの気持ちを受け止めて、ゆっくり、はっきり、そして穏やかな会話と対応を「笑顔」で接していく保育を心掛け行っています。こども一人ひとりの良さを見つめ、伸ばしていける保育者の育成を行っています。保護者と一緒に子育ての楽しさや悩み、子どもの可愛らしさを共有しながら、個性を大切に、豊かでしなやかな「子育て・保育」が出来る人材育成の重要性を考え、研修への取り組みを積極的に行っています。 誉めても、叱りつけても、どのように接したとしても、人はそれに応じた育ち方をする。 子どもを見れば、親が分かり。部下を見れば、上司が分かり。社員を見れば、社長が分かる。 人が勝手に一人で育つことはない。人は育てたように、育っている。 上に立つもの(園長・施設長)として、保育の質を保つ・向上させるためには、人材育成の充実はもちろん、自分自身も積極的に学習・マネジメントが必要だと考えます。	小規模保育事業
毎月の定期会議の中で、現状の課題や保育の在り方について協議するとともに保育士の質的向上を図るべく、保育士との面談の実施や、各保育士の抱える課題や問題点要望事項等を聞くなどして、解決策を検討し、具体的な質の向上を図る対策を検討実施している。	小規模保育事業
保育の質の向上は基本、保育士の質の向上が全てだと思っています。年齢、生活環境、価値観の違う保育士達にいかんして共通の保育理念に沿った保育を行ってもらえるか日々試行錯誤しています。良い保育士が育つと時間はかかりますが必然的に良い保護者が育ちます。そこまで行くとお互い十分な信頼関係が出来ていますので協力して安定した保育が行われ、その中にある園児も当然安定した環境に守られます。	小規模保育事業
園内、園外研修に参加し、研修報告書で他職員と共有する。 話し合いをする時間を持つ	小規模保育事業
職員が意見を言える環境になると良い環境になっていけると考えています。保育の行動や方法が違う時にその場で伝える事が出来ないと言う職員が多いため、陰で言う方もいる。そう言う環境では保護者、子どもにたいして質の良い保育内容、環境設定、保護者支援など出来ないと思います。保育士の人としても思いやりを育て働きやすい環境にすることで質の向上に繋がればと思います。	小規模保育事業

教育雑誌を読んで発表することによって、スキルを高める。外部講師を呼んでスキルを高める。	幼稚園型認定子ども園
当保育園は、モンテッソーリ教育を基盤としている。新型コロナウイルスの影響で、子どもたちの活動を制限せざるを得ない局面もあったが、それでも保育の質向上を目指して積極的に研修参加をし、その内容を共有したり、クラス会議等でも、みんなで意見を出し合いクラス保育を高め合っているような風土作りをしてきた。子どもたちにとっての一番の環境は人的環境であると考え、人材育成にも力を入れている。	認証保育所
月齢に沿ったカリキュラムによる〇〇式育児法を導入しており、日々の保育で実践することによって、こどもの成長を根拠に沿って測ることができている。	認証保育所
保育の質の向上には人材である職員が働きやすい職場環境を整えることが必要であるため長期的な安定した運営の確保が現在の〇〇保育園には必要だと思います	認証保育所
ビルの一室での保育園のため、保育の質がすべてと考えています。職員間の日々のコミュニケーション及び保育の振り返りを行い、又正規職員は研修を通じて子どもの発達に合わせた保育の計画の立案、弊社の保育以外の様々な事業所（男女共同参画、児童発達支援事業など）と連携し、保育に活かしております。	企業主導型保育事業
当保育園は、モンテッソーリ教育を基盤とし、教育に特化した保育園を目指し開園〇年目を迎えた。新型コロナウイルスの影響で、子どもたちの活動を制限せざるを得ない局面（行事等）もあったが、それでも保育の質向上を目指して積極的に研修参加をし、その内容を共有したり、クラス会議等でも、みんなで意見を出し合いクラス保育を高め合っているような風土作りをしてきた。子どもたちにとっての一番の環境は人的環境であると考え、人材育成にも力を入れている。	企業主導型保育事業
質の高い教育には質の高い保育士や運営者、運営理念が必要。ではどうするか。その保育士、責任者を教育することからはじまり、今いるメンバーで質の向上といってもまずはそのメンバーの質を上げることが先だと思う	企業主導型保育事業
当保育園は、モンテッソーリ教育を基盤とし、教育に特化した保育園を目指し開園〇年目を迎えた。開園と同時に新型コロナウイルスの影響で、子どもたちの活動を制限せざるを得ない局面（行事等）もあったが、それでも保育の質向上を目指して積極的に研修参加をし、その内容を共有したり、クラス会議等でも、みんなで意見を出し合いクラス保育を高め合っているような風土作りをしてきた。子どもたちにとっての一番の環境は人的環境であると考え、人材育成にも力を入れている。	企業主導型保育事業
子ども中心に考える。 保育充実に向けた取り組みを日常的に行う。 保育に関わる多様な関係者の参画や連携協働、保育に関する理解の共有。 全職員、学び続ける姿勢をもち、自分たちの保育を見直すこと。	幼稚園
教職員のスキルアップの実施 子どもの理解、教育理念の共通理解を計り保育にあたる。 保護者対応の丁寧さを計る。	幼稚園
今年度は、新たにドキュメンテーションを取り入れた。写真を撮り子ども一人一人の興味、関心について考察したり、自分の保育を振り返ること、保育について、子どもの育ちについて等話し合う機会が増えたことで、保育者がこの先の保育の方法、環境等を考え、整えられる力がついてきたように感じる。保護者の方にも日々の保育内容、先生達の考えを伝えることができ、理解を得られる面も増えた。またコロナ禍で、オンライン研修が充実してきており、1回10分程度の動画で研修出来るものもあり、研修の時間が取りにくい中、隙間時間で実りある研修を受けられている。今後もオンラインで短時間で受けられる研修が充実すると良いと思う。また教職員が得意な分野、挑戦したい分野を生かし、「キャリアアップ制度」を現在取り入れる準備をしている。教職員が、自信をもって主体的に学ぼうとする姿勢が生まれる仕組みが質の向上のうえで最も大切だと考えています。	幼稚園

保育指針や保育理念、保育目標は、年度ごとに職員全員で確認しており、それに則った保育や運営は行っている。保育計画の内容が幅広いので、その捉え方や実践方法の違いについて、すり合わせを行い、しっかりと確立していく。 公立の保育の中で、当たり前に行ってきた事一つ一つに向き合い、もう一度その目的を掘り下げていく。職員が、同じ方向に向かっていきやすい体制づくりをする。 研修や他園への見学計画等を進め、保育の質向上につなげる。 幼児教育に関しては、目に見える勉強や課業などではなく、その基礎となる、目に見えない心身の育ちを促す。今しかできない体験の中でその育ちがある事を、保護者にも定期的に伝えていく。又、そのような保育を自信をもって行える保育士を育てる。	公立認可保育所
保育士の専門性の向上、倫理観、人間性、保育園職員としての責任と理解と自覚の向上のための園内外の研修への参加を通して、それぞれの意識向上を目指している。 職員同士のコミュニケーションを大切にして、話し合える雰囲気を作り、会議の活性化を目指し保育に生かしていける環境を大切にしている。遊びや生活を通して学ぶことの意味を保護者にわかりやすく伝え続ける	公立認可保育所
より一層の専門性の向上、風通しの良い園の風土の醸成、積極的な自己評価の取り組み遊びや生活を通して学ぶことの意味を保護者にわかりやすく伝え続ける	公立認可保育所
より一層の専門性の向上、風通しの良い園の風土の醸成、積極的な自己評価の取り組み遊びや生活を通して学ぶことの意味を保護者にわかりやすく伝え続ける	公立認可保育所
常に保育の向上に向け、意欲を持って日々の保育にあたれるよう、日頃から職員間の関係を良くする。風通しの良い環境の中、同じ保育を志していくことが、子どものより良い成長発達の土台となる。そこから、保護者との信頼関係や地域ともつながり、質の向上につながっていくと考える。 職員一人一人が自ら学ぼうとする意欲を持てるようにすることが課題。 遊びや生活を通して学ぶことの意味を保護者にわかりやすく伝え続ける	公立認可保育所
学ぼうとする姿勢や謙虚に受け止める気持ちが大事だと思う より一層の専門性の向上、風通しの良い園の風土の醸成、積極的な自己評価の取り組み遊びや生活を通して学ぶことの意味を保護者にわかりやすく伝え続ける	公立認可保育所

■質問12 質問11で行っている保育サービスやその他ご意見について、自由にご記入ください。

当園では、これ以上のメニューの必要性は感じていない。	私立認可保育所
卒園をしてからのお子さんを預かる場所（学童保育）をという意見が保護者から上がっている。	私立認可保育所
人材確保、感染症対策等、先行きの不安定な状況下である中での、現在の保育サービス内容の質の高さを追及しつつ安全に提供していく。	私立認可保育所
長時間保育は子どもにとってどういう影響を与えるかと心配になります。就学前の子どもが、夕方遅くまで保育園で過ごすことが子どもの心にどのように届いているか気になります。また病児保育など子どもが体調が悪いときに傍にいて欲しいのは医療関係者ではなく大好きなお母さん、お父さんだと思います。今まで働く親を支える保育園に重点をおいて保育政策がなされてきましたが、一度原点に戻ってみたいと感じています。いろいろなサービスではなく。子どもが子どもらしい生活が出来ることを願います。この欄で書くべきこととずれているかも知れませんがよろしくお願いします。	私立認可保育所
緊急一時保育	私立認可保育所
出産を迎える親の体験学習。小中高生の育児体験、受け入れ保育拠点活動支援、第三者評価受信園見学の実施。	私立認可保育所
コロナ前まで年に2回程度日曜日にひと家庭1時間保育室で親と子どもと一緒に楽しい時間を過ごして遊んでもらう企画をしている	家庭的保育事業
家庭的保育室でも一時保育（定期でないもの）を行ってみたいと考えているが、具体的にどのようにすることで実現できるのかが課題である。また保育施設に地域により空き状況の偏りがあった場合、送迎バス等のシステムがあると空のある施設に遠方からでも預けることが出来るのではないかと感じる。	家庭的保育事業
保護者の負担軽減の為、オムツ持参不要にしている。	小規模保育事業
0～2歳親子教室を月に2回ほど行っている	幼稚園型認定子ども園
オムツ手ぶらサービス（業者と提携希望者のみ）	認証保育所
地域の未就園児を対象とした無料で親子参加できる園庭開放やプチ保育の実施	幼稚園
親子教室月1回（未就園児対象：親子で来園していただき、農業体験やふれあい英語、リトミック、制作 等を行う、今年度は農業体験以外は動画配信） 一時預かり	幼稚園

■質問14 その他のサービス等について、自由にご記入ください。

子ども育ちや生活は「遊び」が第一義だと思う。長い保育時間のメリハリで取り入れているが、本来は不要な事だと思う。	私立認可保育所
習い事は今の所ピアノのみで今の所他は考えていない。	私立認可保育所
5歳児対象で、CAP(Child Assault Prevention)ユニットによる子どもへの暴力防止のワークを保護者、子ども達に別日設定で実施。	私立認可保育所
園設立の由来である教会の日曜学校から続く、米人宣教師による英語教室を主宰(小学生中学生大人)創立以来60年の繋がり、希望者(園児地域小中学生)を対象としたピアノ教室を開いている(施設提供)	私立認可保育所
保育の中で職員が子どもたちに少しずつ活動に取り入れて経験させていくようにしています。	私立認可保育所
今年度9月から、外部講師に委託してリトミック指導を始めます。	私立認可保育所
当園は、学童保育所を併設しているため、サービスと言えるかはわからないが保護者の方からの評判は良いと思う。保育所が学童保育所を運営する事で、小1プロブレムや小1の壁などの問題が、解決できるのではないかなと思うので、敷地に余裕がある場合は是非学童保育所を設置していただきたいと考える。小学校に併設の場合、1年生は学校も学童も新しいところで、緊張したまま長い時間をすごしている。保育所に併設されていると学校から遊びなれた保育所に帰るので、保護者も子供も安心して時間が過ごせる。課題は、職員の体制や処遇にあるので、そこを改革すれば運営する事業所も増えてくるのではないのかなと思う。是非育成課と連携をして立川スタイルを作っていただきたいと思う。	私立認可保育所
和太鼓 鼓笛は必要な場合(担任の経験等考慮)取り入れている。今年度はコロナ禍のため法人で職員へ指導(外部講師による)	私立認可保育所
体育指導美術指導は、課外としても実施しています。 課外の場合は、希望者が申し込んで行います。 その場合は、保護者の費用負担はあります。	私立認可保育所
体操指導を年3回行なっています。その指導者に任せるのではなく、その指導者から保育士が指導の方法を学んでいます。子どもへの声かけ、励まし方、子どもの誰にでも出来所からはじめる指導方など学んでいます。乳幼児期は早期教育の場ではないと感じています。この時期に子ども自身が身体を使って体験したことが子どもの力になっていくと信じています。	私立認可保育所
以前は保護者費用負担ありでピアノ教室やダンスを行っていたこともある。 リトミックも外部講師が来ていたこともあったが、現在は職員が引き受けて実施している	私立認可保育所
ジャイアンツアカデミーの体験を実施したことがある。	私立認可保育所
外部講師の専門的技術の習得もでき職員にとってもよい面がある。	私立認可保育所
外国語は、全クラスにおいて、同法人内、〇〇幼稚園の英語講師が月2回来園し、「ふれあい英語」として、歌や踊り、カードを使っての英語に触れるカリキュラムを設けている。 〇〇幼稚園に來ている外部講師による、リトミックも取り入れていくことを検討中。	私立認可保育所
右脳教育	私立認可保育所

地域の子育て中の方が保育施設体験ができるようにしたい。	家庭的保育事業
現在実施している体操教室の他、リトミックの実施の検討や知育面を考慮した遊びなどを取り入れた保育を行っている。	小規模保育事業
体操とはいかなくても体を使う保育もたくさん取り入れたいが物理的に子どもたちが思い切り走り回れるスペースがない	小規模保育事業
読み聞かせ絵本 素話 等 保護者負担なし アート芸術教育 保護者負担なし	幼稚園型認定子ども園
外国語に関しては常に英語のある環境という形で外国人は常に英語で子どもと接している。よって、自然に保育の補助も行い園の先生として活動している	認証保育所
外国語は、1歳児以上のクラスにおいて、同法人内、〇〇幼稚園の英語講師が来園し、英語に触れるカリキュラムを設けている。 〇〇幼稚園に来ている外部講師による、リトミックも取り入れていくことを検討中。	認証保育所
項目3は0歳児～5歳児対象でネイティブの講師による指導(英語)。 項目7は3～5歳児クラス対象で近隣のフィットネスクラブでプロのインストラクターによる指導。 項目2と9は3～5歳児クラスの希望者のみ対象で、保育施設と同じビル内に自社が運営する算数塾、そろばんを応用した暗算法を学ぶ、絵画造形教室等のSTEAM教育の複合型スクールがあり、保育時間内(主に午睡明け)に通うことができる。	認証保育所
母親のためのサービス(オムツはすべて園で用意、着替えの洗濯は園でするできるだけ手ぶらで登降園ができるようにして保護者の負担を軽減しています)	企業主導型保育事業
外国語は、1歳児以上のクラスにおいて、同法人内、〇〇幼稚園の英語講師が来園し、英語に触れるカリキュラムを設けている。 〇〇幼稚園に来ている外部講師による、リトミックも取り入れていくことを検討中。	企業主導型保育事業
基本無料で実施したい。今は赤字ですがそれでも大切だと思います	企業主導型保育事業
外国語は、1歳児以上のクラスにおいて、同法人内、〇〇幼稚園の英語講師が来園し、英語に触れるカリキュラムを設けている。 〇〇幼稚園に来ている外部講師による、リトミックも取り入れていくことを検討中。	企業主導型保育事業
園児を対象とした課外教室(音楽体操サッカー英語ダンス) 小学生以上を対象とした課外教室(音楽習字ダンス) 小学生を対象とした学童クラブ(小学1年生から6年生対象)	幼稚園
保育時間内に行う英語:(選択制:1日40分)(全員:月2,3回のふれあい英語パソコン)	幼稚園
保育の中で外部の担当者に指導してもらう時間があると保護者は喜ぶと思う。習い事としてとなると家庭環境の差や、子どもの能力にも差が出るのではないかなと思う。 その他のサービスのあるなしは、保護者が園を選ぶ際の選択肢となる。	公立認可保育所
保護者のニーズとしては専門家による指導を望む人もいるが、生活や遊びの中で取り入れる範囲でよい。 〇〇が出来る出来ないという物差しになりやすいので、そうではない非認知能力を伸ばす取り組みの方がこの時期は大切だと思う。その大切さを発信していくことが課題	公立認可保育所

■質問16 従事者の募集についてのご意見等を自由にご記入ください。

学校への就職依頼はさすが、反応はない。新卒の方々はどこに行ってしまったのか。費用は掛かるが広告や人材紹介に頼るのがここ2年の結果です。	私立認可保育所
なかなか人材が集まらず苦勞しているが、実習、ボランティアなどを積極的に受け入れつなげていきたい。	私立認可保育所
立川市でも積極的に人材確保の機会を設けていただきたい	私立認可保育所
法人で人材確保している	私立認可保育所
若年層の減少から新卒職員の確保は年々困難を増している（特に立川より東側在住の人間はほとんど来ない）コロナ禍緊急事態宣言の影響下、感染を恐れてか40～50代のパート職員採用に係る問い合わせが今年は特に少なく感じる。 過去には人材難から紹介会社を利用したケースもあった。今後も火急の場合は利用せざるを得ない可能性もあるが、採用する職員の前に、まずは人材を預かる営業担当者の「質」、企業の姿勢を重視している。	私立認可保育所
法人で一括で採用の対応をしていて、非常勤職員のみ園対応としている	私立認可保育所
集まらないのが現状厳しい	私立認可保育所
法人採用。栄養士、保育士共に人材の確保に苦勞しております。	私立認可保育所
以前は就職相談会等にも出展し様々な方法を実施したが、人材確保は厳しい状況である。	私立認可保育所
人材確保は今まで大変でした。紹介会社を利用したこともありましたがなかなか思うように行きませんでした。学校訪問をしたこともあります。ハローワークが求人確保の役割になれば良いと感じています。難しい問題だと思っています。	私立認可保育所
求人に関して折り込み広告に出した事も就職相談会のブースを開いた事もあった 実際、就職相談会のブースでの話しあいから入職につながったケースもあった	私立認可保育所
保育士の正規非正規いずれも求人募集については毎年難儀をしている。人材紹介及び派遣会社は給与等高額でとても採用することができない。	私立認可保育所
新規採用は、大学等教育機関や保育士養成機関等と連携している。年度途中の採用（産休代替等）は、従事している職員からの紹介やハローワークに求人を出すことが多い。	私立認可保育所
求人採用は法人が一括して行っている	私立認可保育所
看護師の募集の際には、なかなか人材に巡り合わず、人材紹介で高額な支払いがかかり人件費がかかってしまった 保育士の確保もなかなか難しいところだが、職員の育成によってはその職員が中心となり人材確保に役立っている 一人ひとりを大事にすることの大切さを痛感しています	私立認可保育所
小さい保育室で時間も短いので希望する方を見つけるのが難しい。 また 家庭的保育室の認知度も少ない感じがする。	家庭的保育事業

募集が短時間なので公の場には出しにくい、状況によって就労時間を増やす試みをするなどの対応も必要になるかもしれないと考えている。	家庭的保育事業
ハローワークに掲載するも、その情報で人材紹介会社より連絡があり、比較的高額な紹介料を要するので、改善できる方法があれば検討願いたい。	小規模保育事業
保育士の数を増やすのはどうにかなるが適切な人材の確保が難しい。(応募人数が少ないので選考のレベルを下げざるを得ない)	小規模保育事業
給与面で違いがあるため、求人はなかなか難しい面がある	認証保育所
学校法人が一括して求人採用を行っている。	認証保育所
紹介会社経由で入社してくる方がいるものの、すぐに他を探せると認識しているためか、対応が難しい場合が多いです。急ぎで探す時はどうしても紹介会社経由となるので、金額を考えても厳しいと感じております。	認証保育所
先ずはハローワークを利用して募集するが応募がゼロの場合もあり、仕方なく人材派遣会社等を利用しているのがここ数年の状況です。 人材派遣会社からは1年中紹介の電話があります。年収の25%~30%を請求させられるため複数採用の場合になると大きな負担となり経営にも影響しかねないため危惧しているところです。	認証保育所
求人採用は一括して行っている	企業主導型保育事業

■質問18 従事者の研修についてのご意見等を自由にご記入ください。

研修に参加しながら職員が増えてきた。自己研修としてレポート提出で研修費を出しているが財源	私立認可保育所
資格取得等園で財源で出し積極的に行っている。	私立認可保育所
キャリアアップ研修は、市内の保育園保育士が参加できるよう自治体で講師を依頼し、受講できるようにしているところもあるようなので、そのようなシステムがあると大変ありがたい。	私立認可保育所
キャリアアップ研修の近場の受け入れ枠が少ないため、遠くに行くことがある。 この情勢の中もう少し近場で行えるところがほしいと思っている。	私立認可保育所
立川市主催キャリアアップ研修法人外部研修への受講を積極的に進め、職員の自己啓発を推進し評価している。	私立認可保育所
コロナ禍が促したとはいえ、オンラインによる外部研修は、時間確保の面でも有効性を感じている。 現状では講師によってオンラインへの対応力に対する差が顕著と感じている。	私立認可保育所
自園の保育の質を高めていく為に研修を通し、新しい視点を取り入れたり、学びを深めていけると思うので、積極的に受講できるようにしている	私立認可保育所
コロナ感染症拡大のため、オンラインに変更となったりや中止となってますが、キャリアアップ研修は対面での研修も行われているので、保育力と保育の向上のため積極的に参加するようにしています。都内で行われるものは子育てしながらの職員はお子さんのお迎えが間に合わないため参加しにくい	私立認可保育所
今は、コロナ禍で研修に出せませんが、オンライン研修などもあるのでなるべく参加できる方向で考えている。	私立認可保育所
職員の研修については、処遇改善の手当をつけている職員が4種類の研修を受け、1種類の研修ごとに15時間受講しなければならないので、受講時間の確保や順番等で保育の現場が手薄にならぬよう対処している。そのような関係で現在の所、研修を受けられる職員に差が出てしまっている。	私立認可保育所
地域の他の事業所とは、新型コロナウイルス感染症の拡大以前は、一緒に研修等を行っていました。	私立認可保育所
園内に研修委員会があり、年間研修計画を元に研修を実施する他、園外での研修を受講した職員の報告会も実施している。	私立認可保育所
2年続けてオンラインでの研修が多く、コロナ禍の中、仕方ないと思っていますが残念です。講師の先生から学ぶことはもちろんですが、受講している人同士の学び合いも大切です。その中でうちの園ではと話しながら研修内容の確認も出来ているのです。	私立認可保育所
人財育成の研修は率先して行いところだが、日程や人事の確保が難しいのが現状です	私立認可保育所
キャリアアップ研修の近場の受け入れ枠が少ないため、遠くに行くことがある。 この情勢の中もう少し近場で行えるところがほしいと思っている。	私立認可保育所
職員配置を調整しながらできる限り外部研修に参加させている。その後は研修内容等について園内研修を実施し情報等の共有に努めている。	私立認可保育所

研修計画に基づき、それぞれに合ったスキルアップに努めている。自主的に学びたい分野、園が必要としている分野に分けて、できる限り参加できるように現場の職員配置を調整している。その後、園内研修で情報を共有し当園としての学びにつなげている。	私立認可保育所
オンライン研修により、研修を受講しやすくなった。	私立認可保育所
キャリアアップ研修を中心に従事者の為の研修の推奨を日々行っている 行きたがらない職員に対しては、質の向上の為、自身の財産になることを伝え積極的に研修を受けることに働きかけている	私立認可保育所
業務のない日を利用しともに参加来ることによって参加へのハードルを下げていきたい。	家庭的保育事業
現在新型コロナウイルス感染防止の観点から、リモート研修が主体的になっているが、現在検討しているも、実態的に難しい面もあり、感染防止対策の徹底による研修会場での研修を実施して頂きたい。	小規模保育事業
全体数が少ないので保育士が1人研修に行く場合はどうにかできるが、複数名一緒に行かせたい時の勤務調整が難しい。	小規模保育事業
自治体による研修で、マネジメントに関するメニューを増やしてもらいたい。	認証保育所
多くの研修に参加したいが複数名重なると職員の配置人数に支障がでるため悩みの種である	認証保育所
保育内容についての研修機会はありますが、キャリアアップや人材育成の研修機会があればぜひ参加を検討したいです。	企業主導型保育事業
他の保育園との情報交換などの研修があるといろいろな面で勉強になると思います。特に小さな保育園には難しいため、市で音頭を取っていただけるとありがたいです。(各保育士、及び調理員のためのスキルアップに)	企業主導型保育事業
コロナになって、リモート研修の実施が増えたことで、研修を受ける機会が増えた。	企業主導型保育事業
参加は何でもしたいが、それができる時間と人の確保問題が足止めしている	企業主導型保育事業
コロナ禍で増えたオンライン研修は、移動の時間もいらないため参加しやすく好評。特に短い時間のものは、職員の負担にならずに学びやすい。職員間の意見、保育に関する考えを共有できる職員勉強会も質の向上に貢献していると思う。時間確保の部分で難しい面もあるが、続けていきたい。	幼稚園
たくさんの職員が同じ人から教わる研修が増えると良いと思う。 予算が決まっているので仕方ないが、もう少したくさんの研修に興味を持った職員が積極的に参加できると良い。	公立認可保育所
法人園で行っている研修への参加	公立認可保育所

■質問19 保育園、幼稚園を運営するにあたり立川市に関してのご意見ご希望等を自由にご記入ください。

今後も、立川市の子ども達の育ちを第一に政策実施を進めて下さい。	私立認可保育所
日頃よりご尽力いただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い「いつもの日常」が難しくなってから1年半以上が経ちました。皆が初めての中、保育を行う上で大変な状況が続いています。立川市の職員の皆さまも様々な対応をいただき感謝しております。また、この厳しい状況の中職員たちは「保育を必要としている方々に保育を提供していく」という立川市の考えの基、日々頑張ってくれています。最近ではワクチン接種が進む中、変異株が主になり小さなお子様の感染者も増えてきています。医療現場もひっ迫し必要な治療が受けられず悲しいニュースが多く聞かれ、いよいよ保育現場にもそのような状況が来ているのかと不安になっております。続く緊急事態宣言はあまり意味のないものとなっている状況に、是非立川市から、再度保護者の皆様に注意喚起と保育所の対応や利用についてお知らせをしていただけるとありがたいです。また、園内で陽性者が出た場合の対応や保護者の方へのお知らせ等は、各園その時になってそれぞれが考えなくてはならず、同時に色々な対応をしながら行う為とても厳しい状況だと思います。できれば立川市で各お知らせ(陽性者出た休園(全体一部)、勤務先宛等々の文面)のひな型があれば、その文章をもとに各園の状況に合わせお知らせを出すことができ、その他の各関係機関や園児保護者対応もスムーズにできると思います。まだまだ続くであろうこの状況、是非ご検討いただけたらと思います。今後も利用されているお子様や保護者の皆様の為、職員一同努力してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。	私立認可保育所
昨年度より、立川市での運営を始めているため、他市や区と比較したときに、国や東京都の補助金制度であっても申請の対象になかったり、宿舍借り上げ制度においては、利用できない状況で、人材確保がかなり厳しい状態になってます。 積極的に活用できるようにお願いしたいです 子どもの入園に際しましても、決定前に何らかの問題を抱えているお子さんまたは保護者の情報を頂き、お伺いをしていただけることは大変ありがたいと思っています。ですが、その時の園の状況を把握したうえでの園側の回答が反映されないのは運営上困るケースがありました(障がいのお子さんの入園のケース) 責任もってお預かりする体制が取れないと、全園児の安全安心につながらないと思いますので、システム的なことの見直しをお願いしたいです。	私立認可保育所
日頃から保育のみならず、あらゆる問題課題に対して、どんな時も親身に園に寄り添ってくださり、迅速な解決に対しての対策を具体的にお示しくださり、ただただ感謝のみです。安心して保育園の事業を運営することができています。本当にありがとうございます。	私立認可保育所
待機児解消対策から一転、施設によっては定員割れが生じている状況ではあるが、「年初に一定の空きがあり段階的に埋まる」というかたちは、入所月齢に達した、あるいは育休を終え乳児を預けたい保護者にとっては好ましいことであり、保育施設運営において本来の姿なのではないかと考える。 一方で安定した人材確保が難しい現状においては、年度当初より担当職員を配置せざるを得ない。 上記の「理想形」についても考慮しつつ、引き続き過員保育士に対する配慮をお願いすると共に、今後の地域人口動態も念頭に置きながら、必要によっては将来の定員減の可能性についても検討を続けたい。	私立認可保育所
立川市内の保育施設が都内の区に比べると施設数が少ないものの、事務連絡会、及び行政とのやり取りは密に実施できる利点とも捉えられる。 行政から発信している研修等にも参加する機会が多く、施設運営者として学びを継続できる環境を設定してもらっている実感がある。	私立認可保育所
日頃よりお世話になり、ありがとうございます。	私立認可保育所
コロナ感染症に関して「家庭保育の協力お願い」「感染拡大防止のためのお願い」保育園休園になるかもわからないことも含め、保護者に情報お知らせを立川市から出していきたい。立川市のホームページに関心を持ってない保護者がほとんどであるため、コロナ感染症に対する緊迫感が感じられません。家庭保育の協力は産休育休中の家庭も難しいです。	私立認可保育所

いつも大変お世話になりありがとうございます。	私立認可保育所
特にありません。保育課の方が巡回相談の時などに園の保育を見てくださいること嬉しく思います。これからもご指導や保育課の方との繋がりを大切にしていきたいと思います。	私立認可保育所
日頃より大変お世話になっております。一年半に及ぶコロナ禍の厳しい状況下ではありますが適切な対応とご指導をいただいております。感謝しております。職員のワクチン優先接種も市内の接種会場ということもあり市内保育所職員の多くが利用させていただいたことかと思ひます。これにより職員から園児への感染防止効果が高まり、日々安心安全な保育を行う上で不安感が軽減されとても良かったと思っております。今後とも宜しくお願い致します。	私立認可保育所
日頃より、大変お世話になっております。当園の運営にあたり日々の質問や相談にも丁寧な対応をしていただき、とても感謝しております。当園からの意見というよりは私個人の意見です。入園基準の調整値の件ですが、兄弟姉妹の在籍施設に申し込む際の加算点数が+1と他市に比べても少ないように思ひます。全体的にみても調整指数表の見直しがあると良いと思ひます。実際に兄弟姉妹が別々の施設に預けられている保護者の負担は、身近で見ていてとても大変に感じております。お迎えに間に合わず、そのため延長保育を利用することもあります。兄弟姉妹にとっても一緒に園に通えることが自然だと感じます。入園調整には苦慮していることは存じておりますが、どうぞご検討のほど宜しくお願いいたします。	私立認可保育所
今後も地域貢献に力を入れていきたいと考えている。	私立認可保育所
日々ご尽力いただきありがとうございます	私立認可保育所
私どもの保育にご尽力いただきありがとうございます。今後ともよろしくおねがいいたします。	家庭的保育事業
家庭的保育室がどのようなところか見学にいらしていただき、家庭的保育者の声も聞いて下さりありがとうございます。家庭的保育事業が立川市にとって推奨できるような保育を志して参りたいと思っております。また21プランのように子育てにかかわっている多方面の方からの情報、ご意見は参考になり勉強になります。	家庭的保育事業
補助金等、手厚い補助に助けられています。今後も女性活躍社会への貢献を目指して現在の事業を継続していきたいと考えています。但し、待機児童がいなくなった際の事業の在り方に不安を抱えています。	小規模保育事業
今回の保育のあり方研究会の発足は大変素晴らしい事だと思います。(今までなぜそのような会を設けないのかずっと気になっていました。)	小規模保育事業
認定書類等A4サイズの封書をいただく際、同じA4サイズの封筒での郵送をしないでいただきたい。開封時に同封されているA4封書を破損してしまう原因となり、保護者にも大変迷惑をかけてしまう。A4封書を送る時は大きいサイズの封筒での郵送をお願いします。	幼稚園型認定子ども園
保育料が無償となったため、保育料の値上げによる収入増が見込めず、園児減少も重なり、安定した経営のために補助金額の拡充を要望したい。	幼稚園型認定子ども園
認証は東京都、認可は市のものというように、どうしても分けられているように感じる。制度上の違いはあると思うが、私たちは地域の施設として取り組んでいるので、市の担当者の方も、立川市の保育施設として見て扱ってくれることを望みます	認証保育所
当保育園は0～2歳児の子どもとなるのでまだ発達段階において障害の有無など判断が難しいと感じることがある。巡回などを通して立川市と園で連携をしてその子どもに合った成長を望める環境を一緒に考えていきたい。	認証保育所
保育の質をあげるには、保育士にゆとりがなくては出来ないことを、日々の様子から痛感しております。	認証保育所

立川市の認可及び認可外と以前より多くの保育施設が増え数は充実してきたと思いますが保育の質や保護者の保育料負担（認可と認可外の保護者負担の額の違い等）の不平等感を感じる時があります。保護者はもっと感じていると思います。同じ立川市民なのに認可へ入れなく認可外を求めてきた子どもがほとんどです。一定の基準を満たした認可外保育施設には保護者負担を軽減する補助額増額等を検討していただければ、保護者は助かると思います。（他市では認可保育料と同額となるように保護者保育料負担軽減補助金を出している区、市もあります。東京都では4万まで認めていると思います。都、市で負担）	認証保育所
ご尽力いただきありがとうございます。引き続きのご指導をお願いいたします。	企業主導型保育事業
庭のない保育園のため、市内の公園を使用させていただいています。犬や猫の汚物が砂場に多く、又、草木が生い茂り、背の低い乳幼児は埋まってしまう状態の時もあります。市役所の係へ連絡して片付け等をすぐして頂き、大変有難く助かりました。ありがとうございました。欲を言えば定期的に公園の清掃等をしていただければと大変助かります。恐縮ですがよろしく願いいたします。	企業主導型保育事業
立川市内の待機児を減らすために、地域枠の0～2歳児は、立川市在住のお子さまのみ対象としている。企業主導型保育所ではありますが、設置企業の理解もあり、今後も地域貢献に力を入れていきたいと考えている	企業主導型保育事業
立川市というより保育全体としてまた社会全体の風潮、方向性にこの業界も沿っていけるような仕組みや保育士さんが学べる時間の確保。まずは保育士さんの質を上げれば必然的に教育の質があがるがそこが抜けている※園レベルになっている。運営者レベルというか。それに評価制度を設ける等	企業主導型保育事業
立川市内の待機児を減らすために、地域枠の0～2歳児は、立川市在住のお子さまのみ対象としている。企業主導型保育所ではありますが、設置企業の理解もあり、今後も地域貢献に力を入れていきたいと考えている。	企業主導型保育事業
今回のアンケート調査に基づく、立川市の指針や各施設の考え方など参考にさせて頂きたい。	幼稚園
全般に保育園関係と同様の対応を、幼稚園でも進められることを望む。	幼稚園
「気になる子」に対しての支援、研修等とても充実していると感じる。巡回相談等で来ていただく職員の方々もとても親身に細かく連絡をしていただいています。	幼稚園
年々、障がい児（程度も重い）、気になる子が増えている中、法人園から公立園への転園も増加し、ドリーム学園や子家センの利用者も増加している。市の北部にも、障がい児を対象にした施設が必要だと感じる。	公立認可保育所

立川市の保育のあり方検討（運営法人）アンケート 結果

1. 調査目的

立川市内で保育事業を運営されている保育施設や幼稚園の事業所ならびに運営法人を対象に、園の状況や運営上の課題、今後の見通し等について調査し、立川市の保育のあり方検討委員会での参考資料にすることを目的とする

2. 調査対象

立川市内の保育事業所・幼稚園

3. 調査実施期間と調査方法

令和3年8月24日から9月8日までの期間で、調査票を郵送及び電子メールにて配布し、用紙に直接記入し持参、郵送、または、電子データによる回答を求めた。

4. アンケート回収状況

(単位:部、%)

配布数	回答数	回収率
55	43	78.18%

※対象事業者種別内訳	
社会福祉法人	17
学校法人	12
営利法人(株式会社等)	16
特定非営利活動法人	2
一般社団法人	1
合同会社	1
個人	6
合計	55

5. 調査内容

○事業所の建設年月や更新計画等について	P1～5
○事業所運営の今後の見通しについて	P6
○人材確保方策等について	P7
○今後10年程度の事業所運営の見通しについて	P8～9
○認定こども園への移行について	P10～11

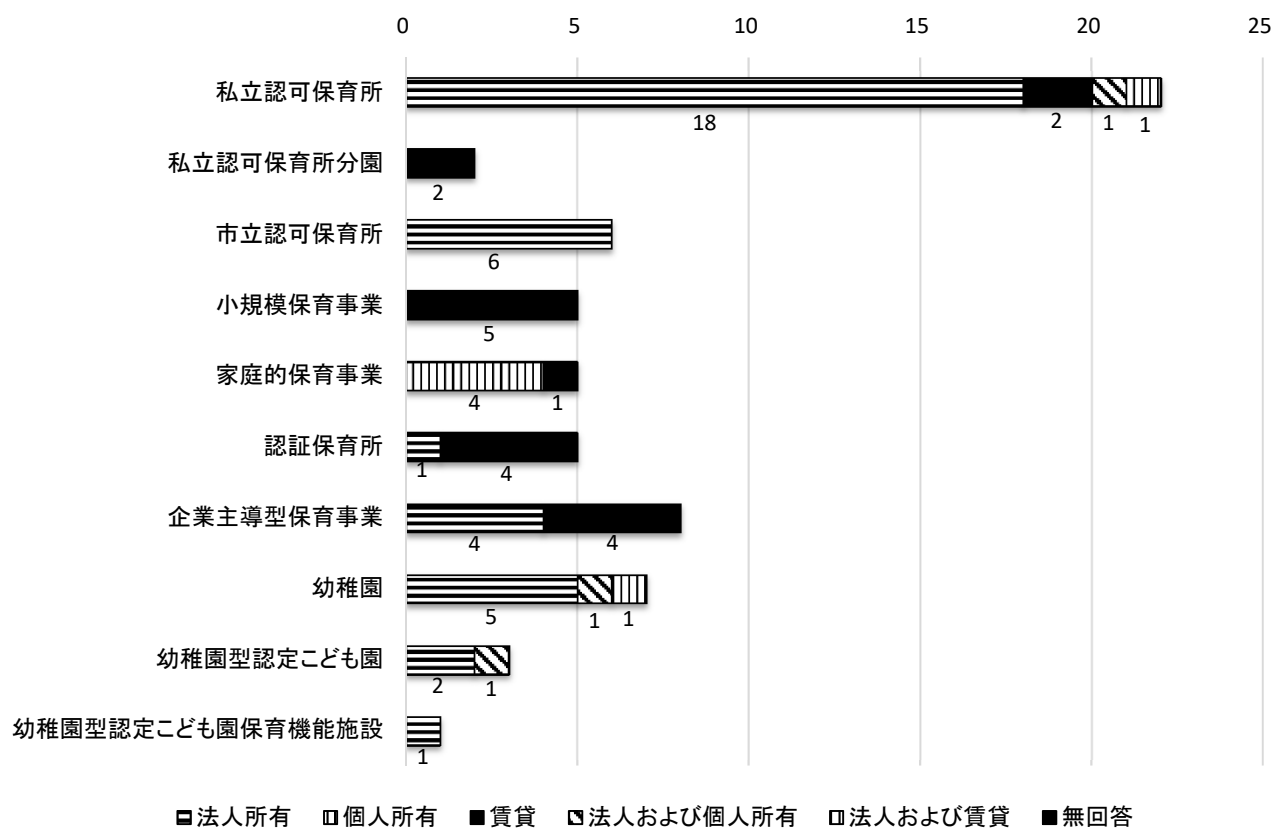
○【事業所の建設年月や更新計画等について】

質問 4

立川市内で運営している下記種別の事業所について、その建物の所有権や建設年月・賃貸開始年月をご回答ください。また、今後、大規模修繕や建替えの予定がある場合は、時期等をご回答ください。予定がない場合は「予定なし」、計画未定の場合は「未定」とご回答ください。

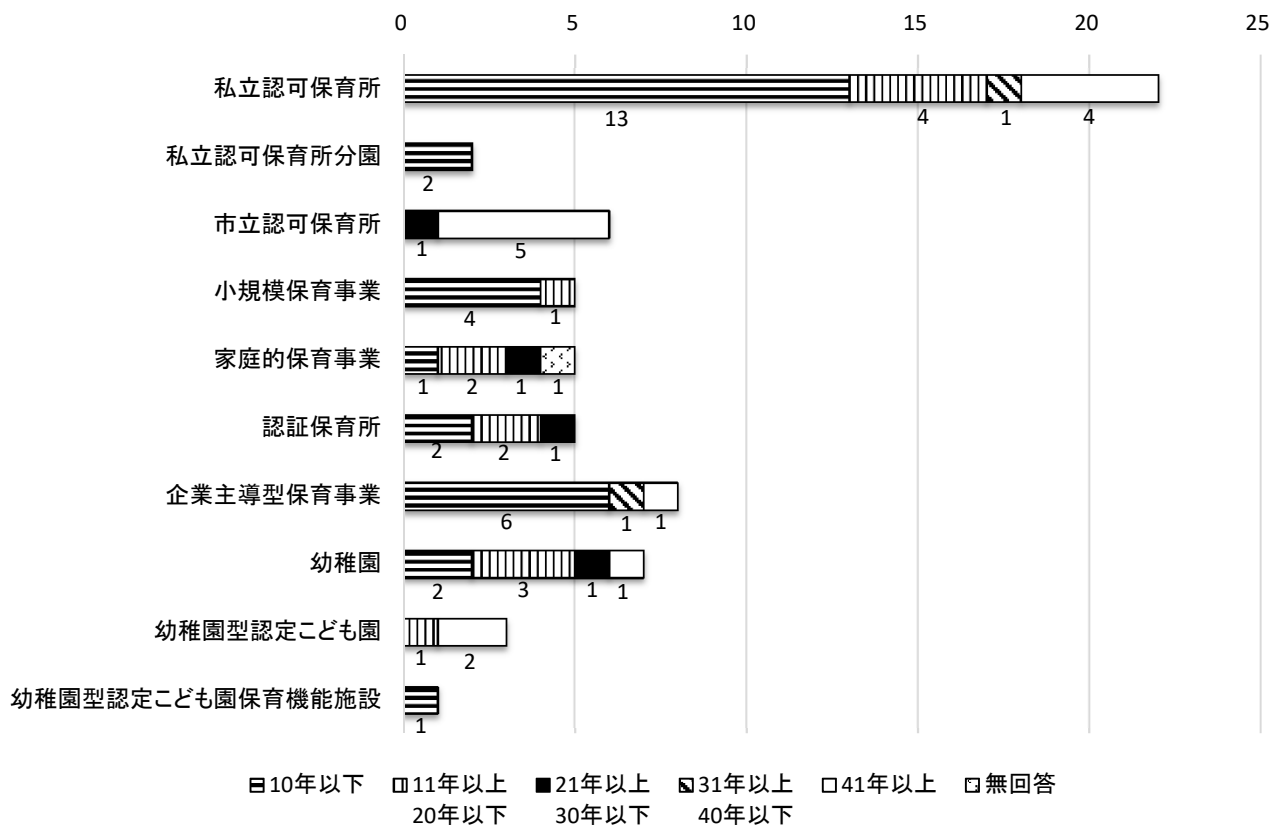
回答施設数 = 64施設

建物の所有



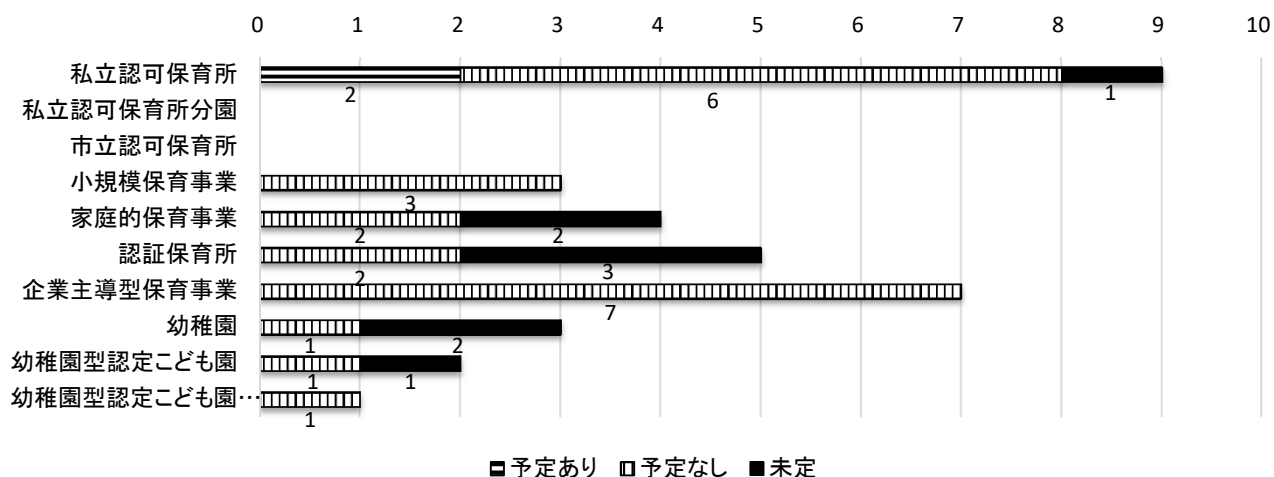
事業種別	建物の所有					
	法人所有	個人所有	賃貸	法人および個人所有	法人および賃貸	無回答
私立認可保育所	18		2	1	1	
私立認可保育所分園			2			
市立認可保育所	6					
小規模保育事業			5			
家庭的保育事業		4	1			
認証保育所	1		4			
企業主導型保育事業	4		4			
幼稚園	5			1	1	
幼稚園型認定こども園	2			1		
幼稚園型認定こども園保育機能施設	1					

建設年数

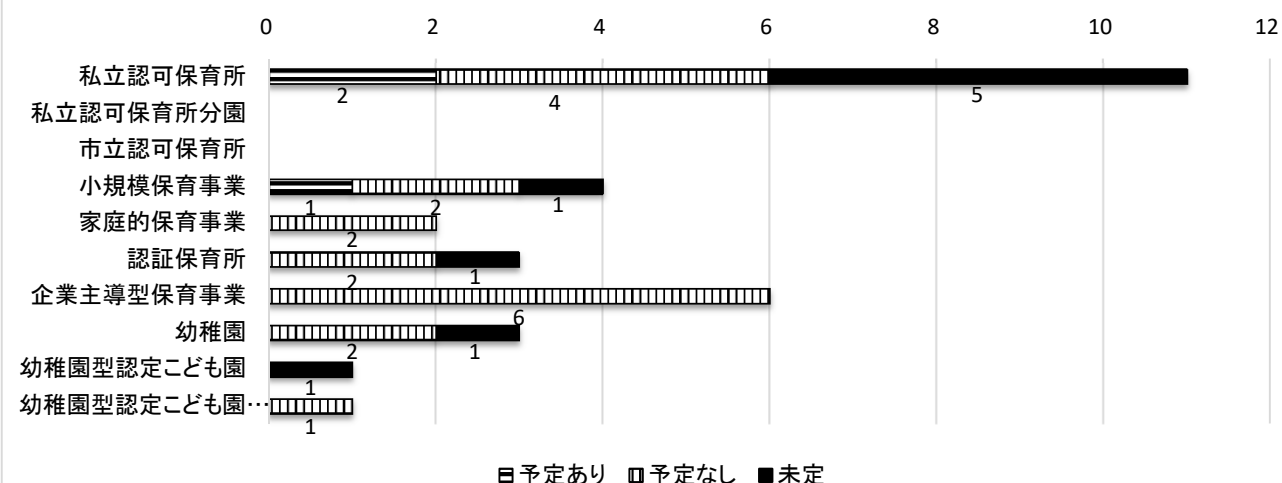


事業種別	建設年数					
	10年以下	11年以上20年以下	21年以上30年以下	31年以上40年以下	41年以上	無回答
私立認可保育所	13	4		1	4	
私立認可保育所分園	2					
市立認可保育所			1		5	
小規模保育事業	4	1				
家庭的保育事業	1	2	1			1
認証保育所	2	2	1			
企業主導型保育事業	6			1	1	
幼稚園	2	3	1		1	
幼稚園型認定こども園		1			2	
幼稚園型認定こども園保育機能施設	1					

修繕



改築

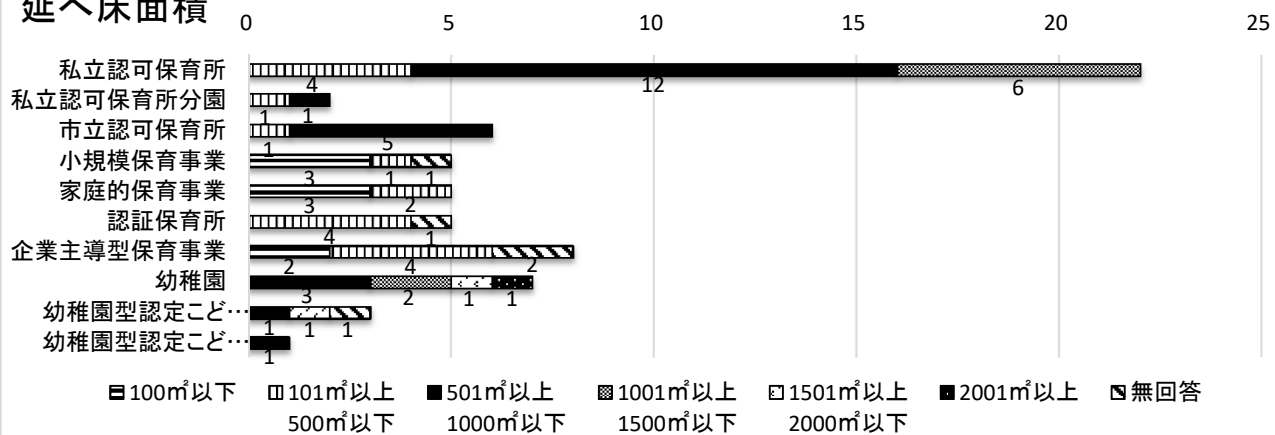


事業種別	修繕			改築		
	予定あり	予定なし	未定	予定あり	予定なし	未定
私立認可保育所	2	6	1	2	4	5
私立認可保育所分園						
市立認可保育所						
小規模保育事業		3		1	2	1
家庭的保育事業		2	2		2	
認証保育所		2	3		2	1
企業主導型保育事業		7			6	
幼稚園		1	2		2	1
幼稚園型認定こども園		1	1			1
幼稚園型認定こども園保育機能施設		1			1	

施設の建設後の経過年数について、回答数64施設のうち約半数(31施設、48.44%)は10年以下となっているが、31年以上経過している施設が約4分の1(15施設、23.44%)を占めている。31年以上の私立認可保育所の5施設のうち1園は建て替え中であるが、残り4園については未定である。また、市立認可保育所6園のうち5園は建設後41年以上経過しているが、建替え計画は未定である。幼稚園、幼稚園型認定こども園の41年以上の施設の建替えについても、予定しているものはない。

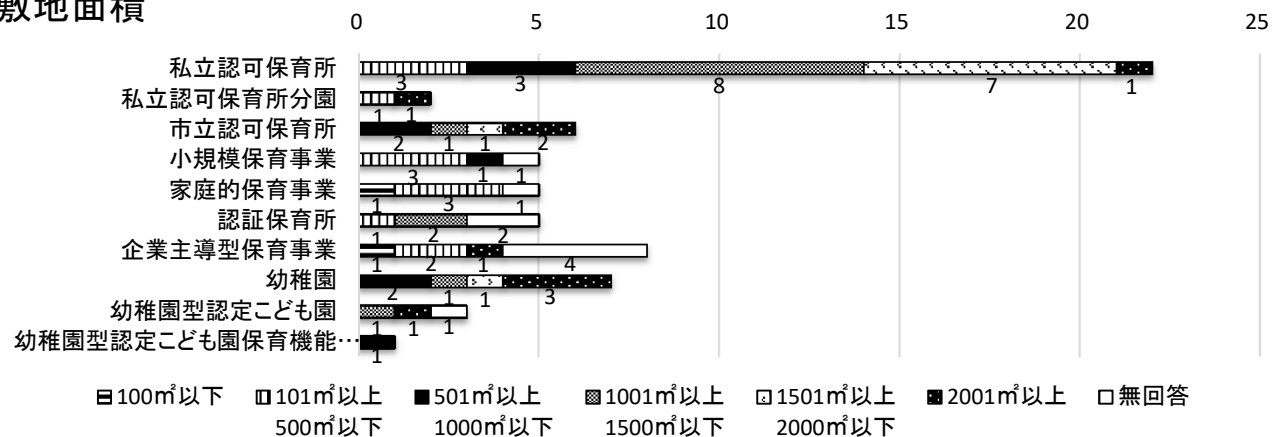
※一施設で、修繕と改築を両方回答している場合がある。

延べ床面積



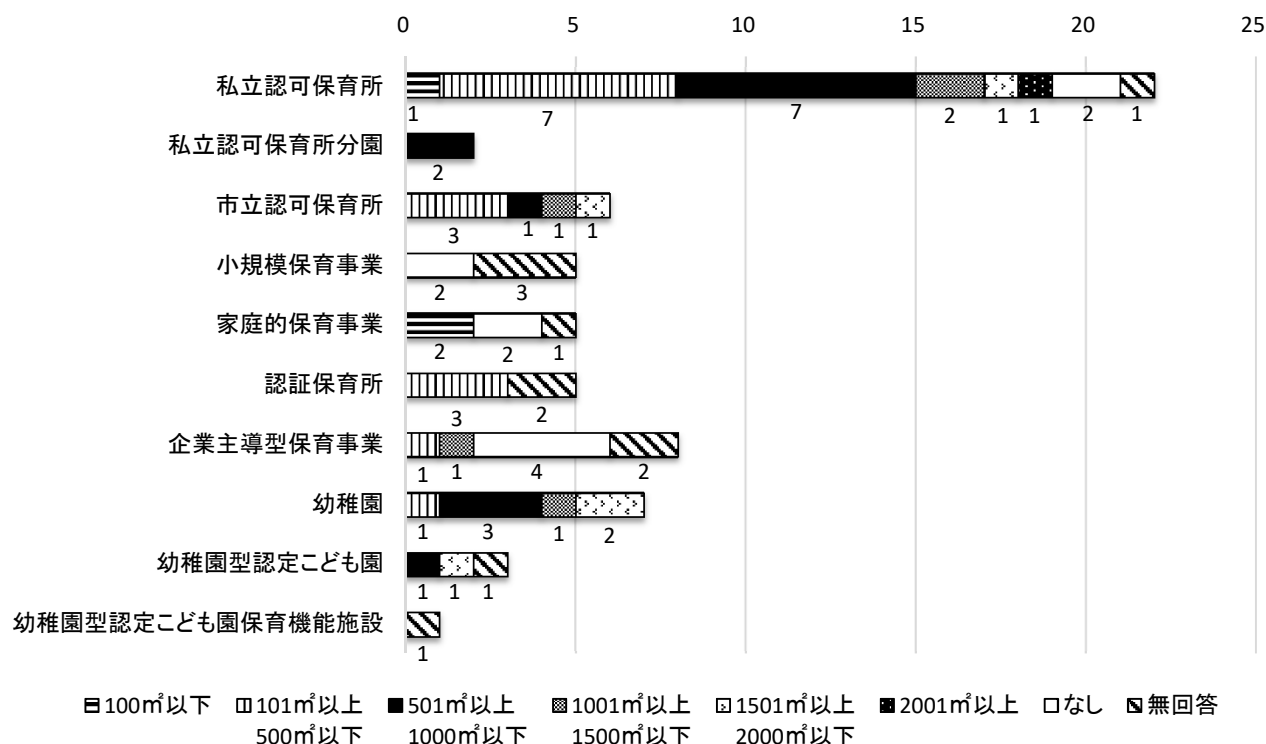
事業種別	延べ床面積						
	100㎡以下	101㎡以上 500㎡以下	501㎡以上 1000㎡以下	1001㎡以上 1500㎡以下	1501㎡以上 2000㎡以下	2001㎡以上	無回答
私立認可保育所		4	12	6			
私立認可保育所分園		1	1				
市立認可保育所		1	5				
小規模保育事業	3	1					1
家庭的保育事業	3	2					
認証保育所		4					1
企業主導型保育事業	2	4					2
幼稚園			3	2	1	1	
幼稚園型認定こども園			1		1		1
幼稚園型認定こども園保育機能施設			1				

敷地面積



事業種別	敷地面積						
	100㎡	101㎡	501㎡	1001㎡	1501㎡	2001㎡	無回答
私立認可保育所		3	3	8	7	1	
私立認可保育所分園		1				1	
市立認可保育所			2	1	1	2	
小規模保育事業		3	1				1
家庭的保育事業	1	3					1
認証保育所		1		2			2
企業主導型保育事業	1	2				1	4
幼稚園			2	1	1	3	
幼稚園型認定こども園				1		1	1
幼稚園型認定こども園保育機能施設			1				

園庭面積



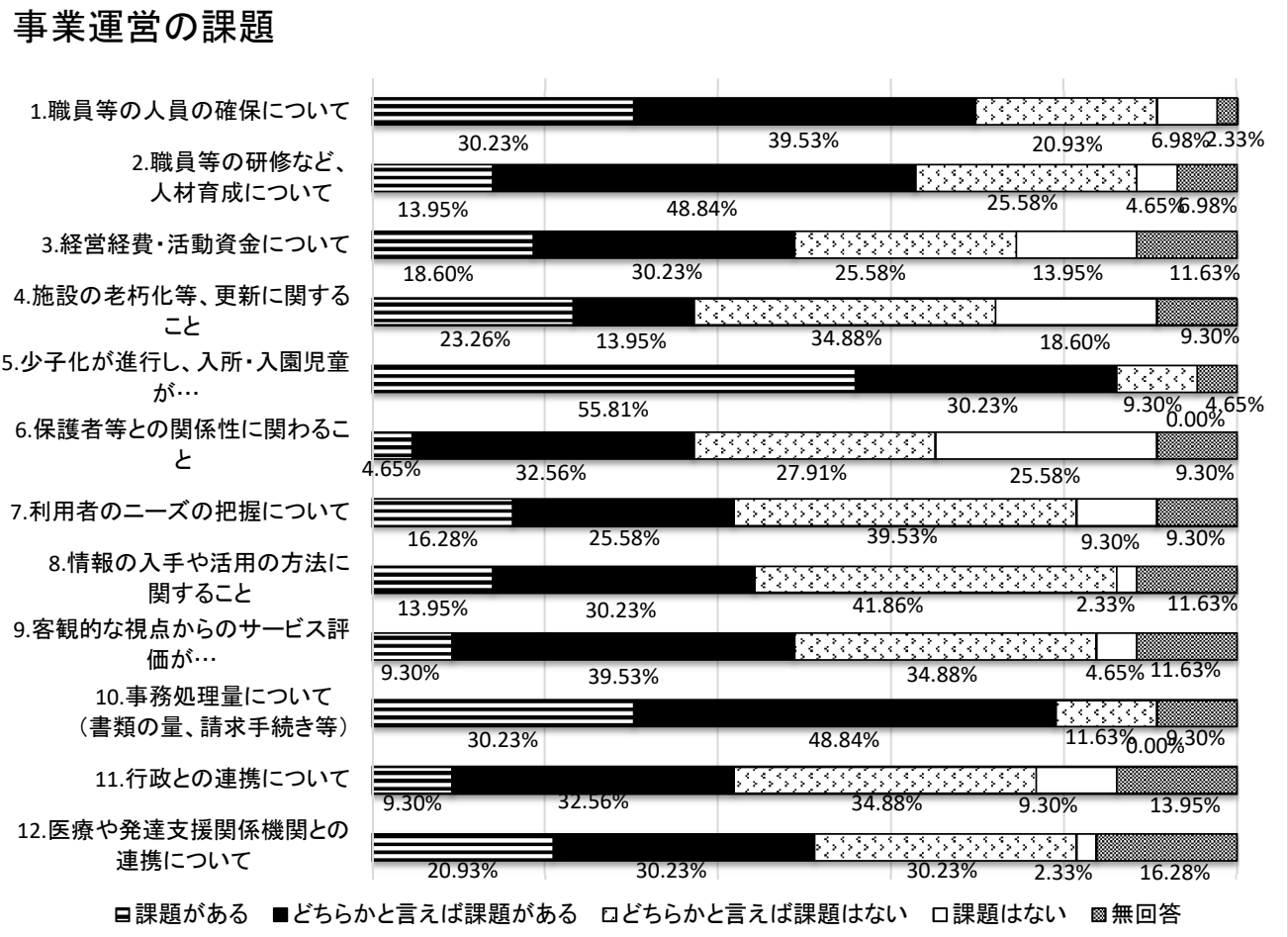
事業種別	園庭面積							
	100㎡	101㎡	501㎡	1001㎡	1501㎡	2001㎡	なし	無回答
私立認可保育所	1	7	7	2	1	1	2	1
私立認可保育所分園			2					
市立認可保育所		3	1	1	1			
小規模保育事業							2	3
家庭的保育事業	2						2	1
認証保育所		3						2
企業主導型保育事業		1		1			4	2
幼稚園		1	3	1	2			
幼稚園型認定こども園			1		1			1
幼稚園型認定こども園保育機能施設								1

延べ床面積では、500㎡以下の施設が約4割（25施設、39.06%）となっている。

園庭については、園庭がないと回答した施設が、私立認可保育所では2施設、小規模保育事業所は2施設、家庭的保育事業所は2施設、企業主導型保育事業所4施設となっている。また園庭面積は、1000㎡以下の施設が、5割（32施設、50.00%）となっている。

○【事業所運営の今後の見通しについて】

質問6 事業の運営にあたり、課題であると考えていることは何ですか。
該当する項目に○をつけてください。



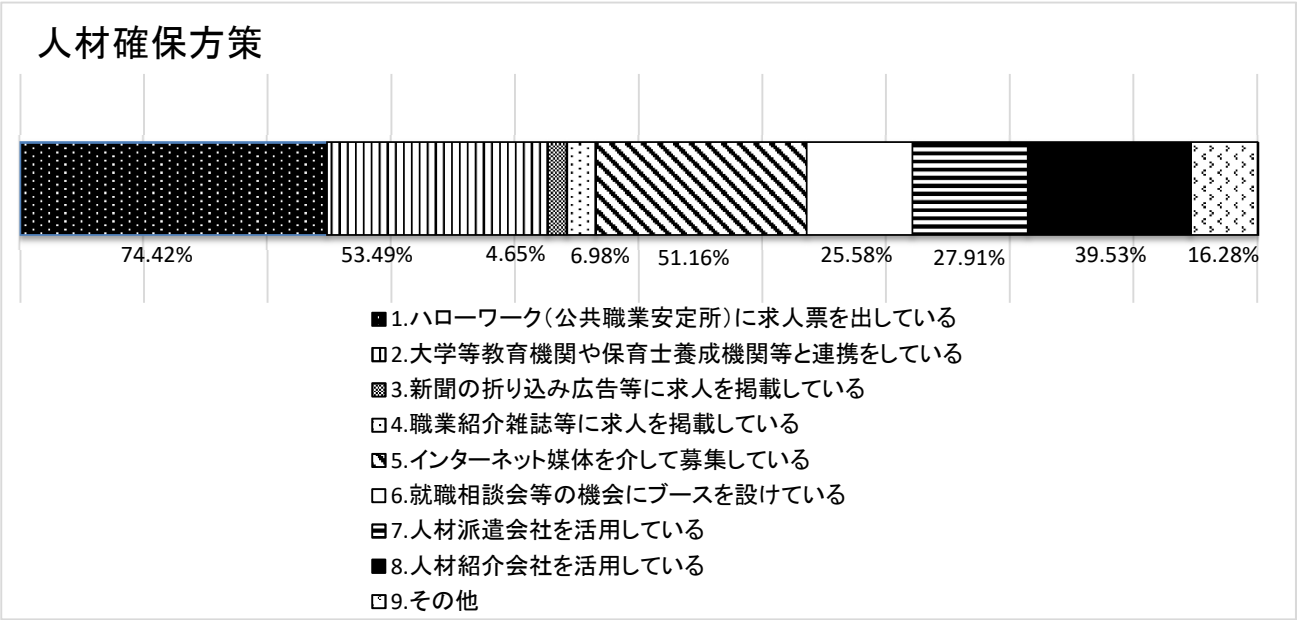
単位：事業者

選択項目		課題がある	どちらかといえ ば課題がある	どちらかといえ ば課題はない	課題はない	無回答
1	職員等の人員の確保について	13	17	9	3	1
2	職員等の研修など、人材育成について	6	21	11	2	3
3	経営経費・活動資金について	8	13	11	6	5
4	施設の老朽化等、更新に関する こと	10	6	15	8	4
5	少子化が進行し、入所・入園児童が減少する状況が見込まれること	24	13	4	0	2
6	保護者等との関係性に関わる こと	2	14	12	11	4
7	利用者のニーズの把握について	7	11	17	4	4
8	情報の入手や活用の方法に 関すること	6	13	18	1	5
9	客観的な視点からのサービス評価が 難しいこと	4	17	15	2	5
10	事務処理量について（書類の量、請求 手続き等）	13	21	5	0	4
11	行政との連携について	4	14	15	4	6
12	医療や発達支援関係機関との 連携について	9	13	13	1	7
13	その他	人件費高騰と人手不足、 今後の園運営について、施設の老朽化				

「5. 少子化が進行し、入所・入園児童が減少する状況が見込まれること」については、37件、86.04%の運営事業者が「課題がある」もしくは「どちらかといえば課題がある」と感じている。
「10. 事務処理について」では、34件、79.07%が「課題がある」もしくは「どちらかといえば課題がある」と感じている。
「1. 職員等の人員の確保について」では、30件、69.76%が「課題がある」もしくは「どちらかといえば課題がある」と感じている。

○【人材確保方策等について】

質問 8 従事者の募集はどのように行っていますか。（○はいくつでも）

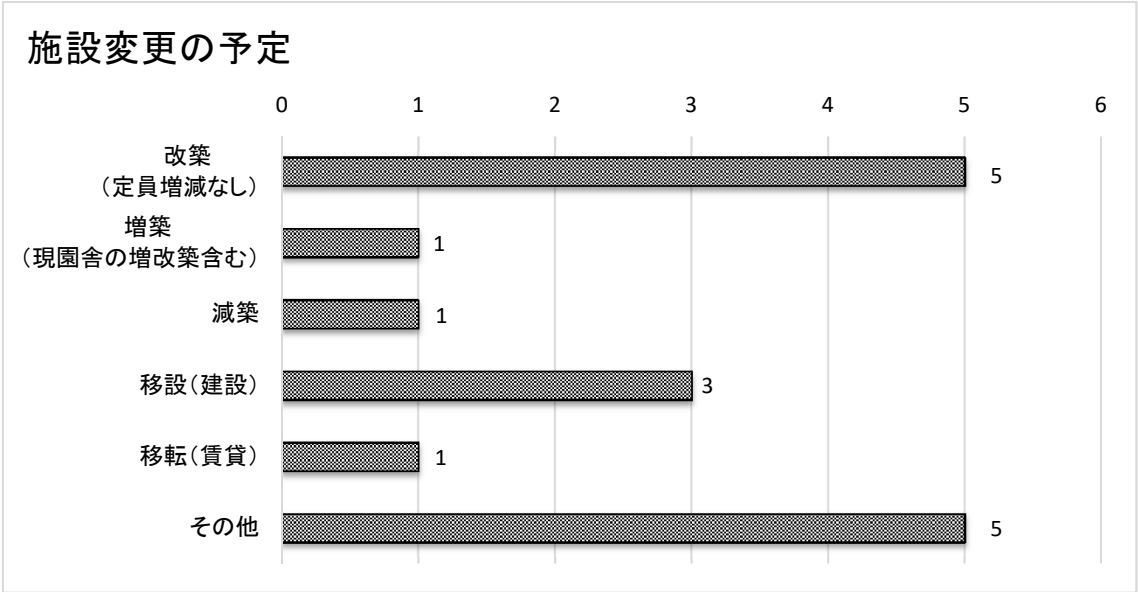


選択項目		回答数
1	ハローワーク（公共職業安定所）に求人票を出している	32
2	大学等教育機関や保育士養成機関等と連携をしている	23
3	新聞の折り込み広告等に求人を掲載している	2
4	職業紹介雑誌等に求人を掲載している	3
5	インターネット媒体を介して募集している	22
6	就職相談会等の機会にブースを設けている	11
7	人材派遣会社を活用している	12
8	人材紹介会社を活用している	17
9	その他	7

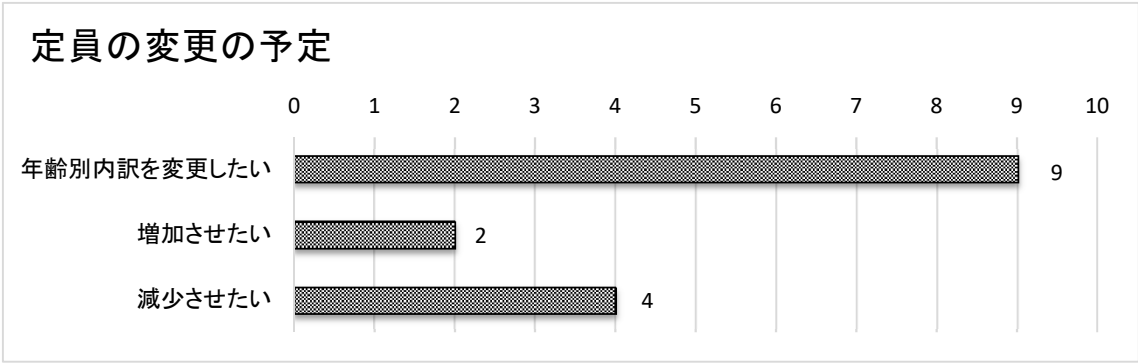
従事者の募集については、「1. ハローワーク（公共職業安定所）に求人票を出している」（74.42%）、「2. 大学等教育機関や保育士養成機関等と連携をしている」（53.49%）、「5. インターネット媒体を介して募集している」（51.16%）が主な手法となっている。「9. その他」の例としては、実習生に働きかけている、職員の知人などの紹介、掲示板や保育士募集のチラシ等によるものがあつた。

○【今後１０年程度の事業所運営の見通しについて】

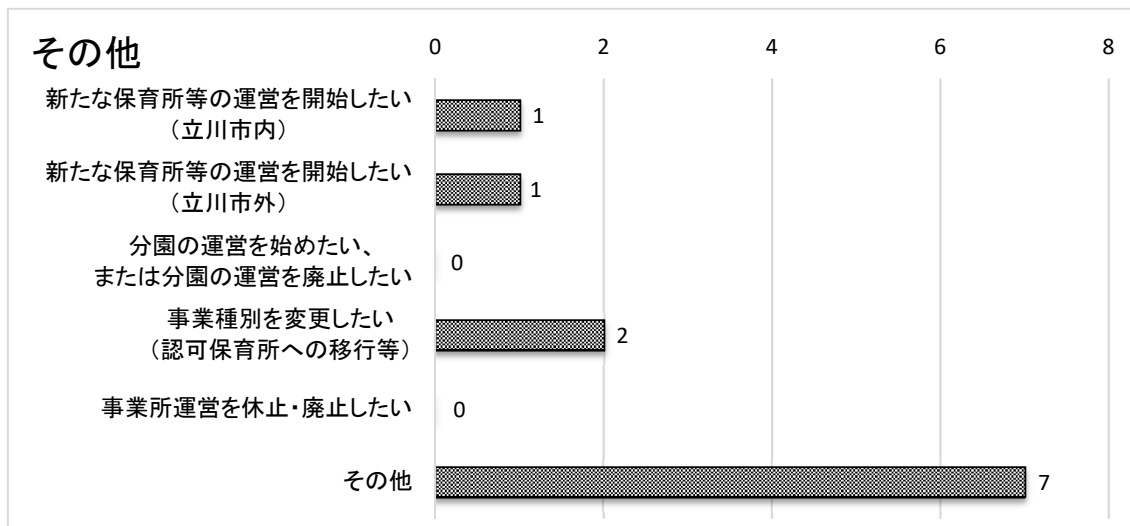
質問１０ 今後１０年程度の事業所運営について、どのように考えていますか。下記の項目から該当するものを選択してください。（○はいくつでも）



選択項目		回答数
現在の施設について（賃貸の場合は移転などの予定がある場合、選択してください）		
1	変更する予定がある（該当するものに○を付けてください。）	
	改築（定員増減なし）	5
	増築（現園舎の増改築含む）	1
	減築	1
	移設（建設）	3
	移転（賃貸）	1
	その他	5



現在の定員について		
2	年齢別内訳を変更したい	9
3	増加させたい	2
4	減少させたい	4



その他		
5	新たな保育所等の運営を開始したい（立川市内）	1
6	新たな保育所等の運営を開始したい（立川市外）	1
7	分園の運営を始めたい、または分園の運営を廃止したい	0
8	事業種別を変更したい（認可保育所への移行等）	2
9	事業所運営を休止・廃止したい	0
10	その他	7

全体的には、建設年数が古い施設を中心に改築などの予定がある。

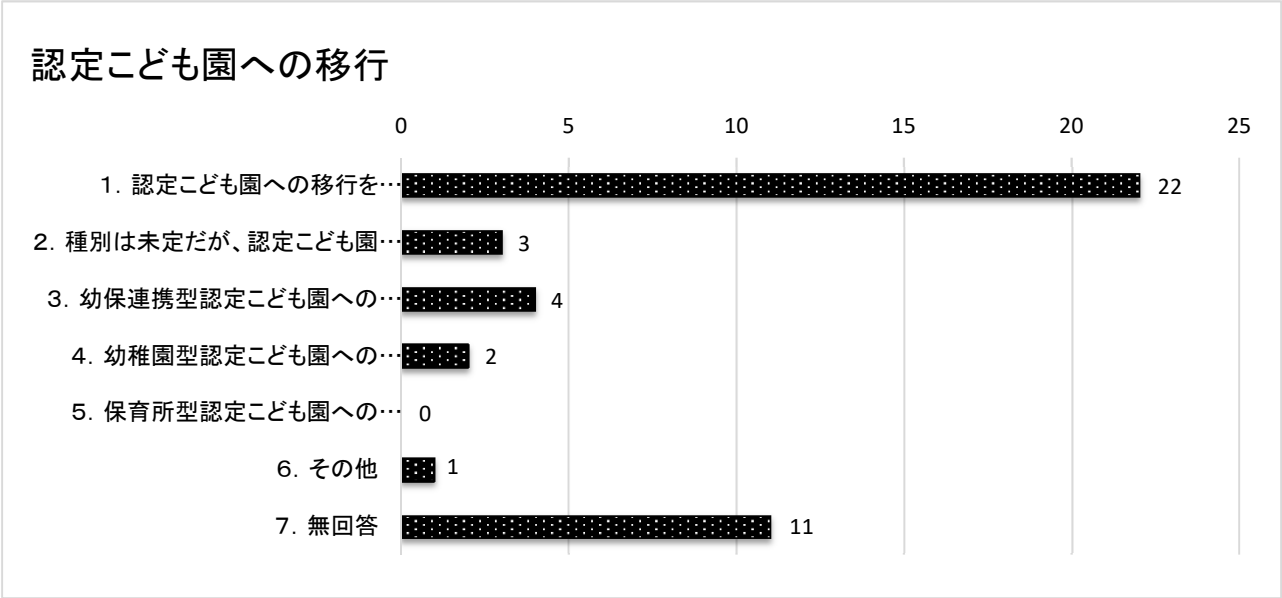
現在の定員については、「2. 年齢別内訳を変更したい」、「3. 増加させたい」「4. 減少させたい」を予定している運営事業者が15か所ある。

また、認可保育所への移行を希望している施設が2施設ある。

その他の具体例としては、「建替えを希望しているが、現地で建替えが難しい場合は移転も視野に入れて検討する」、「ニーズが増えてきたら考えたい」、「建替えかリフォームのいずれかを検討する」等の回答があった。

○【認定こども園への移行について】

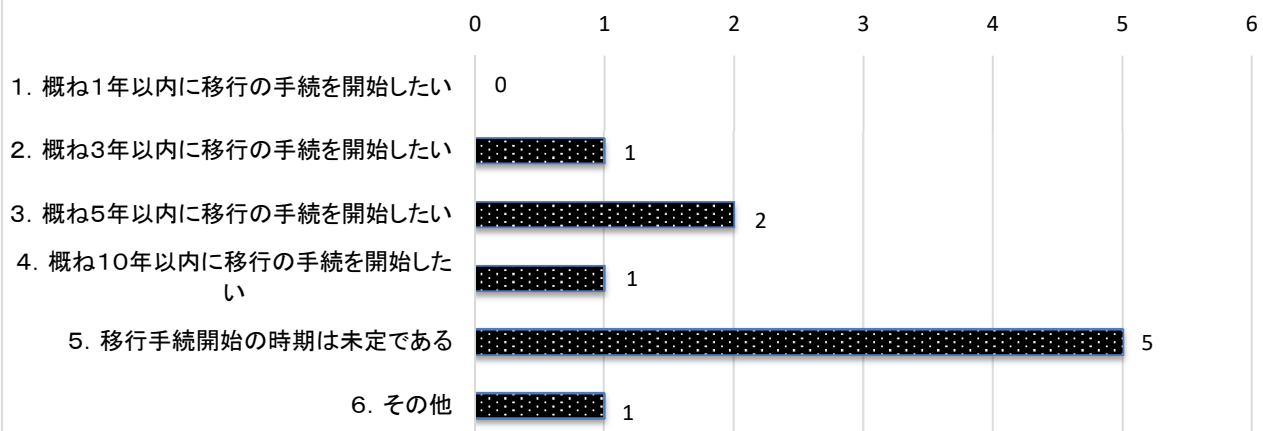
質問 1 2 認定こども園への移行について、下記の項目から該当するものを選択してください。



選択項目		回答数
1	認定こども園への移行を行う考えはない	22
2	種別は未定だが、認定こども園への移行を検討している	3
3	幼保連携型認定こども園への移行を検討している	4
4	幼稚園型認定こども園への移行を検討している	2
5	保育所型認定こども園への移行を検討している	0
6	その他	1
7	無回答	11

質問 1 3 質問 1 2で「認定こども園への移行を検討している」と回答した場合は、その時期について、下記の項目から該当する項目を選択してください

認定こども園への移行の時期



選択項目		回答数
1	概ね1年以内に移行の手続を開始したい	0
2	概ね3年以内に移行の手続を開始したい	1
3	概ね5年以内に移行の手続を開始したい	2
4	概ね10年以内に移行の手続を開始したい	1
5	移行手続開始の時期は未定である	5
6	その他	1

種別や時期はそれぞれだが、認定こども園への移行を検討しているとの回答が9件あった。その他の回答の具体例については、いずれ園への入園希望者が少なくなったら移行したい、という回答があった。

立川市保育のあり方検討（運営法人）

アンケート 結果

自由記述欄

※明らかな誤字、脱字は修正しています。

※「特になし」やそれに類する回答は除外しています。

※個人名や園名等は伏せています（下線を引いてあります）。

※内容が複数の分類にまたがる場合、文章や項目が分かれていれば
それぞれの分類、分かれていなければ主な分類で整理しています。

目 次

■質問5 施設の更新等について自由にご記入ください。……………	P1
■質問7 上記(質問6)以外の事業の運営にあたり課題であると考えていることを自由にご記入ください。…	P2
■質問9 従事者の募集についてのご意見等を自由にご記入ください。……………	P4
■質問11 今後10年程度の事業所運営の見通しについてのご意見を自由にご記入ください。・	P6
■質問14 認定こども園への移行等について自由にご記入ください。……………	P8
■質問15 立川市の保育事業に対するご意見、ご希望等を自由にご記入ください。……………	P9

■質問5 施設の更新等について自由にご記入ください。

大規模最修繕の予定はないが、保育がしやすいよう部分的な改善は予定している。	家庭的保育事業
令和7年度を目途に経営者を交代する予定だが、詳細は未定。	家庭的保育事業
本来賃貸住宅で保育事業をできるところは極めて少ないと考えています。働くお母さん達が大切なお子さんを預ける際、0～2才児については、我が家のような実家庭に近い保育所が望ましいと考え、自宅で保育をできるような、安全安心で家庭的な保育所を営みたいと考えており、また、賃貸ということもあり、特に施設の更新は検討していません。	小規模保育事業
〇〇保育園の園舎は都営住宅団地の1階にあり、建物の築年数は42年が経過している。 老朽化により園舎内の水道管やガス管が劣化しており、2階居室部分から園内への水漏れがあるなど、毎年のように補修が必要となっている。 この数年は、年度当初から定員割れの状況にあり、園のある〇〇町〇丁目地域は子どもの人口減少により将来は保育需要がなくなることが予想される。 保育の存続が難しいと予測される状況下で、施設整備のために貴重な財源や時間を割くのではなく、別の地域に移転をして新園舎で事業を継続することを検討したい。	認可保育所
新園舎建替えが民営化受託の条件となっていたため、令和2年度より着工し令和4年10月の完成を目指し、現在工事中です。	認可保育所
〇〇保育園の土地は、都営住宅敷地として都より使用許可（無償）されたものである。鉄筋コンクリート5階建ての一階部分にあたる。〇〇団地の建て替え工事が平成25年頃から進められている一昨年前は移設予定の候補地の話もあったが、現在はオリンピック開催、新型コロナウイルス感染により、都営の建て替え工事や移り住みの現状も2年・3年と遅れているということ。又、エレベーター付きの19号棟は、〇〇団地内最後の着手とのこと。（都の担当者とも確認が取れている） 今後も、都や市と確認を取りながら都営住宅の建て替え進捗に合わせて、建て替えを進めていくことになるであろう。	認可保育所
公立時代からの建物が老朽化しているため、大規模修繕を2.3年後に向けて検討を始めた。時期等は、まだ具体的ではないが立川の情勢や法人の意向が固まり次第動き出したい気持ちはある。	認可保育所
2年に1回更新手続きがある。	家庭的保育事業
園舎建替えを検討中だが資金面を考えると、リフォーム修繕での対応となるかもしれない。幼稚園にも老朽化による建替えの補助金を検討してほしい。	幼稚園型認定こども園
立川市〇〇町で移転を希望しております。条件に合う物件が見つからないのが現状です。	企業主導型保育事業
・〇〇園 隣接する土地を入手したので、増築などの予定あり ・〇〇保育園 隣地を購入または借りられたら、園庭を広くしたり、乳児棟なども増築したい	幼稚園 認可保育所 認証保育所 企業主導型保育事業
旧園舎を建て替えた1970年から50年以上経ち（2012年耐震工事）機能的理想的遊戯空間、時代に合った豊かな情操教育の空間を考えると建て替え時期	幼稚園型認定こども園
今年度点検を行っております。一部修繕を実施予定。10年以内には大規模修繕を予定しています。	認可保育所
2011年に無認可保育園として開園し、翌年の2012年4月に立川市の新規保育事業「グループ保育」として補助を頂くようになりました。2015年に小規模保育事業A型として認可を頂き現在まで順調に運営しています。 現保育施設は建物を借りた時にはすでに10年使用の建築物でした。その施設を改修工事して保育施設としています。保育室としても10年を経過し老朽化もあり、子どもの快適な環境に改修工事を数年前から考えておりますが、資金面でのこと等があり前に進まないのが現状です。大家さんとの交渉も含め改修を考えています。	小規模保育事業

■質問7 上記(質問6)以外の事業の運営にあたり課題であると考えていることを自由にご記入ください。

5. 認知度が低いこともあり、入園児童の減少の不安はあるが家庭的保育を知っていただく努力を継続していきたい。8. 研修会には積極的に参加しているが専門的なこと(今であればコロナ禍での保健的な対応等)の情報は収集していきたい。12. 現在連携園の看護師に相談させていただいているが専門的な機関との連携があるとより一層お子さんへの対応が明確になると感じる。	家庭的保育事業
一時支援保育は設定されているが、実際には1か月以上前に申し込みが必要であったり、利用料が高かったりと利用しづらい。 健康診断は連携園に伺わなければならないが、時間が午睡時間とかぶっていて、支度して園につくまでの時間も入れるとかなり難しくなってしまうこともある。歯科検診ははまだ利用できないので、善処してほしい。 発達相談など、定期的に訪問があり継続的にみていただける方策があればと思う。 家庭的保育支援加算が早く計上されて欲しい。	家庭的保育事業
現在、コロナウイルス感染者が増大し、保護者等にも感染が確認されている状況です。法人として感染症対策として具体的な方針や対応を示し各運営園での保育を行っていますが、自治体や地域性、園舎構造の違いによる差も生じています。〇〇保育園の対応策の前提として立川市としての明確なガイドライン等を作成して頂くことが今後不可欠であると考えます。	認可保育所
保育所の数が多くなり、保護者が保育所を選ぶことが出来るという事はとても良いと思う。それぞれの園の特徴や理念を理解した上での入園になるので、大きな問題がなくなっている様に感じる。ただし、最近近隣の市に引越をした家庭の園児がすぐに転園となり、空きが出ることが多くなった。今後の課題は定員割であると考えている。	認可保育所
無償化になったことにより、2歳児クラスから3歳児クラスへの進級をきっかけに幼稚園に転園するケースがここ数年続いている。又、少子化問題や近隣にも保育園施設が増えたことや育休制度の充実から0歳児クラスのニーズよりも1歳児クラスの希望が増えているが環境改善ができない現状がある。昨年から定員割れをしているが、選ばれる園になるように努めていきたい。	認可保育所
23区内では顕著化してきているが、今後、立川市においても待機児童が解消や少子化等により、小規模保育園の存在価値が減少し欠員が多くなる時期が来ると考えております。現に23区内においては小規模保育園の閉園が現実に行われており、これについては保育業界全体の課題として存在しているため、今後、立川市様はどのような支援やサポート等を行っていただけるかをお聞きできれば幸いです。	小規模保育事業
認可外保育施設として長く運営してきて毎年不安に思う事があります。来年度の募集時期が来ると来年は何人認可へ移行し、何人認可へ行けなかった子が残り何人入園してくるのか前もって人数の見通しがたらず(確定するのは認可発表後3月半ば)経営に負担を感じます。又よりよい保育の質の向上のための前もっての長短期計画が立て辛く投資面にも躊躇しがちです(その場の対応になりがち)さらにコロナ禍が落ち着いた状況の中、出産を控える世帯が多くなり今年度0歳児の入園が激減し、来年度は0歳児1歳児においても園児数の激減が予想されかねないため経営に影響大のため非常に危惧しています。	認証保育所
企業主導型保育施設を運営しております。園児の募集から始まり、保育の関わる全ての業務について対面で相談できる機関がありません。地域の子どもをお預かりする施設として、園児の募集や紹介なども連携していただき、今後の少子化に向けて、安心して運営していける体制が欲しいと考えております。	企業主導型保育事業
企業主導型ですが、規則や利用が公立私立との間にあり、しほりがある割には保証がないので仕訳が難しい部分があります。3歳までの預かりなのでそれ以降の幼稚園や保育園との連携など保育全体を通しての仕組みが欲しい。その他予算や働き方など課題が山積みだと保育業界は特に感じるが多い	企業主導型保育事業

保育士不足に、お元気なシニア(男女)の活用をさらにすすめたい。	幼稚園 認可保育所 認証保育所 企業主導型保育事業
保護者の子育てについて、どのように援助していったら良いか迷っており、保護者が子育てが楽しめるような援助ができると良いと感じています。	認可保育所
処遇改善等加算がいつまで続くのか、廃止になった場合、そのギャップをどのようにうめたらよいか、宿舍借上支援事業も廃止になった場合どのようにしたらよいか思案しています。 今後少子化傾向であり事業継続していく為に様々な角度から検討していかなければならないと考えております。 定期的新卒者の採用はできていますが、マネジメント層の育成が課題になっています	認可保育所
当園は、健常の方もハンディのある方も「共に生きる」を理念として、子育て支援を行っています。 地域の方々が集まれる場所・卒園しても気楽に立ち寄れる場所として、青空市や〇〇まつりなどの地域支援活動を行っています。 産後のストレスや育児相談などの受け入れ・子育て世代の方々のリフレッシュや悩みを相談できる場として、ベビーマッサージやアロママッサージを開催しています。 ハンディのある方や高齢者の方々を含めたどなたでも参加できる「臨床美術」を取り入れた地域支援活動もを行っています。 今後の課題として、平日も行っていきたいとの要望に応え充実していくために、沢山の方を常に受け入れられるような施設改修を望んでいます。	小規模保育事業

■質問9 従事者の募集についてのご意見等を自由にご記入ください。

ギリギリで余裕がなく、支払える給与に限界がある	認証保育所
職安や教育機関へ募集を出すのも良いと思うが、できれば地域内で人材バンクがあると良いと思う。短期だけの保育補助が必要な場合もあり、何度か来てもらったことのある人に保育に入ってもらう（調理でも）ことは力強い。また保育の資格を持つ人が短期や短時間で仕事をしたい場合も多くあると思う。市で保育園の補助人材もある程度確保されていると思うので、利用したいと思う。	家庭的保育事業
数の確保はそれほど難しくないが保育士としての資質、経験のある人材の確保が難しい。新卒を育てる余裕がない（見習い期間に余分に職員を配置すると人件費がかさむので）	小規模保育事業
人材派遣会社や人材紹介会社への手数料負担が大きい。 新卒でさえも紹介会社を経由して求人活動をおこなっているところに問題を感じる。 養成校でも、紹介会社を保有している場合もあるので、採用する側の費用負担がさらに増加している。	認可保育所
保育専門の人材バンク等もあり、人材については問題なく補充等ができています。	小規模保育事業
人材紹介手数料や広告の費用がかかり予算を少し圧迫し始めている。大学も以前のように学生への就職の推薦はしていない模様だ。	認可保育所
人材紹介会社を通じて求職活動を利用する人が増えており、ハローワークからの応募は少ない。人材確保をするために補助金収入から紹介料を支出することに抵抗があるが、紹介会社を利用せざるを得ないのが現実です。	認可保育所
立川市での積極的な就職フェア開催をお願いしたいと思います。また宿舍借上げ制度は若い保育士にとっては、重要な選択要件となっています。立川市としても対象範囲（人数）を拡大し積極的に保育人材を集める努力をして頂きたいと考えます。	認可保育所
去年は、タイミングもよくハローワークや養成校からの採用ができた。しかし、確実なのは実習生の受け入れから就職に繋げていけることがベストだと考える。	認可保育所
専門職の（看護師）求人には、とても苦勞があり、確保に時間もお金もかかる	認可保育所
資格は取るが、一般企業へ就職する学生が増えている。給与面、福利厚生などを考えると一般企業には勝てない。認定こども園となり、処遇改善加算は付いたが、まだまだ、公務員、一般企業との差を感じる。公定価格の額では学生に満足できる人件費支出は難しい。	幼稚園型認定こども園
先ずはハローワークを利用して募集するが応募がゼロの場合もあり、仕方なく人材紹介会社等を利用しているのがここ数年の状況です。人材紹介会社からは1年中紹介の電話があるが、年収の25%~30%を請求させられるため複数の場合の採用になると大きな負担となり経営に影響しかねないため危惧しているところです。	認証保育所
働きやすい制度を設けているため現在は充足しております	企業主導型保育事業
広告費が高い中でも保育士を募集しなければ運営状況が厳しいので安定的に保育士が見つかるような紹介サービスが欲しい	企業主導型保育事業
高校生、大学生からのパート、アルバイト、インターンチャレンジで、早めの仲間づくりをして、対応する。	幼稚園 認可保育所 認証保育所 企業主導型保育事業

できる限り常勤職員で園の運営はしていきたいと思っておりますが、産休・育休を保障するとなると難しいこともある。当園では職員を定数より2～3人多く確保しているが、職員のやりがいを見ると、なかなか難しい面もあります。職員全員が常勤職員であれば、一人ひとりが自分の思いをきちんと表現できると感じています。意見交換を対等な関係でできることが保育の向上にも繋がっていると感じます。

認可保育所

■質問11 今後10年程度の事業所運営の見通しについてのご意見を自由にご記入ください。

当園の特色をもっと認知してもらえるよう努力していく	認証保育所
令和7年度を目途に閉所。できればそのままの施設を利用して、代表者変更の上、新体制で開所。開所時、又はそれ以前にリフォーム予定。	家庭的保育事業
時代の流れで保育の必要な子が減り運営が困難になった場合は徐々に縮小、或いは閉園を考える。	小規模保育事業
少子化の波を受け、園の運営が危ういと考えている。需要があるかどうかかわからないが0～2歳の受け入れ、そのための施設増設、新設、幼児に関わる事業（学童、習いごと、学習塾）の開始等を考えている。	幼稚園型認定こども園
A保育園は賃貸物件で契約期間が10年のため、契約満了時に他の場所への移転を検討している。移転する場合は、同じ〇町内で土地を購入し園舎の建設をしたい。 B保育園(本園)は、今後の園児数減少を見込んで定員減を希望する。 またC保育園(分園)の近距離に、国の制度を利用してこども送迎センターを創設し、B保育園(本園)とバスで結ぶことを検討している。	認可保育所
待機児童がいる限り、現施設での運営を継続実施していきたい	小規模保育事業
先の制度は変更してゆくものと思う。長期計画は難しい。	認可保育所
質問5で回答したとおり、〇〇保育園は、市内の他の地域に移転して事業を継続したい。移転が不可能であると判断した場合には、事業の縮小や閉園についても検討する。立川市の今後の保育政策をうかがい、市内の待機児の状況や地域ごとの保育ニーズを把握したうえで、移転先や財源の確保にむけて調査をおこない、法人の運営方針を定めたい。	認可保育所
今後の市内の入所児童数の推移にもよりますが、減少していくのであれば、適正な定員数に減員することは検討していきたいと考えています。	認可保育所
国分寺市に学童保育所を設置したいと考えている。	認可保育所
賃貸物件で運営している2つの分園については、今後5年から10年程度の待機児童に関する状況等によって廃止も視野に入れて検討していく。	認可保育所
建て替えの見通し等の話が関係機関とできることを望む。	認可保育所
待機児童減少を踏まえながら、保育所として運営を継続していくのか、それとも人数定数を削減したり、こども園等を念頭に入れて、老朽化した園舎の建て替え又は移転を検討して行く必要があると感じている	認可保育所
看護師資格で家庭的保育者の研修を受講済みの者に引き継ぎたいと考えております。	家庭的保育事業
地域のニーズにと雇用の安定を考えると、人数を増やす施設への移行を考えるが、難しい	家庭的保育事業
前述の通り、小規模保育園の運営については今後、大きな変化がある時期に差し掛かると考えております。よって、認可保育所へ移行させるなどの検討を行ってまいりたいと考えております。その場合、「株式会社」運営においては立川市内において運営可能法人の対象となっておりませんが、柔軟にご検討していただくことを希望いたします。	小規模保育事業

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によると、立川市及び弊園の通園区間である近隣の自治体における0～4歳の2030年度は2020年度の約9割。加えて女性就業率の上昇傾向から、10年程ではまだまだ著しい需要の低下は見込めないでしょう。一方、弊園の8月1日現在では入園を希望して待機している園児数は20名超。従いまして、現在の運営場所に隣接して新園を開園する意義と需要はあると思われます。実際に弊園がテナントとして2階に入っているビルの4階が空いておりますので、弊園と同じ40名定員規模の認証保育所をつくることは可能です	認証保育所
現在、パート従業員含め50名程度のスタッフを雇用して保育園の運営をしております。雇用の確保をすることを念頭に安定した保育園の運営をしていきたいと考えております。	企業主導型保育事業
地域の子育て拠点として、幼稚園運営を主体に、未就園児や小学生を対象とした課外事業や保育サービスを更に充実させていきたい。	幼稚園
〇〇保育園について、施設の面積に余裕があるので、20名前後の定員増を希望している。	幼稚園 認可保育所 認証保育所 企業主導型保育事業
子どもの入所人数の減少が起きてきた場合には、150名定員を少し減らしていきたい。100名ぐらいになると保育方法が違って行くように感じています。現在は、改築の際、借入金があるために150名で受けていくようになるが徐々にこどもにとっての集団の規模を考えていけたら良いと思っています。	認可保育所
利用の状況をみて事業所運営を考えていきたい	認可保育所
職員も定着しており、人員確保は開設以来落ち着いており、良い人材に恵まれている。 保育理念も全職員が共通理解で保育に携わっている。 その人材を生かし、保育理念の元もう一園開設出来たらと望んでいる。	小規模保育事業

■質問14 認定こども園への移行等について自由にご記入ください。

0～2歳のための部屋、調理室等の増設あるいは新設の資金繰り	幼稚園型認定こども園
法人として認定こども園への移行は数年前から検討しておりましたが、各自治体に協議する部署がないことから進められない状態でした。立川市としての方針等を明確に出して頂き、連携を取って進められる仕組みができることを希望します。	認可保育所
認定こども園への移行は以前から気になっているが、移行したことによる課題がどの程度あるのかを考え、検討中である。立川市で移行の説明会など開催していただくと是非参加したいと思う。	認可保育所
現状、まだ具体案や法人全体の考えがまとまっているわけではないが、〇〇保育園としては老朽化している建物の存続は厳しいと考えている為、先を見据えた建て替えと事業所運営について検討が必要な時期と考えている	認可保育所
子ども庁や行政の今後の方向性を基に、全ての項目において総合的な比較をしないと進めないと考えている。	幼稚園
認可保育園や認証保育所、企業主導型保育所も運営しているので、幼稚園は幼稚園らしく、特色をだして運営を継続していきたいと考えている。 現在、420名定員で、680人の園児が在園していて、新2号認定を受けて、早朝や延長保育をやっている子どもが、毎日、約230名前後となっている。 保育園と変わらない時間帯で預かり保育をやっているので、認定こども園への移行はいつでもできると思うが、1号児含めての人数の制限や利用調整があるので、入園希望者が多いあいは、このまま私立幼稚園として運営していきたいと考えている。	幼稚園 認可保育所 認証保育所 企業主導型保育事業

■質問 15立川市の保育事業に対するご意見、ご希望等を自由にご記入ください。

家庭的保育室を運営していくにあたり連携園作り、一次支援保育等。保育のしやすいよう配慮して下さり、家庭的保育室を市の方が巡回してくださったり、話し合いの機会も設けていただくなど常に支えていただき感謝しております。保育のひろば等、立川市の保育が手を取りあっていけるような試みもあり心強いです。	家庭的保育事業
認可園を中心にいろいろと考え、物事を進めているように感じる。地域の保育園としてもっと愛着を持って平等に見てほしいと思っています。	認証保育所
とてもよく保育について考えてくださり、いつも感謝しています。 家庭的保育での一番の問題は、定員割れの負担が他の保育園に比べて非常に大きいことです。100人定員の保育園で3人空きが出ても3%減ですが、3人定員の保育室では1人空きが出ても30%の減収になってしまいます。5人定員でも20%減収です。 減収だけの問題ではなく、その際に優秀でよく慣れた保育補助者を失うことにもなりかねません。人は簡単に育ちませんし、帰ってきません。 どうか保護者さんたちに知らせたりおススメするなど、定員割れがでないようにお願いします。 (他市で、家庭的保育のみを希望して他保育園へ希望を出さない場合、優先的に決定して利用調整を行わないという方法を取っているところがあると聞きました。このような方策もっていただけるとありがたいです) また、地域によって保育の需要に偏りがあることがありますが、それを緩和するために、駅周辺など利便性の良いところに一時保育所を設定してそこから保育園へ送迎する方法を考えていただけないでしょうか。 保護者が直接送り迎えできるなら良いのですが、自宅から遠い保育園でもこの方法なら通えるかもしれません。二重保育になりますが、ファミリーサポートを利用するのも同じことです。送迎バスや家庭的保育支援者、ファミリーサポート、休眠保育士など利用する資源も多くあるのではないかと思います。また、これを市で運営することまた、保育園側でも一部負担してもらうなどでも保護者が低コストで利用できるのではないかと思います。	家庭的保育事業
今回保育のあり方検討が行われる事は大変喜ばしいことだと思います。今までなぜこのような検討会を行わないのか気になっていました。自園を客観的にみるよい機会にもつながると思います。	小規模保育事業
宿舎借り上げ支援事業について 本制度は処遇改善と並び、教職員の求人面で大きく貢献しており、大変有難い制度です。本制度を実施しているかないかで応募者数が左右されるようになっております。今後も制度継続が必須となっています。 しかしながら今般、段階的な見直しが実施され、採用された日から起算して9年以内に短縮されました。処遇改善効果により勤続年数が延びても、期限をもって補助が打ち切りとなることで、退職を考える者が出る恐れがあります。 一般の会社においても、家賃が高い東京・神奈川域内においては、家賃補助が必要です。更に、大災害発生時は、幼児教育・保育施設がいち早く復旧することが必要です。そのためには、公共交通機関が止まってしまっても通勤できる範囲に教職員に居住していただくことが、危機管理のうえで重要です。 教職員の定着を図るうえで、これ以上期間を短縮することなく、永く制度を継続いただきますようお願いいたします。 併せて、本制度による補助期間が過ぎた教職員も安心して勤続できるよう、施設型給付費等に新たな補助項目創設を検討いただきますようお願いいたします。	幼稚園型認定こども園
少子化にともない、定員割れが一番心配です。	家庭的保育事業
補助金等、手厚い補助に助けられています。今後も女性活躍社会への貢献を目指して現在の事業を継続していきたいと考えています。但し、待機児童がいなくなった際の事業の在り方に不安を抱いています。	小規模保育事業
現在の立川市の保育施策は現場の状況を把握しながら策定していると思う。保育に限っては、実態と遊離した事業推進もなく地に足の着いた行政活動を推進していると市民の方々も感じているようだ。今後も制度施策については、現状の把握と企画の整合性を図り進めて頂くようお願いしたい。	認可保育所

保護者の就労形態や、家庭のあり方が多様化するなかで、子どもの人口減少があっても保育園が果たす役割は大きいと考える。 育児困難な家庭の子どもは、親以外の大人（保育者）との愛着関係を形成することが必要となる。 〇〇保育園でも〇〇保育園においても、子ども家庭支援センターと連携するケースを多く抱えており、園長、保育士、看護師が家庭支援に取り組んでいるが、親も職員も日常的に相談できる保育専門のケースワーカーなどの専門家を立川市より派遣していただく、または園ごとに契約できるような財源の保障があると、問題の解消に近づけるのではないと思う。 発達の特性により個別の支援を必要とする子どもも多く在籍している。園では専門家に依頼して独自に保育指導を受けている。また、親の気持ちをケアしながら子どもの発達について理解してもらい、療育につなげられるようはたらきかけている。日々の保育のなかで細やかに支援ができるよう、障害児認定の条件を緩和していただくことを望みたい。	認可保育所
新規保育所の数の調整や、公立保育園を全て民営化せず残していること等、保育所全体のバランスを考えていただいている事に感謝しております。また、発達の凸凹があるお子さんが入園する際にも、きめ細かく対応していただきありがとうございます。コロナウィルスの件でも迅速にご対応いただき、心強かったです。今後ともよろしく願いいたします。	認可保育所
平素より、各法人施設に対し保育課として丁寧且つきめ細やかな対応をしていただいて感謝しております。特に新型コロナの関係では多忙を極めているのではないのでしょうか。お察しいたします。 最近では、新型コロナワクチンの職員優先摂取にも他市に先駆け、いち早く取り組んでいたことにより、職員から園児への感染防止に繋がり日々の保育も安心感を得る事ができ大変嬉しく思っています。 ただ懸念していることが一点あります。東京都に於いても待機児童がだいぶ減少された反面、ここ数年、都内全域の区市町村でも少子化の進行、施設の増加、3歳以上児の保育料無償化による幼稚園への転園、育児休業推進等によるとみられる定員割れが顕著で、当市でも10月期に於いても70余名が定員割れとなっており、今後さらに深刻化していくことを危惧している所です。そこで思い出すのが20年ほど前に立川市でも今日と同様に急速な少子化による定員割れが何年も続き、運営に影響がある為、いくつかの保育園では定員減を余儀なくされ、市でも年度初めの4月から8月までの5か月間は定員に見合った助成をしていただきました。これからもこのような状況が続くようでしたら、ご一考願えれば大変有難いです。その他として、看護師の件ですが当園の0歳児（乳児）の定員が6名の為、保健師等の配置加算が定員9名の場合の配置加算の半額で、正規職員としての雇用がままならず、姉妹園の〇〇保育園に於いては、0歳児3名の為、加算は一切無しで看護師の配置はありません。乳幼児の日々の健康を担保し、保護者にも安心してお預けいただく為にも加算の見直しをご検討いただければ幸いです。	認可保育所
難しいことかもしれませんが、保育園を利用する保護者の情報として勤務証明書の写しをいただくことはできないでしょうか？	認可保育所
待機児が少なくなった時の家庭的保育室の存続について強い危機感を感じております。乳児は家庭により近い環境で保育するのが望ましいと考えております。家庭的保育室を存続して行って欲しいと願っております。	家庭的保育事業
以前見学に来られた方が「子育ては、立川市でやりたくて結婚と同時に立川市に引っ越してきたが、いざ子どもが生まれてみると保育施設にあきがなく、あいている保育施設は遠くて通うことができない、こんなはずではなかった…」と嘆いているのをきき、預かってあげられずつらい思いをしました。 何年かして、テレビで町田市の「送迎保育ステーション事業」を見たとき、立川市もできないかなあーと思いました。 個人的な考えですが、私は家庭的保育者になって 乳児は少人数保育がいいなーと日々感じています。大きな保育施設の人数を増やすより、家庭的保育事業者を増やしていただきたいと思います。以前は募集をしていましたが、近年は募集していないのが残念です。	家庭的保育事業
小規模保育園においても、市内の保育園ともより交流や情報交換ができる場を設定していただきたいと考えております。	小規模保育事業

質問11でも記述しましたが、待機児童が減りつつあるとはいえ、年間を通して保育所に預けたくても預けられないご家庭はまだ相当数あると思われます。新園を作ることが既存の認可園の枠を圧迫するとしても、利用者は駅に近い園を求めていることは間違いありません。自治体としてはあくまで利用者の需要に応えていくことが本筋だと考えます。	認証保育所
立川市の認可及び認可外と以前より多くの保育施設が増え数は充実してきていると思いますが、保育の質や保護者の保育料負担（認可と認可外の保護者負担の額の違い等）の不平等感を感じる時があります。保護者はもっと感じていると思います。同じ立川市民なのに認可へ入れなく認可外を求めてきた子どもがほとんどです。一定の基準を満たした認可外保育施設には保護者負担を軽減する補助等を検討していただければ、保護者は助かるかと思います。（他市では認可保育料と同額となるように保護者保育料負担軽減補助金を出しているところもあります東京都では4万まで認めていると思います。都、市で負担） 今回のアンケートという形で園の状況等を述べることで良かったと思います。ありがとうございました。宜しく願い致します。	認証保育所
ご尽力いただき感謝申し上げます。引き続きのご指導よろしく願いいたします。	企業主導型保育事業
立川市としての保育事業の取り組みは利用者様の声を聞いても献身的にご相談に乗って頂いたり、新保育園の設立などをみても素晴らしいと思います。 企業主導型保育園の保育料の負担（0～2歳）認可外保育園（0～2歳）から3歳以降の保育園の優遇がない所が気になります。 市としてどういうお考えなのかぜひお聞かせ頂きたいです	企業主導型保育事業
認可外保育所である当園に対しても、認可同様の情報提供をいただき、ありがとうございます。	企業主導型保育事業
企業主導型保育園がもっと地域密着になり知っていただけるような機会をもうけていただきたい。広告の協力をいただけると幸いです。 立川市というより保育全体としてまた社会の風潮（方向性）に沿っていける様に仕組みや保育士さんが学べる場、学べる時間がないと取り残されてしまう感覚になります。私も保育士でしたが、一般企業とかけ離れていることがあるのもっと目を向けてもらえる様にしたいです。 私立公立園にもれてしまった家庭に企業主導型保育園を紹介していただけるシステムをつくらせて欲しいです	企業主導型保育事業
いつも、子どもたち、教職員、各施設のことにお気遣い頂き、感謝しています。	幼稚園 認可保育所 認証保育所 企業主導型保育事業
保育課主催の事務連絡会や法人園長会でいろいろな保育行政について勉強させていただいています。他園との交流や研修会にも参加させていただき、他園の保育や行事のあり方など知ること、園の方法を見直したり、取り入れさせていただいたりしております。今後もよろしくお願いいたします。	認可保育所
立川市の民間保育園に対し、多大なるご協力感謝致します。待機児童の課題が解消し、次は園児数の減少が数字となって現れてきています。立川市内、どこの保育園でも適切に運営できるよう希望致します。	認可保育所
副食費援助費は補助のない市町村もある中で保護者にとって大変ありがたい補助だと考えています。 園の前の道路が自転車の往来が激しく、道幅が狭いためとても危険です。道幅の拡張やガードレール設置など何らかのお力添えをいただければ子ども達も安心して登園できると考えています。 法人としても何らかの策が立てられないか検討していきます。 処遇改善等加算、宿舍借上補助、副食費等援助費を継続していただくようお願いいたします。	認可保育所

〇〇保育園では、自ら危険から身を守るための身体能力を伸ばす為の「のびっこ体操」や臨床美術を取り入れた「芸術保育」また、「食育」を大切にして自ら季節の野菜を育て、収穫、クッキング保育を取り入れ、保育を行っております。

その活動が企業の目に留まり、今年度は「KAGOME」さんの「食育プロジェクト」に参加し、保護者も一緒になって子どもの食に対しての大切さを推進することが出来ました。

小さい園ながらも、小さい頃からの豊かな心の育みと、たくましく生きていくための力を伸ばし、優しく・丁寧な保育を行っています。

当園は、小規模保育園ながら開設当初から地域に根付いた活動を大切にしてきました。

今後も、地域の方々の要望や声に応え活動していきます。

その為にも、子どもがより安全で安心して過ごせる環境設備を更に整えていきたいと考えております。

資金面での援助を強く要望致します。

小規模保育事業

立川市の保育のあり方の検討 事業所（施設・園）に関するアンケート 調査票

令和3年8月24日

市内保育事業所・幼稚園等 施設長・園長 各位

立川市子ども家庭部保育課

日頃より、立川市の保育事業にご理解ご協力を賜りまして、まことにありがとうございます。
さて、立川市では、これからの市の保育のあり方について、検討委員会を設置し、検討していくことといたしました。
つきましては、市内で保育事業を運営されている施設の皆様に、園の状況や運営上の課題、今後の見通し等につきましてうかがいたいと思いますので、本アンケートにご回答をいただければ幸いに存じます。
本アンケートにつきましては、原則として各施設・園・事業所ごとにご回答となりますが、分園を設置されている園につきましては、本園と合わせてご回答をいただけますようお願いいたします。また法人全体に関わるアンケートも別途お願いしておりますので、よろしくお願いいたします。

回答方法は、本用紙に直接ご記入いただくか、別途送信する電子ファイルにてご回答をいただければと思います。
本調査結果につきましては、事業種別ごとの集計結果や自由記述の内容等を公表する場合がありますが、施設名や事業所名を特定して公表することはありません。またご回答いただけない欄は空欄でも構いません。
お忙しいところ大変恐縮ですが、ぜひアンケートにご協力をお願いいたします。

- 調査実施期間 令和3年8月24日（火）～9月8日（水）
- 調査時点 令和3年4月1日現在
- 提出先 立川市子ども家庭部保育課 保育指導支援係
〒190-8666 東京都立川市泉町1156-9
FAX 042-528-4356
e-mail : hoiku@city.tachikawa.lg.jp
- 提出期限 令和3年9月8日（水）

○事業所についてうかがいます。

質問1 運営法人名をご記入ください。個人が運営者の場合は個人名をご記入ください。

質問2 貴施設名・園名・事業所名をご記入ください。

質問3 貴施設・園・事業所（以下、「貴施設」といいます）の事業種別をご記入ください。
（認可保育所・小規模保育事業・家庭的保育事業・認証保育所・企業主導型保育事業・幼稚園・幼稚園型認定こども園）

質問4 貴施設の所在地をご記入ください。

立川市 町

質問5 貴施設の開設年月日をご記入ください。（西暦・和暦いずれでも構いません）

年 月 日

○【人員体制についてうかがいます。】

質問6 貴施設の人員について、下記の表にご記入ください。（令和3年4月1日現在）

単位：人

人員内訳 ※1		常勤 ※2	(内、人材派遣 又は業務委託)	非常勤 ※3	(内、人材派遣 又は業務委託)	合計
1	施設長・園長					0人
2	主任・副園長・主幹教諭等					0人
3	保育士（資格あり）					0人
4	幼稚園教諭					0人
5	看護師					0人
6	栄養士					0人
7	調理員					0人
8	子ども子育て支援員					0人
9	保育補助（資格なし）					0人
10	事務職					0人
11	用務職					0人
12	その他（ ）					0人
合 計		0人	(0人)	0人	(0人)	0人

人員配置上の配置資格で集計してください。（例：保育士と幼稚園教諭の資格を持っている保育士→保育士、保育士と幼稚園教諭の資格を持っている幼稚園教諭→幼稚園教諭、栄養士兼調理員→調理員、施設長が保育士資格を持っている場合→施設長・園長）

※2 常勤 → 1日6時間以上、かつ、月20日以上勤務している職員

※3 非常勤 → 常勤以外の職員

質問7 貴施設の配置人員の年齢構成について、下記の表にご記入ください。（令和3年4月1日現在）

単位：人

年齢階層		保育士または 幼稚園教諭	左記以外	合計
1	19歳以下			
2	20～29歳			
3	30～39歳			
4	40～49歳			
5	50～59歳			
6	60～69歳			
7	70歳以上			
8	その他（不明等）			
合 計				

○【保育・幼児教育の質の向上のための取組みについてうかがいます。】

質問 8 保育・幼児教育の質の向上のために取り組んでいることについて、該当する項目に○をつけてください。その他、選択項目以外に取り組んでいることがありましたらご記入ください。

選択項目		計画的な取組みを行っている	計画は策定していないが、日常の業務の中で行っている	従事者の自主性に任せ、事業所として具体的な取組みは行っていない	その他 (具体的に記入してください)
人権の尊重					
1	子どもや保護者等の人権やプライバシーへの配慮				
2	不適切保育の防止の取組み				
3	虐待防止の取組み				
保育・幼児教育の基本原則					
4	保育理念や保育の中で大切にしていることについての話し合い				
5	保育等の計画（全体、個別）の内容の充実と評価				
保育内容					
6	子どもが自発的、意欲に関われるような環境の構成				
7	食育などを通して食事を楽しみにできる取組み				
保護者との連携					
8	様々な機会を活用し、日々の保育の様子を伝える取組み				
9	保護者とのコミュニケーションや相談に対する取組み				
10	第三者委員会の設置など、苦情に対応する体制づくり				
配慮の必要な子どもに関する取組み					
11	障害・発達の気になる子に関する取組み				
12	個々の子どもや保護者等の状況に配慮した保育の実施				
13	アレルギー児に対しての配慮、対応				
従事者について（人材育成も含む）					
14	職員の健康管理（リフレッシュ、休暇、休憩なども含む）				
15	ICT導入などによる業務の効率化				
16	職員の研修、育成方策の充実				
健康・安全					
17	感染症等の感染予防の徹底				
18	事故防止対策				
19	防災に対しての取組み				

地域・関連機関との連携					
20	ボランティア、地域の人材、 実習生の受け入れ、活用				
21	他の保育・幼児教育施設 や行政との連携				
22	医療機関との連携				
23	地域社会との連携				
24	小・中学校との連携、交 流				
自己評価・情報公開					
25	保育・幼児教育等のサービスの質 の向上のための外部評価の実施				
26	福祉サービス第三者評価等、外部 評価の結果をうけての改善				
27	地域に対する保育の公開				
28	透明性の高い経営（運営・収 支状況の公開など）				

質問9 保育・幼児教育等の質の向上のためには、どのような取組みが有効と考えますか。次の項目ごとに、自由にご記入ください。

選択項目		自由にご記入ください
人権の尊重		
1	子どもや保護者等の人権 やプライバシーへの配慮	
2	不適切保育の防止の取組 み	
3	虐待防止の取組み	
保育・幼児教育の基本原則		
4	保育理念や保育の中で大切に していることについての話し合い	
5	保育等の計画（全体、個別） の内容の充実と評価	
保育内容		
6	子どもが自発的、意欲的に関 われるような環境の構成	
7	食育などを通して食事を 楽しみにできる取組み	
保護者との連携		
8	様々な機会を活用し、日々の 保育の様子を伝える取組み	
9	保護者とのコミュニケーション や相談に対する取組み	
10	第三者委員会の設置など、苦 情に対応する体制づくり	
配慮の必要な子どもに関する取組み		
11	障害・発達の気になる子 に関する取組み	
12	個々の子どもや保護者等の状 況に配慮した保育の実施	
13	アレルギー児に対しての 配慮、対応	

従事者について（人材育成も含む）		
14	職員の健康管理（リフレッシュ、休暇、休憩なども含む）	
15	ICT導入などによる業務の効率化	
16	職員の研修、育成方策の充実	
健康・安全		
17	感染症等の感染予防の徹底	
18	事故防止対策	
19	防災に対する取り組み	
地域・関連機関との連携		
20	ボランティア、地域の人材、実習生の受け入れ、	
21	他の保育・幼児教育施設や行政との連携	
22	医療機関との連携	
23	地域社会との連携	
24	小・中学校との連携、交流	
自己評価・情報公開		
25	保育・幼児教育等のサービスの質の向上のための外部評価の実施	
26	福祉サービス第三者評価等、外部評価の結果をうけての改善	
27	地域に対する保育の公開	
28	透明性の高い経営（運営・収支状況の公開など）	

質問10 貴施設における保育・幼児教育等の質の向上について、自由にご記入ください。

--

○【その他の保育サービスについてうかがいます。】

質問ⅠⅠ 下記の保育サービスに係る現在の状況について、当てはまるところに○をつけてください。

○保育事業所等

選択項目		実施している	実施したい	検討中	実施予定なし	廃止したい	該当しない
1	延長保育（ⅠⅠ時間以上）						
2	産休明け保育						
3	一時預かり（定期利用保育）						
4	入園予約						
5	トワイライト保育（22時まで）						
6	24時間保育						
7	休日保育						
8	年末年始保育						
9	医療的ケア児保育						
10	病児保育						
11	病後児保育						
12	送迎サービス						

○幼稚園

選択項目		実施している	実施したい	検討中	実施予定なし	廃止したい	該当しない
1	プレスクール（入園前教育）						
2	満3歳児学級の設置						
3	預かり保育（通常保育時）						
4	預かり保育（長期休み時）						
5	送迎サービス						
6	給食						

質問ⅠⅡ 上記以外で行っている保育サービスやその他ご意見について、自由にご記入ください。

○【その他のサービス等についてうかがいます。】

質問１３ 下記のその他のサービス等に係る現在の状況について、当てはまるところに○をつけてください。

選択項目 <u>※いわゆる習い事やレッスンとして</u> <u>外部の担当者に委託して提供しているもの</u>		実施している (保護者費用 負担有り)	実施している (保護者費用 負担無し)	実施したい	検討中	実施予定なし	廃止したい
1	読み書き						
2	計算						
3	外国語						
4	楽器演奏・歌						
5	体操・運動遊び						
6	ダンス						
7	スイミング						
8	リトミック						
9	その他（具体的に： ）						

質問 14 その他のサービス等について、自由にご記入ください。

○【人材確保方策等についてうかがいます。】

従事者の募集はどのように行っていますか。(〇はいくつでも)

質問１５ （※同様の質問を運営事業者様向けにもお願いしていますので、人材確保を法人全体で行っている場合は、本調査票での回答はご記入いただかなくても結構です。）

	選択項目	○
1	ハローワーク（公共職業安定所）に求人票を出している	
2	大学等教育機関や保育士養成機関等と連携をしている	
3	新聞の折り込み広告等に求人を掲載している	
4	職業紹介雑誌等に求人を掲載している	
5	インターネット媒体を介して募集している	
6	就職相談会等の機会にブースを設けている	
7	人材派遣会社を活用している	
8	人材紹介会社を活用している	
9	その他（具体的に： ）	

質問16 従事者の募集についてのご意見等を自由にご記入ください。

--

○【人材育成方策等についてうかがいます。】

質問１ 人材育成としての従事者の研修等について、どのような取組みを行っていますか。（〇はいくつでも）

選択項目		○
1	事業所単独の研修を実施している	
2	法人が行う研修に参加している	
3	地域の他の事業所と共同で研修を実施している	
4	行政が行う研修に参加している	
5	外部の研修機関に委託して実施している	
6	外部の研修への参加を奨励している	
7	外部の研修への参加費（自己負担）の補助を行っている	
8	その他（具体的に： ）	
9	特に行っていない	

質問18 従事者の研修についてのご意見等を自由にご記入ください。

[illegible]

○【立川市の保育事業についてうかがいます。】

質問１ 保育園、幼稚園を運営するにあたり立川市に関してのご意見・ご希望等を自由にご記入ください。

※ 調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

立川市子ども家庭部保育課保育指導支援係
電話０４２（５２３）２１１１ 内線１３２０

立川市の保育のあり方の検討 運営法人（事業者）に関するアンケート 調査票

令和3年8月24日

市内保育事業所・幼稚園等 運営法人 各位

立川市子ども家庭部保育課

日頃より、立川市の保育事業にご理解ご協力を賜りまして、まことにありがとうございます。
さて、立川市では、これからの市の保育のあり方について、検討委員会を設置し、検討していくことといたしました。
つきましては、市内で保育事業を運営されている保育施設や幼稚園の運営法人の皆様に、施設・園等の運営上の課題や今後の事業計画の見通し等につきましてもうかがいたいと思いますので、本アンケートにご回答をいただければ幸いに存じます。

各事業所にもアンケートのお願いをしておりますが、本調査票では運営事業者・法人全体としてのご回答をいただけますようお願いいたします。

回答方法は、本用紙に直接ご記入いただくか、別途送信する電子ファイルにてご回答をいただければと思います。
この調査結果につきましては、事業種別ごとの集計結果や自由記述の内容等を公表する場合がありますが、運営法人名や事業所名を特定して公表することはありません。またご回答いただけない欄は空欄でも構いません。
お忙しいところ大変恐縮ですが、ぜひアンケートにご協力をお願いいたします。

- 調査実施期間 令和3年8月24日（火）～9月8日（水）
○調査時点 令和3年4月1日現在
○提出先 立川市子ども家庭部保育課 保育指導支援係
〒190-8666 東京都立川市泉町1156-9
FAX 042-528-4356
e-mail : hoiku@city.tachikawa.lg.jp
○提出期限 令和3年9月8日（水）

○事業所についてうかがいます。

質問1 法人名をご記入ください。個人が運営者の場合は個人名をご記入ください。

質問2 法人の本部所在地をご記入ください。個人の場合は事業所の所在地をご記入ください。

質問3 法人の開設年月日をご記入ください。
個人の場合は事業を開設した年月日をご記入ください（西暦・和暦いずれでも構いません）

年 月 日

○【事業所の建設年月や更新計画等についてうかがいます。】

質問 4

立川市内で運営している下記種別の事業所について、その建物の所有権や建設年月・賃貸開始年月をご回答ください。また、今後、大規模修繕や建替えの予定がある場合は、時期等をご回答ください。予定がない場合は「予定なし」、計画未定の場合は「未定」とご回答ください。

(事業種別：認可保育所・認可保育所分園・小規模保育事業・家庭的保育事業・認証保育所・企業主導型保育事業・幼稚園・幼稚園型認定こども園・認可外保育事業所)

施設・園・事業所名	法人所有 個人所有 賃貸※ 1	建設年月 (賃貸開始年月日)	大規模修繕 予定年月	建替予定年月	延べ床面積(㎡)	敷地面積(㎡)	園庭 面積(㎡)

※ 1 事業所が賃貸の場合は賃貸開始年月日を“建設年月日”欄へ、修繕・リフォームの予定がある場合は“大規模修繕予定年月日”の欄へご記入下さい。

質問 5 施設の更新等について自由にご記入ください

○【事業所運営の今後の見通しについてうかがいます。】

質問6 事業の運営にあたり、課題であると考えていることは何ですか。該当する項目に○をつけてください。

選択項目		課題がある	どちらかと言えば課題がある	どちらかと言えば課題はない	課題はない
1	職員等の人員の確保について				
2	職員等の研修など、人材育成について				
3	経営経費・活動資金について				
4	施設の老朽化等、更新に関すること				
5	少子化が進行し、入所・入園児童が減少する状況が見込まれること				
6	保護者等との関係性に関わること				
7	利用者のニーズの把握について				
8	情報の入手や活用の方法に関すること				
9	客観的な視点からのサービス評価が難しいこと				
10	事務処理量について（書類の量、請求手続き等）				
11	行政との連携について				
12	医療や発達支援関係機関との連携について				
13	その他（具体的に： ）				

質問7 上記以外の事業の運営にあたり課題であると考えていることを自由にご記入ください。

[illegible]

○【人材確保方策等についてうかがいます。】

従事者の募集はどのように行っていますか。(〇はいくつでも)

質問 8 (※同様の質問を各施設様向けにもお願いしていますので、人材確保を施設ごとに行っている場合は、本調査票での回答はご記入いただかなくても結構です。)

選択項目		○
1	ハローワーク（公共職業安定所）に求人票を出している	
2	大学等教育機関や保育士養成機関等と連携をしている	
3	新聞の折り込み広告等に求人を掲載している	
4	職業紹介雑誌等に求人を掲載している	
5	インターネット媒体を介して募集している	
6	就職相談会等の機会にブースを設けている	
7	人材派遣会社を活用している	
8	人材紹介会社を活用している	
9	その他（具体的に： ）	

質問9 従事者の募集についてのご意見等を自由にご記入ください。

[illegible]

○【今後１０年程度の事業所運営の見通しについてうかがいます。】

質問１０ 今後１０年程度の事業所運営について、どのように考えていますか。下記の項目から該当するものを選択してください。（○はいくつでも）

選択項目		○
現在の施設について（賃貸の場合は移転などの予定がある場合、選択してください）		
１	変更する予定がある（該当するものに○を付けてください。）	
	改築（定員増減なし）	
	増築（現園舎の増改築含む）	
	減築	
	移設（建設）	
	移転（賃貸）	
	その他（ ）	
現在の定員について		
２	年齢別内訳を変更したい	
３	増加させたい	
４	減少させたい	
その他		
５	新たな保育所等の運営を開始したい（立川市内）	
６	新たな保育所等の運営を開始したい（立川市外）	
７	分園の運営を始めたい、または分園の運営を廃止したい	
８	事業種別を変更したい（認可保育所への移行等）	
９	事業所運営を休止・廃止したい	
１０	その他（具体的に： ）	

質問１１ 今後１０年程度の事業所運営の見通しについてのご意見を自由にご記入ください。

--

○【認定こども園への移行についてうかがいます。】

質問 12 認定こども園への移行について、下記の項目から該当するものを選択してください。

	選択項目	○
1	認定こども園への移行を行う考えはない	
2	種別は未定だが、認定こども園への移行を検討している	
3	幼保連携型認定こども園への移行を検討している	
4	幼稚園型認定こども園への移行を検討している	
5	保育所型認定こども園への移行を検討している	
6	その他（具体的に： ）	

質問 13 質問9で「認定こども園への移行を検討している」と回答した場合は、その時期について、下記の項目から該当する項目を選択してください

	選択項目	○
1	概ね１年以内に移行の手続を開始したい	
2	概ね３年以内に移行の手続を開始したい	
3	概ね５年以内に移行の手続を開始したい	
4	概ね１０年以内に移行の手続を開始したい	
5	移行手続開始の時期は未定である	
6	その他（具体的に： ）	

質問 14 認定こども園への移行等について自由にご記入ください

--

○【立川市の保育事業についてうかがいます。】

質問１５立川市の保育事業に対するご意見、ご希望等を自由にご記入ください。

※ 調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

立川市子ども家庭部保育課保育指導支援係
電話０４２（５２３）２１１１ 内線１３２０